

学校コード F108110101423

注3

設置年度 令和 2年度

計画の区分： 研究科の設置

注1

事前伺い

注2

筑波大学大学院人文社会ビジネス科学学術院

【事前伺い】 設置に係る設置計画履行状況報告書

国立大学法人筑波大学

令和4年5月1日現在

作成担当者

担当部局（課）名 教育推進部教育機構支援課

- (注) 1 「計画の区分」は設置時の基本計画書「計画の区分」と同様に記載してください。
- 2 大学院の場合は、表題を「〇〇大学大学院・・・」と記入してください。
設置時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には現在の名称を記載し、その下欄に
() 書きにて、設置時の旧名称を記載してください。
例) 〇〇大学 △△学部 □□学科
(旧名称：◇◇学科(平成◇◇年度より学科名称変更))
表題は「計画の区分」に従い、記入してください。
例)
・大学の設置の場合：「〇〇大学」
・学部の設置の場合：「〇〇大学 △△学部」
・学部の学科の設置の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科」
・短期大学の学科の設置の場合：「〇〇短期大学 △△学科」
・大学院設置の場合：「〇〇大学大学院」
・大学院の研究科の設置の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科」
・大学院の研究科の専攻の設置等の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科 〇〇専攻(修士課程)」
・通信教育課程の開設の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科(通信教育課程)」
- 3 学校コードについては、以下URLを確認の上、該当番号を記載してください。
なお、該当がない場合は、本番号は学校基本調査での「学校コード」と同様の番号ですので、
当該番号を記載してください。

https://www.mext.go.jp/b_menu/toukei/mext_01087.html

目次

人文社会ビジネス科学学術院

<人文社会科学研究群 (D) >	ページ
1. 調査対象大学等の概要等	1
2. 授業科目の概要	5
3. 施設・設備の整備状況、経費	34
4. 既設大学等の状況	36
5. 教員組織の状況	42
6. 附帯事項等に対する履行状況等	46
7. その他全般的事項	47
<ビジネス科学研究群 (D) >	
1. 調査対象大学等の概要等	50
2. 授業科目の概要	54
3. 施設・設備の整備状況、経費	69
4. 既設大学等の状況	71
5. 教員組織の状況	77
6. 附帯事項等に対する履行状況等	82
7. その他全般的事項	83
<法曹専攻 (P) >	
1. 調査対象大学等の概要等	86
2. 授業科目の概要	90
3. 施設・設備の整備状況、経費	100
4. 既設大学等の状況	102
5. 教員組織の状況	108
6. 附帯事項等に対する履行状況等	112
7. その他全般的事項	113

1 調査対象大学等の概要等

(1) 設置者

国立大学法人筑波大学

(2) 大学名

筑波大学大学院

(3) 調査対象大学等の位置

〒305-8577
茨城県つくば市天王台一丁目1番1

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を()書きで記入してください。
・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

(4) 管理運営組織

職名	設置時	変更状況	備考
学長	(ナガタ キョウスケ) 永田 恭介 (平成25年4月)		
学術院長	(ニシオ チヅル) 西尾 チヅル (令和2年4月)	(タケナカ ヨシヒコ) 竹中 佳彦 (令和4年4月)	任期満了のため変更、令和4年4月1日(4)
研究群長	(タケナカ ヨシヒコ) 竹中 佳彦 (令和2年4月)	(スギモト タケシ) 杉本 武 (令和4年4月)	任期満了のため変更、令和4年4月1日(4)

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を()書きで記入してください。

(例) 令和3年度に報告済の内容 → (3)

令和4年度に報告する内容 → (4)

- ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
- ・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
- ・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。

(5) 調査対象学部等の名称、定員、入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部の学科または研究科の専攻等、定員を定めている組織ごとに記入してください（入試区分ごとではありません）。
- ・ なお、課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は、法令上規定されている最小単位（大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」）のほか、それらのコースや専攻単位でも記載したものを、別ファイルにて提出してください（作成方法は、事務連絡「令和4年度の履行状況報告書の提出について（依頼）」を確認してください）。
- ・ 様式は、平成30年度開設の4年制の学科の完成年度を越えて報告する場合（令和4年度までの5年間）ですが、完成年度を越えている場合は別途ご連絡ください。
- ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
- ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。

(5) - ① 調査対象学部等の名称等

調査対象学部等の名称（学位）	学位又は学科の分野	設置時の計画				学生募集の停止について	備考
		修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員		
人文社会ビジネス科学学術院 人文社会科学研究群（D） 博士（文学） 博士（国際公共政策） 博士（国際日本研究）	文学関係 法学関係 経済学関係 社会学・社会福祉学関係	3 年	66 人	- 人	188 人	新規入学者を募集中	基礎となる学部等 人文・文化学群 社会・国際学群

- (注) ・ 定員を変更した場合は、「備考」に変更前の人数、変更年月及び報告年度を（ ）書きで記入してください。
- ・ 基礎となる学部等がある場合には、「備考」に基礎となる学部等の名称を記入してください。
- ・ 「学位又は学科の分野」には、「認可申請書」又は「設置届出書」の「教育課程等の概要（別記様式第2号（その2の1））」の「学位又は学科の分野」と同様に記入してください。
- ・ 学生募集停止を予定している場合は、「学生募集の停止について」で「新規入学者を募集停止予定」を選択するとともに、「備考」に「令和〇年度から学生募集停止（予定）」と記載してください。

(5) - ② 調査対象学部等の入学者の状況

対象年度 区分	平成30年度		令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		平均入学定員超過率	開設年度から報告年度までの平均入学定員超過率	備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期			
A 入学定員					66 (-) [-]	0	66 (-) [-]	1	66 (-) [-]	0	0.52倍	-1倍	秋入学の予定あり
志願者数					40 (-) [19]	0 (-) [-]	39 (-) [17]	1 (-) [1]	67 (-) [39]	0 (-) [-]			
受験者数					40 (-) [19]	0 (-) [-]	36 (-) [17]	1 (-) [1]	65 (-) [37]	0 (-) [-]			
合格者数					31 (-) [15]	0 (-) [-]	29 (-) [12]	1 (-) [1]	52 (-) [27]	0 (-) [-]			
B 入学者数					27 (-) [13]	0 (-) [-]	28 (-) [11]	0 (-) [-]	49 (-) [24]	0 (-) [-]			
入学定員超過率 B/A					0.40		0.42		0.74				

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。（過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。）
- ・ （ ）内には、編入学の状況について外数で記入してください。なお、編入学を複数年次で行っている場合には、（（ ）書きとするなどし、その旨を「備考」に付記してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
- ・ 転入学生は記入しないでください。
- ・ []内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
- ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
- ・ 「入学定員超過率」については、各年度の春季入学とその他の学期を合計した入学定員、入学者数で算出してください。なお、計算の際は小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。
- ・ 「平均入学定員超過率」には、開設年度から報告年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。計算の際は「入学定員超過率」と同様にしてください。なお、完成年度を越えて報告書を提出する大学等は、報告年度（令和4年度）から起算した修業年限に相当する期間の入学定員超過率の平均を記載してください。
- ・ 「開設年度から報告年度までの平均入学定員超過率」は、完成年度を越えて報告書を提出する大学等のみ記入してください。完成年度を越えていない場合は「-」を記入してください。

(5) - ③ 調査対象学部等の在学者の状況

対象年度 学 年	平成30年度		令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1年次					26 [12] (-)	0 [-] (-)	28 [16] (-)	0 [-] (-)	49 [24] (-)		秋入学の予定あり
2年次							26 [12] (-)	0 [-] (-)	28 [17] (-)		
3年次									26 [12] (-)		
4年次											
計	[] ()	[] ()	[12] (-)	[] ()	26 [12] (-)	[] ()	54 [28] (-)	[] ()	103 [52] (-)	[] ()	

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ []内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
 - ・ ()内には、留年者の状況について、内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 - ・ 編入学生や転入学生も含めて記入してください。その際、備考欄に人数の内訳を記入してください。
 - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学の実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 - ・ 「計」については、各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数を記入してください。

(5) - ④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	在学者数(b)	退学者数(a)	内訳			主な退学理由 (留学生の理由は[]書き)
			入学した年度	退学者数		
				うち留学生数		
平成30年度	- 人	- 人	平成30年度	- 人	- 人	
令和元年度	- 人	- 人	平成30年度	- 人	- 人	
			令和元年度	- 人	- 人	
令和2年度	27 人	1 人	平成30年度	- 人	- 人	
			令和元年度	- 人	- 人	
			令和2年度	1 人	1 人	[他の教育機関への入学・転学(1人)]
令和3年度	54 人	0 人	平成30年度	- 人	- 人	
			令和元年度	- 人	- 人	
			令和2年度	0 人	0 人	
			令和3年度	0 人	0 人	
令和4年度	103 人	0 人	平成30年度	- 人	- 人	
			令和元年度	- 人	- 人	
			令和2年度	0 人	0 人	
			令和3年度	0 人	0 人	
			令和4年度	0 人	0 人	
合 計		1 人		1 人	1 人	

- (注)・ 数字は、報告年度の5月1日現在の数字を記入してください。
- ・ 各対象年度の在学者数については、対象年度の人数を記入してください。(在学者数から退学者数を減らす必要はありません。)
 - ・ 内訳については、退学した学生が入学した年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
 - ・ 在学者数、退学者数には編入学生や転入学生も含めて記入してください。
 - ・ 「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(〇人)」というように、その人数も含めて記入してください。
 (記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学
 ・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

(5) - ⑤ 調査対象学部等の年度ごとの退学者の割合

【平成30年度】

$$\frac{\text{平成30年度の退学者数(a)}}{\text{平成30年度の在学者数(b)}} = \frac{-}{-} = \boxed{\#VALUE!} \%$$

【令和元年度】

$$\frac{\text{令和元年度の退学者数(a)}}{\text{令和元年度の在学者数(b)}} = \frac{-}{-} = \boxed{\#VALUE!} \%$$

【令和2年度】

$$\frac{\text{令和2年度の退学者数(a)}}{\text{令和2年度の在学者数(b)}} = \frac{1}{27} = \boxed{3.7} \%$$

【令和3年度】

$$\frac{\text{令和3年度の退学者数(a)}}{\text{令和3年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{54} = \boxed{0} \%$$

【令和4年度】

$$\frac{\text{令和4年度の退学者数(a)}}{\text{令和4年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{103} = \boxed{0} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

2 授業科目の概要

<人文社会ビジネス科学学術院 人文社会科学研究群 博士後期課程>

(1) -① 授業科目表

【設置時又は届出時】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任		
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手			
大学院共通科目	生命・環境・研究倫理	応用倫理	1-2-3後	1								2	
		環境倫理学概論	1-2-3後	1								2	
		研究倫理	1-2-3前	1								2	
		生命倫理学	1-2-3前	1								10	
	情報伝達力・コミュニケーション力養成科目群	企業と技術者の倫理	1-2-3前	1								2	
			テクニカルコミュニケーション	1-2-3前	1								1
		英語発表	1-2-3前	1								1	
		異分野コミュニケーションのためのプレゼンテーションバトル	1-2-3通	2								2	
		Global Communication Skills Training	1-2-3前	1								1	
		サイエンスコミュニケーション概論	1-2-3前	1								1	
		サイエンスコミュニケーション特論	1-2-3後	1								1	
		サイエンスコミュニケータ養成実践講座	1-2-3休	2								1	
		人文知コミュニケーション:人文社会科学と自然科学の壁を超える	1-2-3後	1			1						2
		国際性養成科目群	21世紀的中国—現代中国の多相—	1-2-3後	1			1					
国際研究プロジェクト	1-2-3通		1									1	
国際インターンシップ	1-2-3通		1									1	
地球規模課題と国際社会:食料問題	1-2-3後		1									1	
地球規模課題と国際社会:海洋環境変動と生命	1-2-3後		1									2	
地球規模課題と国際社会:社会脳	1-2-3休		1									1	
地球規模課題と国際社会:感染症・保健医療問題	1-2-3後		1									3	
地球規模課題と国際社会:社会問題	1-2-3後		1									1	
地球規模課題と国際社会:環境汚染と健康影響	1-2-3後		1									1	
地球規模課題と国際社会:環境・エネルギー	1-2-3休		1									1	

【令和4年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任		
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手			
大学院共通科目	生命・環境・研究倫理	応用倫理	1-2-3後	1								2	
		環境倫理学概論	1-2-3後	1								2	
		研究倫理	1-2-3前	1								2	
		生命倫理学	1-2-3前	1								9	
	情報伝達力・コミュニケーション力養成科目群	企業と技術者の倫理	1-2-3前	1									1
			テクニカルコミュニケーション	1-2-3前	1								1
		Presentations for General Audiences	1-2-3前	1								1	
		異分野コミュニケーションのためのプレゼンテーションバトル	1-2-3通	2								3	
		Global Communication Skills Training	1-2-3前	1								3	
		サイエンスコミュニケーション概論	1-2-3前	1								1	
		サイエンスコミュニケーション特論	1-2-3後	1								1	
		サイエンスコミュニケータ養成実践講座	1-2-3休	2								1	
		人文知コミュニケーション:人文社会科学と自然科学の壁を超える	1-2-3後	1			1						3
		総合資料学:歴史文化の高度化研究とその伝達方法	1-2-3後	2				1			1		1
国際性養成科目群	21世紀的中国—現代中国の多相—	1-2-3後	1			1						8	
	国際研究プロジェクト	1-2-3通	1									1	
	国際インターンシップ	1-2-3通	1									1	
	地球規模課題と国際社会:食料問題	1-2-3後	1									4	
	地球規模課題と国際社会:海洋環境変動と生命	1-2-3後	1									2	
	地球規模課題と国際社会:社会脳	1-2-3休	1									4	
	地球規模課題と国際社会:感染症・保健医療問題	1-2-3後	1									2	
	地球規模課題と国際社会:社会問題	1-2-3後	1									1	
	地球規模課題と国際社会:環境汚染と健康影響	1-2-3後	1									2	
	地球規模課題と国際社会:環境・エネルギー	1-2-3前	1									8	

キャリアア マ ナ ジ メ ン ト 科 目 群	JAPICアドバンスト ディスカッションコースI- 流動化する世界と これからの日本	1-2- 3後	1																1
	JAPICアドバンスト ディスカッションコースIII- テクノロジーとグローバ ルで拓く未来	1-2- 3前	1																1
	ダイバーシティと SOGI/LGBT+	1-2- 3休	1																1
	ワークライフミックス- モーハウスに学ぶハラ タイムシフト	1-2- 3前	1																1
	魅力ある理科教員 になるための生 物・地学実験	1-2- 3休	1																9
	アクセシビリティリーダ ー特論	1-2- 3前	1																8
	脳の多様性とセルフ マネジメント	1-2- 3休	1																1
知 的 基 盤 形 成 科 目 群	生物多様性と地球 環境	1-2- 3前	1																4
	内部共生と生物進 化	1-2- 3前	1																1
	海洋生物の世界と 海洋環境講座	1-2- 3休	1																2
	科学的発見と創造 性	1-2- 3前	1																1
	自然災害にどう向 き合うか	1-2- 3前	1																1
	「考える」動物とし ての人間-東西哲 学からの考察	1-2- 3休	1		2	2	1												
	21世紀と宗教	1-2- 3前	1		2														
身 心 基 盤 形 成 科 目 群	塑造実習	1-2- 3後	1																2
	コミュニケーションアート& デザインA	1-2- 3前	1																8
	コミュニケーションアート& デザインB	1-2- 3後	1																7
	日本画実習	1-2- 3前	1																2
	ヨガコース	1-2- 3前	1																1
	絵画実習A	1-2- 3前	1																1
	現代アート入門	1-2- 3前	1																1
	大学院体育Ia	1-2- 3通	1																4
	大学院体育Ib	1-2- 3前	1																3
	大学院体育Ic	1-2- 3後	1																3
	大学院体育IIa	1-2- 3通	1																4
	大学院体育IIb	1-2- 3前	1																3
	大学院体育IIc	1-2- 3後	1																3
	大学院体育IIIa	1-2- 3通	1																4
	大学院体育IIIb	1-2- 3前	1																3

キ ャ リ ア マ ナ ジ メ ン ト 科 目 群	JAPICアドバンスト ディスカッションコースI- 多様化する世界と これからの日本	1-2- 3後	1																2
	JAPICアドバンスト ディスカッションコースII- 次世代モビリティの マーケットデザインと計 算科学	1-2- 3前	1																2
	ダイバーシティと SOGI/LGBT+	1-2- 3休	1																1
	ワークライフミックス- モーハウスに学ぶハラ タイムシフト	1-2- 3前	1																2
	魅力ある理科教員 になるための生 物・地学実験	1-2- 3休	1																9
	アクセシビリティリーダ ー特論	1-2- 3前	1																8
	脳の多様性とセルフ マネジメント	1-2- 3休	1																3
筑波クリエイティブ・ キャンパス・アドバンスト 博士のキャリアパス	1- 2-3 後 1- 2-3 前	1																	4 2
知 的 基 盤 形 成 科 目 群	生物多様性と地球 環境	1-2- 3前	1																4
	内部共生と生物進 化	1-2- 3前	1																1
	海洋生物の世界と 海洋環境講座	1-2- 3休	1																2
	科学的発見と創造 性	1- 2-3 後	1																3
	自然災害にどう向 き合うか	1-2- 3前	1																1
	「考える」動物とし ての人間-東西哲 学からの考察	1-2- 3休	1		2	2	1				3	3	0	1					
	21世紀と宗教	1-2- 3前	1		2							2							2
UT-Top Academist's Lecture	1- 2-3 後	1																	3
身 心 基 盤 形 成 科 目 群	塑造実習	1-2- 3後	1																2
	コミュニケーションアート& デザインA	1-2- 3前	1																8
	コミュニケーションアート& デザインB	1-2- 3後	1																8
	日本画実習	1-2- 3前	1																2
	ヨガコース	1-2- 3前	1																3
	絵画実習A	1-2- 3前	1																1
	現代アート入門	1- 2-3 前 1- 2-3 前	1																1
	書実習基礎	1- 2-3 前	1																2
	大学院体育Ia	1-2- 3通	1																4
	大学院体育Ib	1-2- 3前	1																3
	大学院体育Ic	1-2- 3後	1																3
	大学院体育IIa	1-2- 3通	1																4
	大学院体育IIb	1-2- 3前	1																3
	大学院体育IIc	1-2- 3後	1																3
	大学院体育IIIa	1-2- 3通	1																4
大学院体育IIIb	1-2- 3前	1																3	

歴史地理学研究実習A	1・2・3前	2	1						
歴史地理学研究実習B	1・2・3後	2	1						
先史学・考古学研究演習IA	1前	2	1	2					
先史学・考古学研究演習IB	1後	2	1	2					
先史学・考古学研究演習IIA	2前	2	1	2					
先史学・考古学研究演習IIB	2後	2	1	2					
先史学・考古学研究演習IIIA	3前	2	1	2					
先史学・考古学研究演習IIIB	3後	2	1	2					
先史学・考古学研究実習	1・2・3通	4	1	2					
民俗学・文化人類学研究IA	1前	1	1	3					
民俗学・文化人類学研究IB	1後	1	1	3					
民俗学・文化人類学研究IIA	2前	1	1	3					
民俗学・文化人類学研究IIB	2後	1	1	3					
民俗学・文化人類学研究IIIA	3前	1	1	3					
民俗学・文化人類学研究IIIB	3後	1	1	3					
民俗学・文化人類学研究実習A	1前	2	1	3					
民俗学・文化人類学研究実習B	1後	2	1	3					
文学	文学論文演習(1A)	1前	2	6	7				
	文学論文演習(1B)	1後	2	6	7				
	文学論文演習(2A)	2前	2	6	7				
	文学論文演習(2B)	2後	2	6	7				
	文学論文演習(3A)	3前	2	6	7				
	文学論文演習(3B)	3後	2	6	7				
言語学	リサーチラボ演習(1A)	1前	2	10	12	4	1		
	リサーチラボ演習(1B)	1後	2	10	12	4	1		
	リサーチラボ演習(2A)	2前	2	10	12	4	1		
	リサーチラボ演習(2B)	2後	2	10	12	4	1		
	リサーチラボ演習(3A)	3前	2	10	12	4	1		
	リサーチラボ演習(3B)	3後	2	10	12	4	1		
	リサーチラボ実習(1A)	1前	1	10	12	4	1		
	リサーチラボ実習(1B)	1後	1	10	12	4	1		
	リサーチラボ実習(2A)	2前	1	10	12	4	1		
	リサーチラボ実習(2B)	2後	1	10	12	4	1		
	リサーチラボ実習(3A)	3前	1	10	12	4	1		
	リサーチラボ実習(3B)	3後	1	10	12	4	1		
現代文化学	現代文化学論文演習 IA	1前	1	5	6				
	現代文化学論文演習 IB	1後	1	5	6				
	現代文化学論文演習 IIA	2前	1	5	6				

歴史地理学研究実習A	1・2・3前	2	1						
歴史地理学研究実習B	1・2・3後	2	1						
先史学・考古学研究演習IA	1前	2	1	2	3				
先史学・考古学研究演習IB	1後	2	1	2	3				
先史学・考古学研究演習IIA	2前	2	1	2	3				
先史学・考古学研究演習IIB	2後	2	1	2	3				
先史学・考古学研究演習IIIA	3前	2	1	2	3				
先史学・考古学研究演習IIIB	3後	2	1	2	3				
先史学・考古学研究実習	1・2・3通	4	1	2	3				
民俗学・文化人類学研究IA	1前	1	1	3					
民俗学・文化人類学研究IB	1後	1	1	3					
民俗学・文化人類学研究IIA	2前	1	1	3					
民俗学・文化人類学研究IIB	2後	1	1	3					
民俗学・文化人類学研究IIIA	3前	1	1	3					
民俗学・文化人類学研究IIIB	3後	1	1	3					
民俗学・文化人類学研究実習A	1前	2	1	3					
民俗学・文化人類学研究実習B	1後	2	1	3					
文学	文学論文演習(1A)	1前	2	7	6				
	文学論文演習(1B)	1後	2	7	6				
	文学論文演習(2A)	2前	2	7	6				
	文学論文演習(2B)	2後	2	7	6				
	文学論文演習(3A)	3前	2	7	6				
	文学論文演習(3B)	3後	2	7	6				
海外研究プロジェクト実習(1)	1・2・3通	1	1						
海外研究プロジェクト実習(2)	1・2・3通	1	1						
海外研究プロジェクト実習(3)	1・2・3通	1	1						
言語学	リサーチラボ演習(1A)	1前	2	12	10	3	1		
	リサーチラボ演習(1B)	1後	2	12	10	3	1		
	リサーチラボ演習(2A)	2前	2	12	10	3	1		
	リサーチラボ演習(2B)	2後	2	12	10	3	1		
	リサーチラボ演習(3A)	3前	2	12	10	3	1		
	リサーチラボ演習(3B)	3後	2	12	10	3	1		
	リサーチラボ実習(1A)	1前	1	12	10	3	1		
	リサーチラボ実習(1B)	1後	1	12	10	3	1		
	リサーチラボ実習(2A)	2前	1	12	10	3	1		
	リサーチラボ実習(2B)	2後	1	12	10	3	1		
	リサーチラボ実習(3A)	3前	1	12	10	3	1		
	リサーチラボ実習(3B)	3後	1	12	10	3	1		
現代文化学	現代文化学論文演習 IA	1前	1	6	4				
	現代文化学論文演習 IB	1後	1	6	4				
	現代文化学論文演習 IIA	2前	1	6	4				

社会病理学特別演習II	1-2-3後	1	1															社会病理学特別演習II	1-2-3後	1	1																
社会問題論特別演習I	1-2-3前	1	1																社会問題論特別演習I	1-2-3前	1	1															
社会問題論特別演習II	1-2-3後	1	1																社会問題論特別演習II	1-2-3後	1	1															
歴史社会学特別演習I	1-2-3前	1		1															歴史社会学特別演習I	1-2-3前	1		1														
歴史社会学特別演習II	1-2-3後	1		1															歴史社会学特別演習II	1-2-3後	1		1														
文化社会学特別演習I	1-2-3前	1		1															文化社会学特別演習I	1-2-3前	1		1	0	1												
文化社会学特別演習II	1-2-3後	1		1															文化社会学特別演習II	1-2-3後	1		1	0	1												
都市社会学特別演習I	1-2-3前	1		1															都市社会学特別演習I	1-2-3前	1		1	0													
都市社会学特別演習II	1-2-3後	1		1															都市社会学特別演習II	1-2-3後	1		1	0													
地域社会学特別演習I	1-2-3前	1		1															地域社会学特別演習I	1-2-3前	1		1	0													
地域社会学特別演習II	1-2-3後	1		1															地域社会学特別演習II	1-2-3後	1		1	0													
社会階層論特別演習AI	1-2-3前	1		1															社会階層論特別演習AI	1-2-3前	1		1														
社会階層論特別演習AII	1-2-3後	1		1															社会階層論特別演習AII	1-2-3後	1		1														
社会階層論特別演習BI	1-2-3前	1		1															社会階層論特別演習BI	1-2-3前	1		1														
社会階層論特別演習BII	1-2-3後	1		1															社会階層論特別演習BII	1-2-3後	1		1														
国際社会政策論特別演習AI	1-2-3前	1		1															国際社会政策論特別演習AI	1-2-3前	1		1														
国際社会政策論特別演習AII	1-2-3後	1		1															国際社会政策論特別演習AII	1-2-3後	1		1														
国際社会政策論特別演習BI	1-2-3前	1		1															国際社会政策論特別演習BI	1-2-3前	1		1														
国際社会政策論特別演習BII	1-2-3後	1		1															国際社会政策論特別演習BII	1-2-3後	1		1														
教育社会学特別演習I	1-2-3前	1		1															教育社会学特別演習I	1-2-3前	1		1														
教育社会学特別演習II	1-2-3後	1		1															教育社会学特別演習II	1-2-3後	1		1														
ジェンダー社会論特別演習I	1-2-3前	1		1															ジェンダー社会論特別演習I	1-2-3前	1		1														
ジェンダー社会論特別演習II	1-2-3後	1		1															ジェンダー社会論特別演習II	1-2-3後	1		1														
東南アジア・オセアニア研究特別演習AI	1-2-3前	1			1	1													東南アジア・オセアニア研究特別演習AI	1-2-3前	1			1	1												
東南アジア・オセアニア研究特別演習AII	1-2-3後	1			1	1													東南アジア・オセアニア研究特別演習AII	1-2-3後	1			1	1												
東南アジア・オセアニア研究特別演習BI	1-2-3前	1			1	1													東南アジア・オセアニア研究特別演習BI	1-2-3前	1			1	1												
東南アジア・オセアニア研究特別演習BII	1-2-3後	1			1	1													東南アジア・オセアニア研究特別演習BII	1-2-3後	1			1	1												
中央ユーラシア研究特別演習AI	1-2-3前	1		1	1	1													中央ユーラシア研究特別演習AI	1-2-3前	1		2	2	0												
中央ユーラシア研究特別演習AII	1-2-3後	1		1	1	1													中央ユーラシア研究特別演習AII	1-2-3後	1		2	2	0												
中央ユーラシア研究特別演習BI	1-2-3前	1		1	1	1													中央ユーラシア研究特別演習BI	1-2-3前	1		1	2	0												
中央ユーラシア研究特別演習BII	1-2-3後	1		1	1	1													中央ユーラシア研究特別演習BII	1-2-3後	1		1	2	0												
中東・北アフリカ研究特別演習AI	1-2-3前	1			1														中東・北アフリカ研究特別演習AI	1-2-3前	1			1	0												
中東・北アフリカ研究特別演習AII	1-2-3後	1			1														中東・北アフリカ研究特別演習AII	1-2-3後	1			1	0												
中東・北アフリカ研究特別演習BI	1-2-3前	1			1														中東・北アフリカ研究特別演習BI	1-2-3前	1			1	0												
中東・北アフリカ研究特別演習BII	1-2-3後	1			1														中東・北アフリカ研究特別演習BII	1-2-3後	1			1	0												
ラテン・アメリカ研究特別演習AI	1-2-3前	1		1	1														ラテン・アメリカ研究特別演習AI	1-2-3前	1		1	1													
ラテン・アメリカ研究特別演習AII	1-2-3後	1		1	1														ラテン・アメリカ研究特別演習AII	1-2-3後	1		1	1													

コミュニケーションの人類学2A	1-2-3前	1		1						コミュニケーションの人類学2A	1-2-3前	1		1					
コミュニケーションの人類学2B	1-2-3後	1		1						コミュニケーションの人類学2B	1-2-3後	1		1					
相互行為分析研究1A	1-2-3前	1		1						相互行為分析研究1A	1-2-3前	1		1					
相互行為分析研究1B	1-2-3後	1		1						相互行為分析研究1B	1-2-3後	1		1					
相互行為分析研究2A	1-2-3前	1		1						相互行為分析研究2A	1-2-3前	1		1					
相互行為分析研究2B	1-2-3後	1		1						相互行為分析研究2B	1-2-3後	1		1					
メディア思想と日本社会3	1-2-3前	1				1				メディア思想と日本社会3	1-2-3前	1			1		0		
メディア思想と日本社会4	1-2-3後	1				1				メディア思想と日本社会4	1-2-3後	1			1		0		
比較メディア思想3	1-2-3前	1				1				比較メディア思想3	1-2-3前	1			1		0		
比較メディア思想4	1-2-3後	1				1				比較メディア思想4	1-2-3後	1			1		0		
日本政治と市民社会3	1-2-3前	1		1						日本政治と市民社会3	1-2-3前	1		1					
日本政治と市民社会4	1-2-3後	1		1						日本政治と市民社会4	1-2-3前	1		1					
Japan's Politics and Civil Society 3	1-2-3後	1		1						Japan's Politics and Civil Society 3	1-2-3後	1		1					
Japan's Politics and Civil Society 4	1-2-3前	1		1						Japan's Politics and Civil Society 4	1-2-3後	1		1					
比較政治3	1-2-3前	1				1				比較政治3	1-2-3前	1					1		
比較政治4	1-2-3後	1				1				比較政治4	1-2-3後	1					1		
Comparative Politics 3	1-2-3前	1				1				Comparative Politics 3	1-2-3前	1					1		
Comparative Politics 4	1-2-3後	1				1				Comparative Politics 4	1-2-3後	1					1		
Foreign Relations of Japan 3A	1-2-3後	1		1						Foreign Relations of Japan 3A	1-2-3後	1		1					
Foreign Relations of Japan 3B	1-2-3前	1		1						Foreign Relations of Japan 3B	1-2-3前	1		1					
Foreign Relations of Japan 4A	1-2-3後	1		1						Foreign Relations of Japan 4A	1-2-3後	1		1					
Foreign Relations of Japan 4B	1-2-3前	1		1						Foreign Relations of Japan 4B	1-2-3前	1		1					
International Relations 3A	1-2-3後	1		1						International Relations 3A	1-2-3後	1		1					
International Relations 3B	1-2-3前	1		1						International Relations 3B	1-2-3前	1		1					
International Relations 4A	1-2-3後	1		1						International Relations 4A	1-2-3後	1		1					
International Relations 4B	1-2-3前	1		1						International Relations 4B	1-2-3前	1		1					
教育政策論1	1-2-3前	1		1						教育政策論1	1-2-3前	1		1		0			
教育政策論2	1-2-3前	1		1						教育政策論2	1-2-3前	1		1		0			
Educational Policy 1	1-2-3後	1		1						Educational Policy 1	1-2-3後	1		1		0			
Educational Policy 2	1-2-3後	1		1						Educational Policy 2	1-2-3後	1		1		0			
計量分析3A	1-2-3前	1		1						計量分析3A	1-2-3前	1		1					
計量分析3B	1-2-3後	1		1						計量分析3B	1-2-3前	1		1					
計量分析4A	1-2-3前	1		1						計量分析4A	1-2-3前	1		1					
計量分析4B	1-2-3後	1		1						計量分析4B	1-2-3前	1		1					
応用ミクロ経済学2	1-2-3前	1		1						応用ミクロ経済学2	1-2-3前	1		1					

応用ミクロ経済学3	1-2-3後	1	1							応用ミクロ経済学3	1-2-3後	1	1						
応用ゲーム理論2	1-2-3前	1	1							応用ゲーム理論2	1-2-3前	1	1						
応用ゲーム理論3	1-2-3後	1	1							応用ゲーム理論3	1-2-3後	1	1						
環境とマクロ経済学3A	1-2-3前	1	1							環境とマクロ経済学3A	1-2-3前	1	0						1
環境とマクロ経済学3B	1-2-3後	1	1							環境とマクロ経済学3B	1-2-3後	1	0						1
環境とマクロ経済学4A	1-2-3前	1	1							環境とマクロ経済学4A	1-2-3前	1	0						1
環境とマクロ経済学4B	1-2-3後	1	1							環境とマクロ経済学4B	1-2-3後	1	0						1
金融3A	1-2-3前	1			1					金融3A	1-2-3前	1			1				
金融3B	1-2-3後	1			1					金融3B	1-2-3後	1			1				
金融4A	1-2-3前	1			1					金融4A	1-2-3前	1			1				
金融4B	1-2-3後	1			1					金融4B	1-2-3後	1			1				
世界経済史3	1-2-3前	1	1							世界経済史3	1-2-3前	1	1						
世界経済史4	1-2-3後	1	1							世界経済史4	1-2-3前	1	1						
Comparative Labor Studies 3	1-2-3後	1	1							Comparative Labor Studies 3	1-2-3後	1	1						
Comparative Labor Studies 4	1-2-3前	1	1							Comparative Labor Studies 4	1-2-3前	1	1						
地域経済・経営史3A	1-2-3前	1	1							地域経済・経営史3A	1-2-3前	1	1						
地域経済・経営史3B	1-2-3後	1	1							地域経済・経営史3B	1-2-3後	1	1						
地域経済・経営史4A	1-2-3前	1	1							地域経済・経営史4A	1-2-3前	1	1						
地域経済・経営史4B	1-2-3後	1	1							地域経済・経営史4B	1-2-3後	1	1						
Informatics and Society 1	1-2-3後	1	1							Informatics and Society 1	1-2-3後	1	1						
Informatics and Society 2	1-2-3後	1	1							Informatics and Society 2	1-2-3後	1	1						
Global Society & Information 1	1-2-3後	1	1							Global Society & Information 1	1-2-3後	1	1						
Global Society & Information 2	1-2-3前	1	1							Global Society & Information 2	1-2-3前	1	1						
移民研究・国際人口移動論3	1-2-3前	1	1							移民研究・国際人口移動論3	1-2-3前	1	1	0					
移民研究・国際人口移動論4	1-2-3前	1	1							移民研究・国際人口移動論4	1-2-3前	1	1	0					
Migration and Multicultural Studies3	1-2-3後	1	1							Migration and Multicultural Studies3	1-2-3後	1	1	0					
Migration and Multicultural Studies4	1-2-3後	1	1							Migration and Multicultural Studies4	1-2-3後	1	1	0					
法と市民社会3A	1-2-3前	1	1							法と市民社会3A	1-2-3前	1	1						
法と市民社会3B	1-2-3後	1	1							法と市民社会3B	1-2-3後	1	1						
法と市民社会4A	1-2-3前	1	1							法と市民社会4A	1-2-3前	1	1						
法と市民社会4B	1-2-3後	1	1							法と市民社会4B	1-2-3後	1	1						
法と現代社会3A	1-2-3前	1	1							法と現代社会3A	1-2-3前	1	1						
法と現代社会3B	1-2-3後	1	1							法と現代社会3B	1-2-3後	1	1						
法と現代社会4A	1-2-3前	1	1							法と現代社会4A	1-2-3前	1	1						
法と現代社会4B	1-2-3後	1	1							法と現代社会4B	1-2-3後	1	1						
ユーラシア研究演習1	1-2-3後	1	1							ユーラシア研究演習1	1-2-3後	1	1	1					

ユーラシア研究演習2	1-2-3後	1	1							
ユーラシア研究演習3	1-2-3前	1			1					
ユーラシア研究演習4	1-2-3前	1			1					
日本・ユーラシア研究演習1	1-2-3後	1			1					
日本・ユーラシア研究演習2	1-2-3前	1			1					
ユーラシアの国際関係1	1-2-3後	1	1							
ユーラシアの国際関係2	1-2-3後	1	1							
日本語教育学プログラム演習1A	1前	1	1	6						
日本語教育学プログラム演習1B	1後	1	1	6						
日本語教育学プログラム演習2A	2前	1	1	6						
日本語教育学プログラム演習2B	2後	1	1	6						
言語表現研究1A	1-2前	1		1						
言語表現研究1B	1-2後	1		1						
言語表現研究2A	1-2前	1		1						
言語表現研究2B	1-2後	1		1						
言語と行動理論研究1A	1-2前	1	1							
言語と行動理論研究1B	1-2後	1	1							
言語と行動理論研究2A	1-2前	1	1							
言語と行動理論研究2B	1-2後	1	1							
社会言語学研究1A	1-2前	1		1						
社会言語学研究1B	1-2後	1		1						
社会言語学研究2A	1-2前	1		1						
社会言語学研究2B	1-2後	1		1						
対人配慮行動理論研究1A	1-2前	1		1						
対人配慮行動理論研究1B	1-2後	1		1						
対人配慮行動理論研究2A	1-2前	1		1						
対人配慮行動理論研究2B	1-2後	1		1						
ことばと行為のマイク分析研究1A	1-2前	1		1						
ことばと行為のマイク分析研究1B	1-2後	1		1						
ことばと行為のマイク分析研究2A	1-2前	1		1						
ことばと行為のマイク分析研究2B	1-2後	1		1						
プロジェクト演習3A	1後	1	10	17	5	1				
プロジェクト演習3B	1前	1	10	17	5	1				
プロジェクト演習4A	2後	1	10	17	5	1				
プロジェクト演習4B	2前	1	10	17	5	1				
小計(131科目)		0	135	0	10	17	0	5	0	1
合計(371科目)		0	408	0	55	69	3	16	0	90

ユーラシア研究演習2	1-2-3後	1	1	1						
ユーラシア研究演習3	1-2-3前	1	1	1	0					
ユーラシア研究演習4	1-2-3前	1	1	1	0					
日本・ユーラシア研究演習1	1-2-3後	1	1	1	0					
日本・ユーラシア研究演習2	1-2-3前	1	1	1	0					
ユーラシアの国際関係1	1-2-3後	1	1							
ユーラシアの国際関係2	1-2-3後	1	1							
日本語教育学プログラム演習1A	1-2-3前	1	1	5	1					
日本語教育学プログラム演習1B	1-2-3後	1	1	5	1					
日本語教育学プログラム演習2A	1-2-3前	1	1	6	1					
日本語教育学プログラム演習2B	1-2-3後	1	1	6	1					
言語表現研究1A	1-2前	1		1						
言語表現研究1B	1-2後	1		1						
言語表現研究2A	1-2後	1		1						
言語表現研究2B	1-2後	1		1						
言語と行動理論研究1A	1-2前	1	1							
言語と行動理論研究1B	1-2後	1	1							
言語と行動理論研究2A	1-2前	1	1							
言語と行動理論研究2B	1-2後	1	1							
社会言語学研究1A	1-2前	1		1						
社会言語学研究1B	1-2後	1		1						
社会言語学研究2A	1-2前	1		1						
社会言語学研究2B	1-2後	1		1						
対人配慮行動理論研究1A	1-2前	1		1						
対人配慮行動理論研究1B	1-2後	1		1						
対人配慮行動理論研究2A	1-2前	1		1						
対人配慮行動理論研究2B	1-2後	1		1						
ことばと行為のマイク分析研究1A	1-2前	1		1						
ことばと行為のマイク分析研究1B	1-2後	1		1						
ことばと行為のマイク分析研究2A	1-2前	1		1						
ことばと行為のマイク分析研究2B	1-2後	1		1						
プロジェクト演習3A	1後	1	11	16	5	1				
プロジェクト演習3B	1前	1	11	16	5	1				
プロジェクト演習4A	2後	1	11	16	5	1				
プロジェクト演習4B	2前	1	11	16	5	1				
小計(131科目)		0	135	0	11	16	0	5	0	2
合計(387科目)		0	425	0	67	60	3	17	0	125

卒業要件及び履修方法
<p>(修了要件) 3年以上在学し、学位プログラムごとに定める修了の要件として必要な授業科目の履修により所定の単位を修得し、かつ、必要な研究指導を受けた上、博士論文の審査及び最終試験に合格すること。ただし、在学期間に関しては、優れた研究業績を上げた者については1年(修士課程早期修了者等)にあっては当該課程における在学期間を含めて3年)以上在学すれば足りるものとする。</p> <p>(履修方法)</p> <p>■人文学学位プログラム(D) 次の必要単位を取得すること。</p> <p><哲学・思想サブプログラム> 専門科目 7単位</p> <p><歴史・人類学サブプログラム> 所属領域が指定する専門科目(各領域研究演習 I A~III B及び研究実習AB) 6単位</p> <p><文学サブプログラム> 次の履修方法により15単位以上 (1)「英語文献講読」1単位 (2)大学院共通科目 2単位以上 (3)「文学論文演習」12単位</p> <p><言語学サブプログラム> 次の履修方法により15単位以上 (1)「リサーチラボ演習」12単位 (2)「リサーチラボ実習」12単位以上 (3)大学院共通科目1単位以上</p> <p><現代文化学サブプログラム> 専門科目8単位以上(「現代文化学論文演習」6単位を含む)</p> <p><英語教育学サブプログラム> 「英語教育学特別論文演習」6単位</p> <p>※研究群共通科目、大学院共通科目から1単位を履修することを推奨する。</p>
<p>■国際公共政策学位プログラム(D) 次の履修方法により10単位以上を取得すること。</p> <p>(1) 専門科目 「国際公共政策プロジェクト演習A」および「国際公共政策プロジェクト演習B」6単位 (2) 専門科目 特別演習科目から4単位以上</p> <p>※研究群共通科目、大学院共通科目から1単位を履修することを推奨する。</p>
<p>■国際日本研究学位プログラム(D) 次の方法により9単位以上修得すること。</p> <p>(1) 専門科目 「プロジェクト演習」3Aまたは3B、4Aまたは4B、それぞれ1単位合計2単位選択必修を含む8単位以上 (2) 後期入学者のみ前期課程基礎科目の「研究法入門」または「Academic Writing and Research Ethics」1単位を必ず履修する。後期入学者が修了した修士プログラムでは、本学の現在の修士課程ないし博士前期課程と同等以上の研究倫理教育が行われていないことがあることに対処するための措置である。</p> <p>※研究群共通科目、大学院共通科目から1単位を履修することを推奨する。</p>

※教育上有益と認められる場合には、学位プログラムごとに定める範囲において、他の学位プログラムの授業科目の履修により修得した単位を修了の要件となる単位として認めることができる。

卒業要件及び履修方法
<p>(修了要件) 3年以上在学し、学位プログラムごとに定める修了の要件として必要な授業科目の履修により所定の単位を修得し、かつ、必要な研究指導を受けた上、博士論文の審査及び最終試験に合格すること。ただし、在学期間に関しては、優れた研究業績を上げた者については1年(修士課程早期修了者等)にあっては当該課程における在学期間を含めて3年)以上在学すれば足りるものとする。</p> <p>(履修方法)</p> <p>■人文学学位プログラム(D) 次の必要単位を取得すること。</p> <p><哲学・思想サブプログラム> 専門科目 7単位</p> <p><歴史・人類学サブプログラム> 所属領域が指定する専門科目(各領域研究演習 I A~III B及び研究実習AB) 6単位</p> <p><文学サブプログラム> 次の履修方法により15単位以上 (1)「英語文献講読」1単位 (2)大学院共通科目 2単位以上 (3)「文学論文演習」12単位</p> <p><言語学サブプログラム> 次の履修方法により15単位以上 (1)「リサーチラボ演習」12単位 (2)「リサーチラボ実習」12単位以上 (3)大学院共通科目1単位以上</p> <p><現代文化学サブプログラム> 専門科目8単位以上(「現代文化学論文演習」6単位を含む)</p> <p><英語教育学サブプログラム> 「英語教育学特別論文演習」6単位</p> <p>※研究群共通科目、大学院共通科目から1単位を履修することを推奨する。</p>
<p>■国際公共政策学位プログラム(D) 次の履修方法により10単位以上を取得すること。</p> <p>(1) 専門科目 「国際公共政策プロジェクト演習A」および「国際公共政策プロジェクト演習B」6単位 (2) 専門科目 特別演習科目から4単位以上</p> <p>※研究群共通科目、大学院共通科目から1単位を履修することを推奨する。</p>
<p>■国際日本研究学位プログラム(D) 次の方法により9単位以上修得すること。</p> <p>(1) 専門科目 「プロジェクト演習」3Aまたは3B、4Aまたは4B、それぞれ1単位合計2単位選択必修を含む8単位以上 (2) 後期入学者のみ前期課程基礎科目の「研究法入門」または「Academic Writing and Research Ethics」1単位を必ず履修する。後期入学者が修了した修士プログラムでは、本学の現在の修士課程ないし博士前期課程と同等以上の研究倫理教育が行われていないことがあることに対処するための措置である。</p> <p>※研究群共通科目、大学院共通科目から1単位を履修することを推奨する。</p>

※教育上有益と認められる場合には、学位プログラムごとに定める範囲において、他の学位プログラム等の授業科目の履修により修得した単位を修了の要件となる単位として認めることができる。

【令和2年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
大学院共通科目	生命・環境・研究倫理科	応用倫理	1-2,3後	1							2	
		環境倫理学概論	1-2,3後	1							2	
		研究倫理	1-2,3前	1							2	
		生命倫理学	1-2,3前	1							10	
		企業と技術者の倫理	1-2,3前	1							1	
	情報伝達力・コミュニケーション力養成科目群	テクニカルコミュニケーション	1-2,3前	1							1	
		英語発表	1-2,3前	1							1	
		異分野コミュニケーションのためのプレゼンテーションバトル	1-2,3通	2							3	
		Global Communication Skills Training	1-2,3前	1							2	
		サイエンスコミュニケーション概論	1-2,3前	1							1	
		サイエンスコミュニケーション特論	1-2,3後	1							1	
		サイエンスコミュニケーター養成実践講座	1-2,3休	2							1	
	人文知コミュニケーション:人文社会科学と自然科学の壁を超える	1-2,3後	1		1						5	
	国際性養成科目群	21世紀的中国—現代中国的多相—	1-2,3後	1		1						8
		国際研究プロジェクト	1-2,3通	1							1	
		国際インターシップ	1-2,3通	1							1	
		地球規模課題と国際社会:食料問題	1-2,3後	1							1	
		地球規模課題と国際社会:海洋環境変動と生命	1-2,3後	1							2	
		地球規模課題と国際社会:社会脳	1-2,3休	1							3	
地球規模課題と国際社会:感染症・保健医療問題		1-2,3後	1							2		
地球規模課題と国際社会:社会問題		1-2,3後	1							1		
地球規模課題と国際社会:環境汚染と健康影響		1-2,3後	1							2		
地球規模課題と国際社会:環境・エネルギー		1-2,3休	1							5		

【令和3年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
大学院共通科目	生命・環境・研究倫理科	応用倫理	1-2,3後	1							2	
		環境倫理学概論	1-2,3後	1							2	
		研究倫理	1-2,3前	1							2	
		生命倫理学	1-2,3前	1							10	
		企業と技術者の倫理	1-2,3前	1							1	
	情報伝達力・コミュニケーション力養成科目群	テクニカルコミュニケーション	1-2,3前	1							1	
		英語発表	1-2,3前	1							1	
		異分野コミュニケーションのためのプレゼンテーションバトル	1-2,3通	2							3	
		Global Communication Skills Training	1-2,3前	1							3	
		サイエンスコミュニケーション概論	1-2,3前	1							1	
		サイエンスコミュニケーション特論	1-2,3後	1							1	
		サイエンスコミュニケーター養成実践講座	1-2,3休	2							1	
	人文知コミュニケーション:人文社会科学と自然科学の壁を超える	1-2,3後	1		1						5	
	総合資料学:歴史文化の高度化研究とその伝達方法	1-2,3休	2			1			1		1	
	国際性養成科目群	21世紀的中国—現代中国的多相—	1-2,3後	1			1					8
		国際研究プロジェクト	1-2,3通	1							1	
		国際インターシップ	1-2,3通	1							1	
		地球規模課題と国際社会:食料問題	1-2,3後	1							4	
		地球規模課題と国際社会:海洋環境変動と生命	1-2,3後	1							2	
地球規模課題と国際社会:社会脳		1-2,3休	1							3		
地球規模課題と国際社会:感染症・保健医療問題		1-2,3後	1							2		
地球規模課題と国際社会:社会問題		1-2,3休	1							1		
地球規模課題と国際社会:環境汚染と健康影響		1-2,3後	1							2		
地球規模課題と国際社会:環境・エネルギー		1-2,3前	1							8		

キャリアアマ マネジメント 科目群	JAPICアドバンス ディスカッションコースI- 流動化する世界と これからの日本	1-2- 3後	1																	1
	JAPICアドバンス ディスカッションコースIII- テクノロジーとグローバ ルで拓く未来	1-2- 3前	1																	1
	ダイバーシティと SOGI/LGBT+	1-2- 3休	1																	1
	ワークライフミクス - モーハウスに学ぶハラ タイムシフト	1-2- 3前	1																	2
	魅力ある理科教員 になるための生 物・地学実験	1-2- 3休	1																	10
	アクセシビリティリーダ ー 特論	1-2- 3前	1																	8
	脳の多様性とセルフ マネジメント	1-2- 3休	1																	2
筑波クリエイティブ・ キャン・アドバンス	1- 2-3 後	1																	4	
博士のキャリアパス	1- 2-3 後	1																	4	
知的基盤 形成科目 群	生物多様性と地球 環境	1-2- 3前	1																	4
	内部共生と生物進 化	1-2- 3前	1																	1
	海洋生物の世界と 海洋環境講座	1-2- 3休	1																	2
	科学的発見と創造 性	1-2- 3前	1																	2
	自然災害にどう向 き合うか	1-2- 3前	1																	1
	「考える」動物とし ての人間-東西哲 学からの考察	1-2- 3休	1		2	2	0	1												
	21世紀と宗教	1-2- 3前	1		2															2
UT-Top Academist's Lecture	1- 2-3 後	1																	3	
身心基盤 形成科目 群	塑造実習	1-2- 3後	1																	2
	コミュニケーションアート& デザインA	1-2- 3前	1																	8
	コミュニケーションアート& デザインB	1-2- 3後	1																	7
	日本画実習	1-2- 3前	1																	2
	ヨーガコース	1-2- 3前	1																	1
	絵画実習A	1-2- 3前	1																	1
	現代アート入門	1- 2-3 後	1																	1
	大学院体育Ia	1-2- 3通	1																	4
	大学院体育Ib	1-2- 3前	1																	3
	大学院体育Ic	1-2- 3後	1																	3
	大学院体育IIa	1-2- 3通	1																	4
	大学院体育IIb	1-2- 3前	1																	3
	大学院体育IIc	1-2- 3後	1																	3
	大学院体育IIIa	1-2- 3通	1																	4

キャリアアマ マネジメント 科目群	JAPICアドバンス ディスカッションコースI- 多極化する世界と これからの日本	1-2- 3後	1																	2
	JAPICアドバンス ディスカッションコースIII- テクノロジーとグローバ ルで拓く未来	1-2- 3前	1																	2
	ダイバーシティと SOGI/LGBT+	1-2- 3休	1										1							1
	ワークライフミクス - モーハウスに学ぶハラ タイムシフト	1-2- 3前	1																	2
	魅力ある理科教員 になるための生 物・地学実験	1-2- 3休	1																	9
	アクセシビリティリーダ ー 特論	1-2- 3前	1																	9
	脳の多様性とセルフ マネジメント	1-2- 3休	1																	3
筑波クリエイティブ・ キャン・アドバンス	1- 2-3 後	1																	4	
博士のキャリアパス	1- 2-3 前	1																	2	
知的基盤 形成科目 群	生物多様性と地球 環境	1-2- 3前	1																	4
	内部共生と生物進 化	1-2- 3前	1																	1
	海洋生物の世界と 海洋環境講座	1-2- 3休	1																	2
	科学的発見と創造 性	1-2- 3前	1																	3
	自然災害にどう向 き合うか	1-2- 3前	1																	1
	「考える」動物とし ての人間-東西哲 学からの考察	1-2- 3休	1		2	2	0	1			3	3	0	1						
	21世紀と宗教	1-2- 3前	1		2							2								2
UT-Top Academist's Lecture	1- 2-3 後	1																	3	
身心基盤 形成科目 群	塑造実習	1-2- 3後	1																	2
	コミュニケーションアート& デザインA	1-2- 3前	1																	8
	コミュニケーションアート& デザインB	1-2- 3後	1																	7
	日本画実習	1-2- 3前	1																	2
	ヨーガコース	1-2- 3前	1																	3
	絵画実習A	1-2- 3前	1																	1
	現代アート入門	1- 2-3 前	1																	1
	書実習基礎	1- 2-3 前	1																	2
	大学院体育Ia	1-2- 3通	1																	4
	大学院体育Ib	1-2- 3前	1																	3
	大学院体育Ic	1-2- 3後	1																	3
	大学院体育IIa	1-2- 3通	1																	4
	大学院体育IIb	1-2- 3前	1																	3
	大学院体育IIc	1-2- 3後	1																	3
大学院体育IIIa	1-2- 3通	1																	4	

	歴史地理学研究 実習A	1・2・ 3前	2	1					
	歴史地理学研究 実習B	1・2・ 3後	2	1					
	先史学・考古学研 究演習IA	1前	2	1	3				
	先史学・考古学研 究演習IB	1後	2	1	3				
	先史学・考古学研 究演習IIA	2前	2	1	2				
	先史学・考古学研 究演習IIB	2後	2	1	2				
	先史学・考古学研 究演習IIIA	3前	2	1	2				
	先史学・考古学研 究演習IIIB	3後	2	1	2				
	先史学・考古学研 究実習	1・2・ 3通	4	1	3				
	民俗学・文化人類 学研究IA	1前	1	1	3				
	民俗学・文化人類 学研究IB	1後	1	1	3				
	民俗学・文化人類 学研究IIA	2前	1	1	3				
	民俗学・文化人類 学研究IIB	2後	1	1	3				
	民俗学・文化人類 学研究IIIA	3前	1	1	3				
	民俗学・文化人類 学研究IIIB	3後	1	1	3				
	民俗学・文化人類 学研究実習A	1前	2	1	3				
	民俗学・文化人類 学研究実習B	1後	2	1	3				
文学	文学論文演習(1A)	1前	2	6	7				
	文学論文演習(1B)	1後	2	6	7				
	文学論文演習(2A)	2前	2	6	7				
	文学論文演習(2B)	2後	2	6	7				
	文学論文演習(3A)	3前	2	6	7				
	文学論文演習(3B)	3後	2	6	7				
	海外研究プロジェ クト実習(1)	1・ 2・3 通	1	1					
海外研究プロジェ クト実習(2)	1・ 2・3 通	1	1						
海外研究プロジェ クト実習(3)	1・ 2・3 通	1	1						
言語学	リサーチホ'演習(1A)	1前	2	10	11	4	1		
	リサーチホ'演習(1B)	1後	2	10	11	4	1		
	リサーチホ'演習(2A)	2前	2	10	11	4	1		
	リサーチホ'演習(2B)	2後	2	10	11	4	1		
	リサーチホ'演習(3A)	3前	2	10	11	4	1		
	リサーチホ'演習(3B)	3後	2	10	11	4	1		
	リサーチホ'実習(1A)	1前	1	10	11	4	1		
	リサーチホ'実習(1B)	1後	1	10	11	4	1		
	リサーチホ'実習(2A)	2前	1	10	11	4	1		
	リサーチホ'実習(2B)	2後	1	10	11	4	1		
	リサーチホ'実習(3A)	3前	1	10	11	4	1		
	リサーチホ'実習(3B)	3後	1	10	11	4	1		
	現代文化学	現代文化学論文 演習 IA	1前	1	6	5			
現代文化学論文 演習 IB		1後	1	6	5				
現代文化学論文 演習 IIA		2前	1	6	5				

	歴史地理学研究 実習A	1・2・ 3前	2	1					
	歴史地理学研究 実習B	1・2・ 3後	2	1					
	先史学・考古学研 究演習IA	1前	2	1	3				
	先史学・考古学研 究演習IB	1後	2	1	3				
	先史学・考古学研 究演習IIA	2前	2	1	3				
	先史学・考古学研 究演習IIB	2後	2	1	3				
	先史学・考古学研 究演習IIIA	3前	2	1	3				
	先史学・考古学研 究演習IIIB	3後	2	1	3				
	先史学・考古学研 究実習	1・2・ 3通	4	1	3				
	民俗学・文化人類 学研究IA	1前	1	1	3				
	民俗学・文化人類 学研究IB	1後	1	1	3				
	民俗学・文化人類 学研究IIA	2前	1	1	3				
	民俗学・文化人類 学研究IIB	2後	1	1	3				
	民俗学・文化人類 学研究IIIA	3前	1	1	3				
	民俗学・文化人類 学研究IIIB	3後	1	1	3				
	民俗学・文化人類 学研究実習A	1前	2	1	3				
	民俗学・文化人類 学研究実習B	1後	2	1	3				
文学	文学論文演習(1A)	1前	2	6	6				
	文学論文演習(1B)	1後	2	7	6				
	文学論文演習(2A)	2前	2	7	6				
	文学論文演習(2B)	2後	2	7	6				
	文学論文演習(3A)	3前	2	7	6				
	文学論文演習(3B)	3後	2	7	6				
	海外研究プロジェ クト実習(1)	1・ 2・3 通	1	1					
海外研究プロジェ クト実習(2)	1・ 2・3 通	1	1						
海外研究プロジェ クト実習(3)	1・ 2・3 通	1	1						
言語学	リサーチホ'演習(1A)	1前	2	12	10	3	1		
	リサーチホ'演習(1B)	1後	2	12	10	3	1		
	リサーチホ'演習(2A)	2前	2	12	10	3	1		
	リサーチホ'演習(2B)	2後	2	12	10	3	1		
	リサーチホ'演習(3A)	3前	2	12	9	3	1		
	リサーチホ'演習(3B)	3後	2	12	9	3	1		
	リサーチホ'実習(1A)	1前	1	12	10	3	1		
	リサーチホ'実習(1B)	1後	1	12	10	3	1		
	リサーチホ'実習(2A)	2前	1	12	10	3	1		
	リサーチホ'実習(2B)	2後	1	12	10	3	1		
	リサーチホ'実習(3A)	3前	1	12	9	3	1		
	リサーチホ'実習(3B)	3後	1	12	9	3	1		
	現代文化学	現代文化学論文 演習 IA	1前	1	6	5			
現代文化学論文 演習 IB		1後	1	6	5				
現代文化学論文 演習 IIA		2前	1	6	5				

国際政治史特別演習AI	1-2-3前	1	1																	国際政治史特別演習AI	1-2-3前	1	1																								
国際政治史特別演習AII	1-2-3後	1	1																	国際政治史特別演習AII	1-2-3後	1	1																								
国際政治史特別演習BI	1-2-3前	1	1																	国際政治史特別演習BI	1-2-3前	1	1																								
国際政治史特別演習BII	1-2-3後	1	1																	国際政治史特別演習BII	1-2-3後	1	1																								
ヨーロッパ国際関係論特別演習AI	1-2-3前	1		1																ヨーロッパ国際関係論特別演習AI	1-2-3前	1		1																							
ヨーロッパ国際関係論特別演習AII	1-2-3後	1		1																ヨーロッパ国際関係論特別演習AII	1-2-3後	1		1																							
ヨーロッパ国際関係論特別演習BI	1-2-3前	1		1																ヨーロッパ国際関係論特別演習BI	1-2-3前	1		1																							
ヨーロッパ国際関係論特別演習BII	1-2-3後	1		1																ヨーロッパ国際関係論特別演習BII	1-2-3後	1		1																							
東アジア政治外交特別演習AI	1-2-3前	1			1															東アジア政治外交特別演習AI	1-2-3前	1			1																						
東アジア政治外交特別演習AII	1-2-3後	1			1															東アジア政治外交特別演習AII	1-2-3後	1			1																						
東アジア政治外交特別演習BI	1-2-3前	1			1															東アジア政治外交特別演習BI	1-2-3前	1			1																						
東アジア政治外交特別演習BII	1-2-3後	1			1															東アジア政治外交特別演習BII	1-2-3後	1			1																						
国際法特別演習AI	1-2-3前	1		1																国際法特別演習AI	1-2-3前	1		1																							
国際法特別演習AII	1-2-3後	1		1																国際法特別演習AII	1-2-3後	1		1																							
国際法特別演習BI	1-2-3前	1		1																国際法特別演習BI	1-2-3前	1		1																							
国際法特別演習BII	1-2-3後	1		1																国際法特別演習BII	1-2-3後	1		1																							
開発人類学特別演習AI	1-2-3前	1		1																開発人類学特別演習AI	1-2-3前	1		1																							
開発人類学特別演習AII	1-2-3後	1		1																開発人類学特別演習AII	1-2-3後	1		1																							
開発人類学特別演習BI	1-2-3前	1		1																開発人類学特別演習BI	1-2-3前	1		1																							
開発人類学特別演習BII	1-2-3後	1		1																開発人類学特別演習BII	1-2-3後	1		1																							
文化変動論特別演習AI	1-2-3前	1			1															文化変動論特別演習AI	1-2-3前	1			1																						
文化変動論特別演習AII	1-2-3後	1			1															文化変動論特別演習AII	1-2-3後	1			1																						
文化変動論特別演習BI	1-2-3前	1			1															文化変動論特別演習BI	1-2-3前	1			1																						
文化変動論特別演習BII	1-2-3後	1			1															文化変動論特別演習BII	1-2-3後	1			1																						
政策評価分析特別演習AI	1-2-3前	1			1															政策評価分析特別演習AI	1-2-3前	1			1																						
政策評価分析特別演習AII	1-2-3後	1			1															政策評価分析特別演習AII	1-2-3後	1			1																						
政策評価分析特別演習BI	1-2-3前	1			1															政策評価分析特別演習BI	1-2-3前	1			1																						
政策評価分析特別演習BII	1-2-3後	1			1															政策評価分析特別演習BII	1-2-3後	1			1																						
社会意識論特別演習AI	1-2-3前	1				1														社会意識論特別演習AI	1-2-3前	1				1																					
社会意識論特別演習AII	1-2-3後	1				1														社会意識論特別演習AII	1-2-3後	1				1																					
社会意識論特別演習BI	1-2-3前	1				1														社会意識論特別演習BI	1-2-3前	1				1																					
社会意識論特別演習BII	1-2-3後	1				1														社会意識論特別演習BII	1-2-3後	1				1																					
医療社会学特別演習AI	1-2-3前	1			1															医療社会学特別演習AI	1-2-3前	1			1																						
医療社会学特別演習AII	1-2-3後	1			1															医療社会学特別演習AII	1-2-3後	1			1																						
医療社会学特別演習BI	1-2-3前	1			1															医療社会学特別演習BI	1-2-3前	1			1																						
医療社会学特別演習BII	1-2-3後	1			1															医療社会学特別演習BII	1-2-3後	1			1																						
社会病理学特別演習I	1-2-3前	1			1															社会病理学特別演習I	1-2-3前	1			1																						

		ラテン・アメリカ研究特別演習BI	1-2-3前	1		1	1														
		ラテン・アメリカ研究特別演習BII	1-2-3後	1		1	1														
		経済学特別演習AI	1-2-3前	1		1	3														
		経済学特別演習AII	1-2-3後	1		1	3		1												
		経済学特別演習BI	1-2-3前	1		1	3														
		経済学特別演習BII	1-2-3後	1		1	3														
		国際開発政策論特別演習AI	1-2-3前	1			1														
		国際開発政策論特別演習AII	1-2-3後	1			1														
		国際開発政策論特別演習BI	1-2-3前	1			1														
		国際開発政策論特別演習BII	1-2-3後	1			1														
		小計(98科目)		0	102	0	9	16	2	3	0	1									
国際日本研究関連科目	専門科目	リサーチ・プログラム開発5	1前	2		9	18		4			1									
		リサーチ・プログラム開発6	1後	2		9	18		4			1									
		リサーチ・プログラム開発7	2前	2		9	18		4			1									
		リサーチ・プログラム開発8	2後	2		9	18		4			1									
		日本社会と家2	1-2-3後	1		1															
		韓国社会と家2	1-2-3後	1			1														
		日本古典文化と身体2	1-2-3前	1			1														
		日本のエンターテインメントと社会経済	1-2-3前	1			1														
		情報学特別演習1A	1前	1									1								
		東アジアの思想と文化3	1-2前	1				1													
		東アジアの思想と文化4	1-2後	1				1													
		日本文化と経済思想2	1-2-3前	1			1														
		日本文化と経済思想3	1-2-3後	1			1														
		比較日本文学論1A	1-2-3前	1				1													
		比較日本文学論1B	1-2-3後	1				1													
		比較日本文学論2A	1-2-3前	1				1													
		比較日本文学論2B	1-2-3後	1				1													
		日本文芸・文化研究1A	1-2-3前	1				1													
		日本文芸・文化研究1B	1-2-3後	1				1													
		日本文芸・文化研究2A	1-2-3前	1				1													
		日本文芸・文化研究2B	1-2-3後	1				1													
		社会情報論1	1-2-3前	1				1													
		社会情報論2	1-2-3前	1				1													
コミュニケーションの人類学1A	1-2-3前	1					1														
コミュニケーションの人類学1B	1-2-3後	1					1														
コミュニケーションの人類学2A	1-2-3前	1					1														

		ラテン・アメリカ研究特別演習BI	1-2-3前	1		1	1														
		ラテン・アメリカ研究特別演習BII	1-2-3後	1		1	1														
		経済学特別演習AI	1-2-3前	1			2	3													
		経済学特別演習AII	1-2-3後	1			2	3				0									
		経済学特別演習BI	1-2-3前	1			2	3													
		経済学特別演習BII	1-2-3後	1			2	3													
		国際開発政策論特別演習AI	1-2-3前	1				1													
		国際開発政策論特別演習AII	1-2-3後	1				1													
		国際開発政策論特別演習BI	1-2-3前	1				1													
		国際開発政策論特別演習BII	1-2-3後	1				1													
		小計(98科目)		0	102	0	12	14	2	2	0	1									
国際日本研究関連科目	専門科目	リサーチ・プログラム開発5	1前	2		10	18		6			1									
		リサーチ・プログラム開発6	1後	2		10	18		6			1									
		リサーチ・プログラム開発7	2前	2		10	18		6			1									
		リサーチ・プログラム開発8	2後	2		10	18		6			1									
		日本社会と家2	1-2-3後	1			1														
		韓国社会と家2	1-2-3後	1				1													
		日本古典文化と身体2	1-2-3前	1				1													
		日本のエンターテインメントと社会経済	1-2-3前	1				1													
		情報学特別演習1A	1前	1									1								
		東アジアの思想と文化3	1-2前	1				1					1								
		東アジアの思想と文化4	1-2後	1				1					1								
		日本文化と経済思想2	1-2-3前	1				1					1								
		日本文化と経済思想3	1-2-3後	1				1					1								
		比較日本文学論1A	1-2-3前	1				1					1								
		比較日本文学論1B	1-2-3後	1				1					0					1			
		比較日本文学論2A	1-2-3前	1				1					1								
		比較日本文学論2B	1-2-3後	1				1					1								
		日本文芸・文化研究1A	1-2-3前	1				1					1								
		日本文芸・文化研究1B	1-2-3後	1				1					1								
		日本文芸・文化研究2A	1-2-3前	1				1					1								
		日本文芸・文化研究2B	1-2-3後	1				1					1								
		社会情報論1	1-2-3前	1				1					1								
		社会情報論2	1-2-3前	1				1					1							1	
コミュニケーションの人類学1A	1-2-3前	1					1					1									
コミュニケーションの人類学1B	1-2-3後	1					1					1									
コミュニケーションの人類学2A	1-2-3前	1					1					1									

コミュニケーションの人類学2B	1-2-3後	1		1						コミュニケーションの人類学2B	1-2-3後	1		1					
相互行為分析研究1A	1-2-3前	1		1						相互行為分析研究1A	1-2-3前	1		1					
相互行為分析研究1B	1-2-3後	1		1						相互行為分析研究1B	1-2-3後	1		1					
相互行為分析研究2A	1-2-3前	1		1						相互行為分析研究2A	1-2-3前	1		1					
相互行為分析研究2B	1-2-3後	1		1						相互行為分析研究2B	1-2-3後	1		1					
メディア思想と日本社会3	1-2-3前	1				1				メディア思想と日本社会3	1-2-3前	1						1	
メディア思想と日本社会4	1-2-3後	1				1				メディア思想と日本社会4	1-2-3後	1						1	
比較メディア思想3	1-2-3前	1				1				比較メディア思想3	1-2-3前	1						1	
比較メディア思想4	1-2-3後	1				1				比較メディア思想4	1-2-3後	1						1	
日本政治と市民社会3	1-2-3前	1		1						日本政治と市民社会3	1-2-3前	1		1					
日本政治と市民社会4	1-2-3後	1		1						日本政治と市民社会4	1-2-3前	1		1					
Japan's Politics and Civil Society 3	1-2-3後	1		1						Japan's Politics and Civil Society 3	1-2-3後	1		1					
Japan's Politics and Civil Society 4	1-2-3前	1		1						Japan's Politics and Civil Society 4	1-2-3前	1		1					
比較政治3	1-2-3前	1				1				比較政治3	1-2-3前	1						1	
比較政治4	1-2-3後	1				1				比較政治4	1-2-3後	1						1	
Comparative Politics 3	1-2-3前	1				1				Comparative Politics 3	1-2-3前	1						1	
Comparative Politics 4	1-2-3後	1				1				Comparative Politics 4	1-2-3後	1						1	
Foreign Relations of Japan 3A	1-2-3後	1		1						Foreign Relations of Japan 3A	1-2-3後	1		1					
Foreign Relations of Japan 3B	1-2-3前	1		1						Foreign Relations of Japan 3B	1-2-3前	1		1					
Foreign Relations of Japan 4A	1-2-3後	1		1						Foreign Relations of Japan 4A	1-2-3後	1		1					
Foreign Relations of Japan 4B	1-2-3前	1		1						Foreign Relations of Japan 4B	1-2-3前	1		1					
International Relations 3A	1-2-3後	1		1						International Relations 3A	1-2-3後	1		1					
International Relations 3B	1-2-3前	1		1						International Relations 3B	1-2-3前	1		1					
International Relations 4A	1-2-3後	1		1						International Relations 4A	1-2-3後	1		1					
International Relations 4B	1-2-3前	1		1						International Relations 4B	1-2-3前	1		1					
教育政策論1	1-2-3前	1		1						教育政策論1	1-2-3前	1		1					
教育政策論2	1-2-3前	1		1						教育政策論2	1-2-3前	1		1					
Educational Policy 1	1-2-3後	1		1						Educational Policy 1	1-2-3後	1		1					
Educational Policy 2	1-2-3後	1		1						Educational Policy 2	1-2-3後	1		1					
計量分析3A	1-2-3前	1		1						計量分析3A	1-2-3前	1		1					
計量分析3B	1-2-3前	1		1						計量分析3B	1-2-3前	1		1					
計量分析4A	1-2-3前	1		1						計量分析4A	1-2-3前	1		1					
計量分析4B	1-2-3前	1		1						計量分析4B	1-2-3前	1		1					
応用ミコ経済学2	1-2-3前	1		1						応用ミコ経済学2	1-2-3前	1		1					
応用ミコ経済学3	1-2-3後	1		1						応用ミコ経済学3	1-2-3後	1		1					

応用ゲーム理論2	1-2-3前	1			1					応用ゲーム理論2	1-2-3前	1				1			
応用ゲーム理論3	1-2-3後	1			1					応用ゲーム理論3	1-2-3後	1				1			
環境とマクロ経済学3A	1-2-3前	1			1					環境とマクロ経済学3A	1-2-3前	1				1			
環境とマクロ経済学3B	1-2-3後	1			1					環境とマクロ経済学3B	1-2-3後	1				1			
環境とマクロ経済学4A	1-2-3前	1			1					環境とマクロ経済学4A	1-2-3前	1				1			
環境とマクロ経済学4B	1-2-3後	1			1					環境とマクロ経済学4B	1-2-3後	1				1			
金融3A	1-2-3前	1					1			金融3A	1-2-3前	1						1	
金融3B	1-2-3後	1					1			金融3B	1-2-3後	1						1	
金融4A	1-2-3前	1					1			金融4A	1-2-3前	1						1	
金融4B	1-2-3後	1					1			金融4B	1-2-3後	1						1	
世界経済史3	1-2-3前	1			1					世界経済史3	1-2-3前	1			1				
世界経済史4	1-2-3後	1			1					世界経済史4	1-2-3前	1			1				
Comparative Labor Studies 3	1-2-3後	1			1					Comparative Labor Studies 3	1-2-3後	1			1				
Comparative Labor Studies 4	1-2-3前	1			1					Comparative Labor Studies 4	1-2-3後	1			1				
地域経済・経営史3A	1-2-3前	1			1					地域経済・経営史3A	1-2-3前	1			1				
地域経済・経営史3B	1-2-3後	1			1					地域経済・経営史3B	1-2-3後	1			1				
地域経済・経営史4A	1-2-3前	1			1					地域経済・経営史4A	1-2-3前	1			1				
地域経済・経営史4B	1-2-3後	1			1					地域経済・経営史4B	1-2-3後	1			1				
Informatics and Society 1	1-2-3後	1			1					Informatics and Society 1	1-2-3後	1			1				
Informatics and Society 2	1-2-3後	1			1					Informatics and Society 2	1-2-3後	1			1				
Global Society & Information 1	1-2-3後	1			1					Global Society & Information 1	1-2-3後	1			1				
Global Society & Information 2	1-2-3前	1			1					Global Society & Information 2	1-2-3前	1			1				
移民研究・国際人口移動論3	1-2-3前	1			1					移民研究・国際人口移動論3	1-2-3前	1			1		0		
移民研究・国際人口移動論4	1-2-3前	1			1					移民研究・国際人口移動論4	1-2-3前	1			1		0		
Migration and Multicultural Studies3	1-2-3後	1			1					Migration and Multicultural Studies3	1-2-3後	1			1		0		
Migration and Multicultural Studies4	1-2-3後	1			1					Migration and Multicultural Studies4	1-2-3後	1			1		0		
法と市民社会3A	1-2-3前	1			1					法と市民社会3A	1-2-3前	1			1				
法と市民社会3B	1-2-3後	1			1					法と市民社会3B	1-2-3後	1			1				
法と市民社会4A	1-2-3前	1			1					法と市民社会4A	1-2-3前	1			1				
法と市民社会4B	1-2-3後	1			1					法と市民社会4B	1-2-3後	1			1				
法と現代社会3A	1-2-3前	1			1					法と現代社会3A	1-2-3前	1			1				
法と現代社会3B	1-2-3後	1			1					法と現代社会3B	1-2-3後	1			1				
法と現代社会4A	1-2-3前	1			1					法と現代社会4A	1-2-3前	1			1				
法と現代社会4B	1-2-3後	1			1					法と現代社会4B	1-2-3後	1			1				
ユーラシア研究演習1	1-2-3後	1			1		1			ユーラシア研究演習1	1-2-3後	1			1		1		

ユーラシア研究演習2	1-2-3後	1	1	1						
ユーラシア研究演習3	1-2-3前	1		1	0					
ユーラシア研究演習4	1-2-3前	1		1	0					
日本・ユーラシア研究演習1	1-2-3後	1		1	0					
日本・ユーラシア研究演習2	1-2-3前	1		1	0					
ユーラシアの国際関係1	1-2-3後	1	1							
ユーラシアの国際関係2	1-2-3後	1	1							
日本語教育学プログラム演習1A	1前	1	1	6						
日本語教育学プログラム演習1B	1後	1	1	6						
日本語教育学プログラム演習2A	2前	1	1	6						
日本語教育学プログラム演習2B	2後	1	1	6						
言語表現研究1A	1-2前	1		1						
言語表現研究1B	1-2後	1		1						
言語表現研究2A	1-2後	1		1						
言語表現研究2B	1-2後	1		1						
言語と行動理論研究1A	1-2前	1	1							
言語と行動理論研究1B	1-2後	1	1							
言語と行動理論研究2A	1-2前	1	1							
言語と行動理論研究2B	1-2後	1	1							
社会言語学研究1A	1-2前	1		1						
社会言語学研究1B	1-2後	1		1						
社会言語学研究2A	1-2前	1		1						
社会言語学研究2B	1-2後	1		1						
対人配慮行動理論研究1A	1-2前	1		1						
対人配慮行動理論研究1B	1-2後	1		1						
対人配慮行動理論研究2A	1-2前	1		1						
対人配慮行動理論研究2B	1-2後	1		1						
ことばと行為のマイク分析研究1A	1-2前	1		1						
ことばと行為のマイク分析研究1B	1-2後	1		1						
ことばと行為のマイク分析研究2A	1-2前	1		1						
ことばと行為のマイク分析研究2B	1-2後	1		1						
プロジェクト演習3A	1後	1	9	18	4		1			
プロジェクト演習3B	1前	1	9	18	4		1			
プロジェクト演習4A	2後	1	9	18	4		1			
プロジェクト演習4B	2前	1	9	18	4		1			
小計(131科目)		0	135	0	9	18	0	4	0	1
合計(385科目)		0	422	0	56	70	3	17	0	120

ユーラシア研究演習2	1-2-3後	1	1	1						
ユーラシア研究演習3	1-2-3前	1	1	1	0					
ユーラシア研究演習4	1-2-3前	1	1	1	0					
日本・ユーラシア研究演習1	1-2-3後	1	1	1	0					
日本・ユーラシア研究演習2	1-2-3前	1	1	1	0					
ユーラシアの国際関係1	1-2-3後	1	1							
ユーラシアの国際関係2	1-2-3後	1	1							
日本語教育学プログラム演習1A	1-2-3前	1	1	6						
日本語教育学プログラム演習1B	1-2-3後	1	1	6						
日本語教育学プログラム演習2A	1-2-3前	1	1	7	1					
日本語教育学プログラム演習2B	1-2-3後	1	1	7	1					
言語表現研究1A	1-2前	1		1						
言語表現研究1B	1-2後	1		1						
言語表現研究2A	1-2後	1		1						
言語表現研究2B	1-2後	1		1						
言語と行動理論研究1A	1-2前	1	1							
言語と行動理論研究1B	1-2後	1	1							
言語と行動理論研究2A	1-2前	1	1							
言語と行動理論研究2B	1-2後	1	1							
社会言語学研究1A	1-2前	1		1						
社会言語学研究1B	1-2後	1		1						
社会言語学研究2A	1-2前	1		1						
社会言語学研究2B	1-2後	1		1						
対人配慮行動理論研究1A	1-2前	1		1						
対人配慮行動理論研究1B	1-2後	1		1						
対人配慮行動理論研究2A	1-2前	1		1						
対人配慮行動理論研究2B	1-2後	1		1						
ことばと行為のマイク分析研究1A	1-2前	1		1						
ことばと行為のマイク分析研究1B	1-2後	1		1						
ことばと行為のマイク分析研究2A	1-2前	1		1						
ことばと行為のマイク分析研究2B	1-2後	1		1						
プロジェクト演習3A	1後	1	10	18	6		1			
プロジェクト演習3B	1前	1	10	18	6		1			
プロジェクト演習4A	2後	1	10	18	6		1			
プロジェクト演習4B	2前	1	10	18	6		1			
小計(131科目)		0	135	0	10	18	0	6	0	1
合計(387科目)		0	425	0	65	65	3	18	0	128

卒業要件及び履修方法
<p>(修了要件) 3年以上在学し、学位プログラムごとに定める修了の要件として必要な授業科目の履修により所定の単位を修得し、かつ、必要な研究指導を受けた上、博士論文の審査及び最終試験に合格すること。ただし、在学期間に関しては、優れた研究業績を上げた者については1年(修士課程早期修了者等)にあっては当該課程における在学期間を含めて3年)以上在学すれば足りるものとする。</p> <p>(履修方法) ■人文学学位プログラム(D) 次の必要単位を取得すること。</p> <p><哲学・思想サブプログラム> 専門科目 7単位</p> <p><歴史・人類学サブプログラム> 所属領域が指定する専門科目(各領域研究演習ⅠA～ⅢB及び研究実習AB) 6単位</p> <p><文学サブプログラム> 次の履修方法により15単位以上 (1)「英語文献講読」1単位 (2)大学院共通科目 2単位以上 (3)「文学論文演習」12単位</p> <p><言語学サブプログラム> 次の履修方法により15単位以上 (1)「リサーチラボ演習」12単位 (2)「リサーチラボ実習」12単位以上 (3)大学院共通科目1単位以上</p> <p><現代文化学サブプログラム> 専門科目8単位以上(「現代文化学論文演習」6単位を含む)</p> <p><英語教育学サブプログラム> 「英語教育学特別論文演習」6単位</p> <p>※研究群共通科目、大学院共通科目から1単位を履修することを推奨する。</p> <p>■国際公共政策学位プログラム(D) 次の履修方法により10単位以上を取得すること。</p> <p>(1) 専門科目 「国際公共政策プロジェクト演習A」および「国際公共政策プロジェクト演習B」6単位 (2) 専門科目 特別演習科目から4単位以上</p> <p>※研究群共通科目、大学院共通科目から1単位を履修することを推奨する。</p> <p>■国際日本研究学位プログラム(D) 次の方法により9単位以上修得すること。</p> <p>(1) 専門科目 「プロジェクト演習」3Aまたは3B、4Aまたは4B、それぞれ1単位合計2単位選択必修を含む8単位以上 (2) 後期入学者のみ前期課程基礎科目の「研究法入門」または「Academic Writing and Research Ethics」1単位を必ず履修する。後期入学者が修了した修士プログラムでは、本学の現在の修士課程ないし博士前期課程と同等以上の研究倫理教育が行われていないことがあることに対処するための措置である。</p> <p>※研究群共通科目、大学院共通科目から1単位を履修することを推奨する。</p>

※教育上有益と認められる場合には、学位プログラムごとに定める範囲において、他の学位プログラム等の授業科目の履修により修得した単位を修了の要件となる単位として認めることができる。

卒業要件及び履修方法
<p>(修了要件) 3年以上在学し、学位プログラムごとに定める修了の要件として必要な授業科目の履修により所定の単位を修得し、かつ、必要な研究指導を受けた上、博士論文の審査及び最終試験に合格すること。ただし、在学期間に関しては、優れた研究業績を上げた者については1年(修士課程早期修了者等)にあっては当該課程における在学期間を含めて3年)以上在学すれば足りるものとする。</p> <p>(履修方法) ■人文学学位プログラム(D) 次の必要単位を取得すること。</p> <p><哲学・思想サブプログラム> 専門科目 7単位</p> <p><歴史・人類学サブプログラム> 所属領域が指定する専門科目(各領域研究演習ⅠA～ⅢB及び研究実習AB) 6単位</p> <p><文学サブプログラム> 次の履修方法により15単位以上 (1)「英語文献講読」1単位 (2)大学院共通科目 2単位以上 (3)「文学論文演習」12単位</p> <p><言語学サブプログラム> 次の履修方法により15単位以上 (1)「リサーチラボ演習」12単位 (2)「リサーチラボ実習」12単位以上 (3)大学院共通科目1単位以上</p> <p><現代文化学サブプログラム> 専門科目8単位以上(「現代文化学論文演習」6単位を含む)</p> <p><英語教育学サブプログラム> 「英語教育学特別論文演習」6単位</p> <p>※研究群共通科目、大学院共通科目から1単位を履修することを推奨する。</p> <p>■国際公共政策学位プログラム(D) 次の履修方法により10単位以上を取得すること。</p> <p>(1) 専門科目 「国際公共政策プロジェクト演習A」および「国際公共政策プロジェクト演習B」6単位 (2) 専門科目 特別演習科目から4単位以上</p> <p>※研究群共通科目、大学院共通科目から1単位を履修することを推奨する。</p> <p>■国際日本研究学位プログラム(D) 次の方法により9単位以上修得すること。</p> <p>(1) 専門科目 「プロジェクト演習」3Aまたは3B、4Aまたは4B、それぞれ1単位合計2単位選択必修を含む8単位以上 (2) 後期入学者のみ前期課程基礎科目の「研究法入門」または「Academic Writing and Research Ethics」1単位を必ず履修する。後期入学者が修了した修士プログラムでは、本学の現在の修士課程ないし博士前期課程と同等以上の研究倫理教育が行われていないことがあることに対処するための措置である。</p> <p>※研究群共通科目、大学院共通科目から1単位を履修することを推奨する。</p>

※教育上有益と認められる場合には、学位プログラムごとに定める範囲において、他の学位プログラム等の授業科目の履修により修得した単位を修了の要件となる単位として認めることができる。

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ 認可申請書又は設置届出書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
 - ・ 各欄の作成方法は「大学の設置等に係る提出書類作成の手引き」の「教育課程等の概要」を確認してください。
 - ・ 「認可時又は届出時」には 設置認可時又は届出時の授業科目全て(兼任、兼任教員が担当する科目を含む。)を黒字で記入してください。その上で、各年度については、認可時又は届出時から変更となっている箇所は太字の赤字としてください。
 - ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても科目名の後ろに「(未開講)」として記入してください。
 - ・ 1ページ目には認可時又は届出時と報告年度2つの表を記入してください。
 - ・ 不要な年度(令和2年度開設であれば令和元年度)の表は適宜削除してください。(2つの表が1ページに表示されるようにしてください。)
 - ・ 専門職大学等の場合、「実験、実習又は実技による授業科目」には「【※】」、「臨地実務実習」による授業科目には「【臨】」、「連携実務演習」による授業科目には「【連】」を授業科目の名称の右側に記入してください。

(1) ②授業科目表に関する変更内容

【令和2年度】

- ・授業方法の変更により、「企業と技術者の倫理」の兼任・兼任教員の配置を「2」から「1」に変更。
- ・授業内容充実のため、「異分野コミュニケーションのためのプレゼンテーション」の兼任・兼任教員の配置を「2」から「3」に変更。
- ・授業内容充実のため、「Global Communication Skills Training」の兼任・兼任教員の配置を「1」から「2」に変更。
- ・授業内容充実のため、「人文知コミュニケーション：人文社会科学と自然科学の壁を超える」の兼任・兼任教員の配置を「2」から「5」に変更。
- ・授業内容充実のため、「21世紀的中国—現代中国的多相—」の兼任・兼任教員の配置に「8」を追加。
- ・授業内容充実のため、「地球規模課題と国際社会：社会脳」の兼任・兼任教員の配置を「1」から「3」に変更。
- ・担当教員変更により、「地球規模課題と国際社会：感染症・保健医療問題」の兼任・兼任教員の配置を「3」から「2」に変更。
- ・授業内容充実のため、「地球規模課題と国際社会：地球規模課題と国際社会：環境汚染と健康影響」の兼任・兼任教員の配置を「1」から「2」に変更。
- ・授業内容充実のため、「地球規模課題と国際社会：環境・エネルギー」の兼任・兼任教員の配置を「1」から「5」に変更。
- ・授業内容充実のため、「ワカイトミックス—モハスに学ぶパラダイム」の兼任・兼任教員の配置を「1」から「2」に変更。
- ・担当教員追加及び退職により、「魅力ある理科教員になるための生物・地学実験」の兼任・兼任教員の配置を「9」から「10」に変更。
- ・授業内容充実のため、「脳の多様性とセルフマネジメント」の兼任・兼任教員の配置を「1」から「2」に変更。
- ・教育内容充実のため、「筑波クリエイティブ・キャンパ・アドバンス」博士のキャリアパスを選択科目に追加。
- ・授業内容充実のため、「科学的発見と創造性」の兼任・兼任教員の配置を「1」から「2」に変更。
- ・担当教員交代により、「考える」動物としての人間—東西哲学からの考察」の専任教員等の配置の「講師1」を「助教1」に変更。
- ・授業内容充実のため、「21世紀と宗教」の兼任・兼任教員の配置に「2」を追加。
- ・授業内容充実のため、「UT-Top Academicist's Lecture」を選択科目に追加。
- ・担当教員加療のため、「現代7入門」の配当年次を「1・2・3前」から「1・2・3後」に変更。
- ・教育効果向上のため、「プレゼンテーション演習」の配当年次を「1前」から「1通」に変更。
- ・授業内容充実のため、「東洋史研究演習IA」「同IB」の専任教員等の配置の「助教1」を「助教2」に変更。
- ・授業内容充実のため、「先史学・考古学研究演習IA」「同IB」「先史学・考古学実習」の専任教員等の配置の「准教授2」を「准教授3」に変更。
- ・海外学会発表等の推進のため、「海外研究プロジェクト実習(1)」「同(2)」「同(3)」を選択科目に追加。
- ・担当教員昇任及び退職により、「リサーチ演習(1A)」「同(1B)」「同(2A)」「同(2B)」「同(3A)」「同(3B)」「リサーチ実習(1A)」「同(1B)」「同(2A)」「同(2B)」「同(3A)」「同(3B)」の専任教員等の配置の「准教授12」を「准教授11」に変更。
- ・担当教員昇任により、「現代文化論文演習 IA」「同(1B)」「同(1IA)」「同(1IB)」「同(1IIA)」「同(1IIB)」の専任教員等の配置の「教授5、准教授6」を「教授6、准教授5」に変更。
- ・担当教員昇任により、「博士論文フロンティア演習II」の専任教員等の配置の「准教授1」を「教授1」に変更。
- ・海外学会発表等の推進のため、「学術成果公開演習IA」「同IB」「同IIA」「同IIB」を選択科目に追加。
- ・海外学会発表等の推進のため、「英語教育学プロジェクト特別演習IA」「同IB」「同IIA」「同IIB」を選択科目に追加。
- ・新規教員就任及び担当教員昇任により、「国際公共政策プロジェクト演習A」「同B」の専任教員等の配置の「准教授14、助教3」を「准教授16、助教3」に変更。
- ・担当教員のサバティカル取得により、「社会階層論特別演習AII」の配当年次を「1・2・3後」から「1・2・3前」に変更。
- ・新規教員就任により、「東南アジア研究特別演習AI」「同AII」「同BI」「同BII」の専任教員等の配置に「准教授1」を追加。
- ・担当教員昇任により、「中央ユーラシア研究特別演習AI」「同AII」「同BI」「同BII」の専任教員等の配置の「准教授1、助教1」を「准教授2」に変更。
- ・新規教員就任により、「経済学特別演習AII」の専任教員等の配置に「助教1」を追加。
- ・担当教員昇任及び退職により、「リサーチプロジェクト開発5」「同6」「同7」「同8」の専任教員等の配置の「教授10、准教授17、助教5」を「教授9、准教授18、助教4」に変更。
- ・教育効果向上のため、「計量分析3A」「同3B」「同4A」「同4B」を隔年開講から毎年開講に変更し、「同3B」「同4B」の配当年次を「1・2・3後」から「1・2・3前」に変更。
- ・指導体制充実のため、「ユーラシア研究演習1」「同2」の専任教員等の配置に「准教授1」を追加。
- ・担当教員昇任により、「ユーラシア研究演習3」「同4」「日本・ユーラシア研究演習1」「同2」の専任教員等の配置を「助教1」から「准教授1」に変更。
- ・履修上の配慮のため、「日本語教育学プロジェクト演習1A」「同1B」「同2A」「同2B」を毎年開講から隔年開講に変更。
- ・担当教員のサバティカル取得により、「言語表現研究2A」の配当年次を「1・2前」から「1・2後」に変更。
- ・担当教員昇任及び退職により、「プロジェクト演習3A」「同3B」「同4A」「同4B」の専任教員等の配置を「教授10、准教授17、助教5」から「教授9、准教授18、助教4」に変更。

※上記のほか、新型コロナウイルス感染症の影響により授業科目の開講時期の一時的な変更等が生じた。

【令和3年度】

- ・授業内容充実のため、「Global Communication Skills Training」の兼任・兼任教員の配置を「2」から「3」に変更。
- ・教育内容充実のため、「総合資料学：歴史文化の高度化研究とその伝達方法」を選択科目に追加。
- ・授業内容充実のため、「地球規模課題と国際社会：食料問題」の兼任・兼任教員の配置を「1」から「4」に変更。
- ・履修上の配慮のため、「地球規模課題と国際社会：社会問題」の配当年次を「1・2・3後」から「1・2・3休」に変更。
- ・履修上の配慮のため、「地球規模課題と国際社会：環境・エネルギー」の配当年次を「1・2・3休」から「1・2・3前」に変更。授業内容の充実のため、同科目の兼任・兼任教員の配置を「5」から「8」に変更。
- ・科目名称適正化のため、「JAPIC7トランスジェンダーイノベーション—流動化する世界とこれからの日本」の副題を一部変更。
- ・授業内容充実のため、「JAPIC7トランスジェンダーイノベーション—多極化する世界とこれからの日本」「同II—テクノロジーとグローバルで開く未来」の兼任・兼任教員の配置を「1」から「2」に変更。
- ・授業内容充実のため、「ダイバーシティとSOGI/LGBT+」の専任教員等の配置に「助教1」を追加。
- ・担当教員退職により、「魅力ある理科教員になるための生物・地学実験」の兼任・兼任教員の配置を「10」から「9」に変更。
- ・授業内容充実のため、「アケビ・リリーダ—特論」の兼任・兼任教員の配置を「8」から「9」に変更。
- ・授業内容充実のため、「脳の多様性とセルフマネジメント」の兼任・兼任教員の配置を「2」から「3」に変更。
- ・履修上の配慮のため、「博士のキャリアパス」の配当年次を「1・2・3後」から「1・2・3前」に変更。担当教員交代により、同科目の兼任・兼任教員の配置を「4」から「2」に変更。
- ・授業内容充実のため、「科学的発見と創造性」の兼任・兼任教員の配置を「2」から「3」に変更。
- ・授業内容充実のため、「考える」動物としての人間—東西哲学からの考察」の専任教員等の配置の「教授2、准教授2」を「教授3、准教授3」に変更。
- ・授業内容充実のため、「30-Course」の兼任・兼任教員の配置を「1」から「3」に変更。
- ・担当教員回復により、「現代7入門」の配当年次を「1・2・3後」から「1・2・3前」に復旧。
- ・教育内容充実のため、「書実習基礎」を選択科目に追加。
- ・担当教員変更のため、「英語文献講読」の専任教員等配置を「教授2」から「教授1、准教授1」に変更。
- ・担当教員昇任及び授業内容充実のため、「東洋史研究演習IA」「同IB」「同IIA」「同IIB」「同IIIA」「同IIIB」の専任教員等の配置の「教授1、准教授1」を「教授2」に変更、「同IIA」「同IIIA」「同IIIB」の専任教員等の配置の「助教1」を「助教2」に変更。
- ・担当教員昇任により、「西洋史研究演習IA」「同IB」「同IIA」「同IIB」「同IIIA」「同IIIB」の専任教員等の配置の「教授2、准教授1」を「教授3」に変更。
- ・授業内容充実のため、「先史学・考古学研究演習IIA」「同IB」「同IIIA」「同IIIB」の専任教員等の配置の「准教授2」を「准教授3」に変更。
- ・教授担当教員のサバティカル取得により、「文学論文演習(1A)」の専任教員等の配置の「教授7」を「教授6」に変更。担当教員昇任のため、「同(1B)」「同(2A)」「同(2B)」「同(3A)」「同(3B)」の専任教員等の配置を「教授6、准教授7」から「教授7、准教授6」に変更。
- ・担当教員昇任、退職及び追加により、「リサーチ演習(1A)」「同(1B)」「同(2A)」「同(2B)」「同(3A)」「同(3B)」「リサーチ実習(1A)」「同(1B)」「同(2A)」「同(2B)」「同(3A)」「同(3B)」の専任教員等の配置の「教授10、准教授11、助教4」を「教授12、准教授10、助教3」に変更。
- ・担当教員昇任により、「国際公共政策プロジェクト演習A」「同B」の専任教員等の配置の「教授9、准教授16、助教3」を「教授12、准教授14、助教2」に変更。
- ・担当教員交代により、「東アジア政治外交特別演習BI」「BII」の専任教員等の配置を「助教1」から「教授1」に変更。
- ・担当教員昇任により、「都市社会学特別演習I」「同II」「地域社会学特別演習I」「同II」の専任教員等の配置を「准教授1」から「教授1」に変更。
- ・担当教員のサバティカル終了により、「社会階層論特別演習AII」の配当年次を「1・2・3前」から「1・2・3後」に復旧。

- ・担当教員昇任により、「中東・北アフリカ研究特別演習AI」「同AII」「BI」「BII」の専任教員等の配置を「准教授1」から「教授1」に変更。
- ・担当教員昇任及び追加により、「経済学特別演習AI」「同AII」の専任教員等の配置の「教授1、准教授3」を「教授2、准教授3」に変更。
- ・担当教員昇任及び追加により、「リサーチ・プログラム開発5」「同6」「同7」「同8」の専任教員等の配置を「教授9、准教授18、助教4」から「教授10、准教授18、助教6」に変更。
- ・担当教員交代により、「比較日本文学論1B」の専任教員等の配置を「准教授1」から「助教1」に変更。
- ・授業内容充実のため、「社会情報論2」の専任教員等の配置に「助教1」を追加。
- ・教育効果向上のため、「日本政治と市民社会4」の配当年次を「1・2・3後」から「1・2・3前」に変更。
- ・教育効果向上のため、「Japan's Politics and Civil Society 4」の配当年次を「1・2・3前」から「1・2・3後」に変更。
- ・教育効果向上のため、「世界経済史4」の配当年次を「1・2・3後」から「1・2・3前」に変更。
- ・教育効果向上のため、「Comparative Labor Studies 4」の配当年次を「1・2・3前」から「1・2・3後」に変更。
- ・担当教員昇任により、「移民研究・国際人口移動論3」「同4」「Migration and Multicultural Studies3」「同4」の専任教員等の配置を「准教授1」から「教授1」に変更。
- ・授業内容充実のため、「ユレニア研究演習3」「同4」の専任教員等の配置に「教授1」を追加。
- ・教育効果向上のため、「日本語教育学プログラム演習1A」「同1B」の配当年次を「1」から「1・2・3」に、「同2A」「同2B」の配当年次を「2」から「1・2・3」に変更。
- ・授業内容充実のため、「日本語教育学プログラム演習2A」「同2B」の専任教員等の配置に「樹教授1、助教1」を追加。
- ・担当教員昇任及び追加のため、「アロシエ演習3A」「同3B」「同4A」「同4B」の専任教員等の配置を「教授9、准教授18、助教4」から「教授10、准教授18、助教6」に変更。

※上記のほか、新型コロナウイルス感染症の影響により授業科目の開講時期の一時的な変更等が生じた。

【令和4年度】

- ・担当教員退職により、「生命倫理学」の兼任・兼任教員の配置を「10」から「9」に変更。
 - ・授業内容を踏まえ、「英語発表」の授業科目の名称を「Presentations for General Audiences」に変更。
 - ・担当教員離職により、「人文知コミュニケーション:人文社会科学と自然科学の壁を超える」の兼任・兼任教員の配置を「5」から「3」に変更。
 - ・履修上の配慮のため、「総合資料学:歴史文化の高度化研究とその伝達方法」の配当年次を「1・2・3休」から「1・2・3後」に変更。
 - ・授業内容充実のため、「地球規模課題と国際社会:社会脳」の兼任・兼任教員の配置を「3」から「4」に変更。
 - ・授業内容を踏まえ、「JAPIC7ドバイステイタリオンコンス111-テクノロジーとグローバルで拓く未来」の授業科目の名称を「JAPIC7ドバイステイタリオンコンス111-次世代モバイルのマーケティングと計算科学」に変更。
 - ・担当教員退職により、「アケシテリイター-特論」の兼任・兼任教員の配置を「9」から「8」に変更。
 - ・履修上の配慮により、「科学的発見と創造性」の配当年次を「1・2・3前」から「1・2・3後」に変更。
 - ・担当教員交代により、「コミュニケーション&デザインB」の兼任・兼任教員の配置を「7」から「8」に変更。
 - ・授業内容充実のため、「プレゼンテーション演習」の専任教員等の配置の「准教授4」を「准教授5」に変更。
 - ・担当教員のサバティカル終了により、「文学論文演習(1A)」の専任教員等の配置の「教授6」を「教授7」に変更。
 - ・授業内容充実のため、「リサーチ演習(3A)」「同(3B)」「リサーチ実習(3A)」「同(3B)」の専任教員等の配置の「准教授9」を「准教授10」に変更。
 - ・担当教員退職により、「現代文化学論文演習 1A」「同1B」「同11A」「同11B」「同111A」「同111B」の専任教員等の配置の「准教授5」を「准教授4」に変更。
 - ・担当教員退職により、「学術成果公開演習IA」「同IB」「同IIA」「同IIB」の専任教員等の配置の「准教授5」を「准教授4」に変更。
 - ・担当教員昇任及び退職により、「国際公共政策プログラム演習A」「同B」の専任教員等の配置の「教授12、准教授14」を「教授13、准教授12」に変更。
 - ・担当教員昇任により、「ヨーロッパ国際関係特別演習AI」「同AII」「同BI」「同BII」の専任教員等の配置を「准教授1」から「教授1」に変更。
 - ・担当教員交代により、「文化社会学特別演習1」「同11」の専任教員等の配置を「准教授1」から「講師1」に変更。
 - ・授業内容充実のため、「中央ユレニア研究特別演習AI」「同AII」の専任教員等の配置の「教授1」を「教授2」に変更。
 - ・担当教員昇任及び退職により、「リサーチ・プログラム開発5」「同6」「同7」「同8」の専任教員等の配置を「教授10、准教授18、助教6」から「教授11、准教授16、助教5」に変更。
 - ・担当教員交代により、「比較日本文学論2B」の専任教員等の配置を「准教授1」から「助教1」に変更。
 - ・担当教員昇任により、「メディア思想と日本社会3」「同4」の専任教員等の配置を「助教1」から「准教授1」に変更。
 - ・担当教員昇任により、「比較メディア思想3」「同4」の専任教員等の配置を「助教1」から「准教授1」に変更。
 - ・教育効果向上のため、「Foreign Relations of Japan 3B」「同4B」の配当年次を「1・2・3前」から「1・2・3後」に変更。
 - ・担当教員昇任により、「教育政策論1」「同2」の専任教員等の配置を「准教授1」から「教授1」に変更。
 - ・担当教員昇任により、「Educational Policy 1」「同2」の専任教員等の配置を「准教授1」から「教授1」に変更。
 - ・担当教員退職により、「環境とマクロ経済学3A」「同3B」「同4A」「同4B」の担当教員の配置を「准教授1」から「兼任・兼任教員1」に変更。
 - ・担当教員追加及び退職により、「日本語教育学プログラム演習1A」「同1B」の専任教員等の配置の「准教授6」を「准教授5」に変更、「助教1」を追加。
 - ・担当教員退職により、「日本語教育学プログラム演習2A」「同2B」の専任教員等の配置の「准教授7」を「准教授6」に変更。
 - ・担当教員昇任及び退職により、「アロシエ演習3A」「3B」「4A」「4B」の専任教員等の配置を「教授10、准教授18、助教6」から「教授11、准教授16、助教5」に変更。
- ※上記のほか、新型コロナウイルス感染症の影響により次の授業科目の開講時期に一時的な変更が生じた。
Global Communication Skills Training

- (注) ・ 2(1)① 授業科目表に記入された各年度における変更内容(配当年次の変更、専任教員等の配置の変更、授業科目名の変更、新規科目の追加など)を箇条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
- ・ 変更内容には、授業科目の未開講や廃止については記入しないでください。
 - ・ 不要な年度(令和2年度開設であれば令和元年度)の表は適宜削除してください。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計 (A)	必修	選択	自由	計	
0 科目	371 科目	0 科目	371 科目	0 科目 [0]	387 科目 [16]	0 科目 [0]	387 科目 [0]	

(注) ・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、[] 内に、設置時の計画からの増減を記入してください。(記入例：1科目減の場合：△1)

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由, 代替措置の有無
1						該当無し
2						
3						

- (注) ・ 配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については記入しないでください。
 - ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。
 - ・ 専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎、展開、職業専門、総合」と修正して記入してください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由, 代替措置の有無
1						該当無し
2						
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」として記入してください。
 - ・ 専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎、展開、職業専門、総合」と修正して記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

該当無し

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能な限り具体的に記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目(3)と廃止科目(4)の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計(A)}} = \frac{0}{371} = \boxed{}0\%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。
・ 「未開講科目と廃止科目の計」が、「(3)未開講科目」と「(4)廃止科目」の合計数となるように留意してください。

3 施設・設備の整備状況、経費

区 分		内 容				備 考					
(1) 校 地 等	区 分	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計						
	校舎敷地	1,373,254 m ²	0 m ²	0 m ²	1,373,254 m ²						
	運動場用地	344,887 m ²	0 m ²	0 m ²	344,887 m ²						
	小 計	1,718,141 m ²	0 m ²	0 m ²	1,718,141 m ²						
	そ の 他	797,247 m ² 796,323 m ² 798,532 m² 798,027 m ²	0 m ²	0 m ²	797,247 m ² 796,323 m ² 798,532 m² 798,027 m ²	建物の新築、改築による (2) 建物の新築、改築による (3) 建物の新築等による (4)					
	合 計	2,515,388 m ² 2,514,464 m ² 2,516,673 m² 2,516,168 m ²	0 m ²	0 m ²	2,515,388 m ² 2,514,464 m ² 2,516,673 m² 2,516,168 m ²						
(2) 校 舎	専 用	478,742 m ² 479,158 m ² 479,537 m² 479,420 m ²	0 m ²	0 m ²	478,742 m ² 479,158 m ² 479,537 m² 479,420 m ²	建物の新築による (2) 建物の新築等による (3) 建物の新築、既存建物面積の修正等による (4)					
		(478,742 m²) (479,158 m²) (479,537 m²) (479,420 m ²)	(0 m ²)	(0 m ²)	(478,742 m²) (479,158 m²) (479,537 m²) (479,420 m ²)						
(3) 教 室 等	講 義 室	332室 336室	演 習 室	300室 293室 294室	実験実習室	2,031室 2,030室 2,032室 2,029室	情報処理学習施設	30室 29室 30室 (補助職員12人) 10人 12人 13人	語学学習施設	7室 0室 1室 (補助職員14人) 15人 16人 14人	申請大学全体
											改修工事による用途見直し、語学学習施設の耐震改修（一般教室で代替中）、人事異動等のため (2) 改修工事による用途見直し、語学学習システムのオンライン化、人事異動等のため (3) 改修工事による用途見直しのため (4)
(4) 専任教員研究室	新設学部等の名称			室 数		改修工事による用途見直しのため (3)					
	申請大学全体			1,831 1,830 室							
(5) 図 書 ・ 設 備	新設学部等の名称	図 書 〔うち外国書〕 冊	学術雑誌 〔うち外国書〕 種	電子ジャーナル 〔うち外国書〕	視聴覚資料 点	機械・器具 点	標 本 点	専攻単位での特定不能なため、申請大学全体の資料購入により図書・雑誌数増加、資料除籍のため視聴覚資料数減少 (3) 資料購入により図書・雑誌・視聴覚資料数増加 (4)			
	申請大学全体	2,681,796 [1,044,194] (2,698,129 [1,046,608]) (2,712,400 [1,048,271]) (2,727,143 [1,050,669])	30,364 [12,874] (30,447 [12,889]) (30,597 [12,914]) (30,749 [12,969])	31,466 [31,404] (32,769 [32,693]) (32,018 [31,965]) (37,024 [36,961])	17,262 (17,345) (17,219) (17,537)	24,989 (24,989)	551 (551)				
	計	2,681,796 [1,044,194] (2,698,129 [1,046,608]) (2,712,400 [1,048,271]) (2,727,143 [1,050,669])	30,364 [12,874] (30,447 [12,889]) (30,597 [12,914]) (30,749 [12,969])	31,466 [31,404] (32,769 [32,693]) (32,018 [31,965]) (37,024 [36,961])	17,262 (17,345) (17,219) (17,537)	24,989 (24,989)	551 (551)				
(6) 図 書 館	面 積		閲 覧 座 席 数		収 納 可 能 冊 数		新制大学全体				
	30,041 m ²		2,230 2,233 2,238 2,236		2,606,501 2,607,028 2,613,611 2,615,500						
							閲覧室レイアウト変更により閲覧座席数増加、書架棚数増加により収容可能冊数増加 (2) 医学図書館ラーニングコモンズ設置に伴い閲覧座席数増加、書架棚数増加により収容可能冊数増加 (3) 閲覧室レイアウト変更により閲覧座席数減少、書架棚数増加により収容可能冊数増加 (4)				

(7) 体 育 館	面 積		体育館以外のスポーツ施設の概要						新制大学全体
	22,713 m ² 22,765 m ²		テニスコート、ハンドボール場、ラグビー場、サッカー場、陸上競技場、屋内プール						屋内プールは体育館面積に含まれているため(2)増築等による(4)
(8) 経費の見積り及び維持方法の概要	経費の見積り	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度	国費による
		教員1人当り研究費等	千円	千円	図書購入費	千円	千円	千円	
	共同研究費等	千円	千円	設備購入費	千円	千円	千円		
	学生1人当り納付金	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次		
	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円		
学生納付金以外の維持方法の概要									

- (注) ・ 設置時の計画を、申請書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はAC対象学部等の数値を記入してください。)
- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨(所要時間・距離等)を「備考」に記入してください。
 - ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には令和4年5月1日現在の数値を記入してください。
 - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(4)」を「備考」に赤字で記入してください。
 なお、昨年度の報告において赤字で見え消しした部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
 - ・ 校舎等建物の計画の変更(校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延)がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。
 - ・ 国立大学については「(8)経費の見積り及び維持方法の概要」は記載不要です。

4. 既設大学等の状況

大学の名称	筑波大学						学生募集停止学科数	0	平均入学定員超過率1.3倍以上の学科等数	0	備考
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	令和4年度入学定員超過率	定員変更年度(AC期間の学科のみ)	開設年度	所在地	
	年	人	年次人	人		倍	倍	年度	年度		
人文・文化学群	4	240	-	960	-	1.03	1.02	-	平成19	-	
人文学類	4	120	-	480	学士 (人文学)	1.04	1.04	-	平成19	茨城県つくば市 天王台1-1-1	
比較文化学類	4	80	-	320	学士 (比較文化)	1.02	1.05	-	平成19	同上	
日本語・日本文化学類	4	40	-	160	学士 (文学) (日本語教育)	1.02	0.95	-	平成19	同上	
社会・国際学群	4	160	3年次 10	660	-	1.02	0.96	-	平成19	-	
社会学類	4	80	3年次 10	340	学士 (社会学) (法学) (政治学) (経済学) (国際社会科学)	1.01	0.96	-	平成19	茨城県つくば市 天王台1-1-1	
国際総合学類	4	80	-	320	学士 (国際関係学) (国際開発学) (国際社会科学)	1.02	0.97	-	平成19	同上	
人間学群	4	120	-	480	-	1.06	1.08	-	平成19	-	
教育学類	4	35	-	140	学士 (教育学)	1.03	1.05	-	平成19	茨城県つくば市 天王台1-1-1	
心理学類	4	50	-	200	学士 (心理学)	1.08	1.10	-	平成19	同上	
障害科学類	4	35	-	140	学士 (障害科学) (特別支援教育学) (社会福祉学)	1.05	1.08	-	平成19	同上	
生命環境学群	4	250	3年次 10	1,020	-	1.02	0.96	-	平成19	-	
生物学類	4	80	-	320	学士 (理学)	1.02	0.95	-	平成19	茨城県つくば市 天王台1-1-1	
生物資源学類	4	120	3年次 10	500	学士 (生物資源学) (農学)	1.01	0.95	-	平成19	同上	
地球学類	4	50	-	200	学士 (理学)	1.05	1.02	-	平成19	同上	
理工学群	4	520	3年次 10	2,100	-	1.02	1.02	-	平成19	-	
数学類	4	40	-	160	学士 (理学)	1.00	1.00	-	平成19	茨城県つくば市 天王台1-1-1	
物理学類	4	60	-	240	学士 (理学)	1.03	1.10	-	平成19	同上	
化学類	4	50	-	200	学士 (理学)	1.02	1.04	-	平成19	同上	
応用理工学類	4	120	3年次 10	500	学士 (工学)	1.03	1.00	-	平成19	同上	
工学システム学類	4	130	-	520	学士 (工学)	1.02	1.00	-	平成19	同上	
社会工学類	4	120	-	480	学士 (社会工学)	1.03	1.03	-	平成19	同上	
情報学群	4	230	3年次 30	980	-	1.05	1.05	-	平成19	-	
情報科学類	4	80	3年次 10	340	学士 (情報科学) (情報工学)	1.06	1.05	-	平成19	茨城県つくば市 天王台1-1-1	
情報メディア創成学類	4	50	3年次 10	220	学士 (情報メディア科学)	1.06	1.04	-	平成19	茨城県つくば市	
知識情報・図書館学類	4	100	3年次 10	420	学士 (図書館情報学)	1.04	1.06	-	平成19	春日1-2 同上	

医学群(修業年限6年)	-	134	2年次 ₅	833		0.98	0.94	令和4	平成19	-	
医学類	6	134	2年次 ₅	833	学士 (医学)	0.98	0.94	令和4	平成19	茨城県つくば市 天王台1-1-1	定員変更 (36)
医学群(修業年限4年)	4	107	3年次 ₁₃	454	-	1.02	1.00	-	平成19		
看護学類	4	70	3年次 ₁₀	300	学士 (看護学) (ヘルスケア)	1.03	1.00	-	平成19	茨城県つくば市 天王台1-1-1	
医療科学類	4	37	3年次 ₃	154	学士 (医療科学) (国際医療科学)	1.00	1.02	-	平成19	同上	
体育専門学群	4	240	-	960	学士 (体育学)	1.06	1.04	-	昭和49	茨城県つくば市 天王台1-1-1	
芸術専門学群	4	100	-	400	学士 (芸術学)	1.04	1.03	-	昭和50	茨城県つくば市 天王台1-1-1	
大学全体	4	1,967	3年次 ₇₃	8,014	-	1.03	1.02	-	-	-	-
	6	134	2年次 ₅	833		0.98	0.94				

大学の名称	筑波大学大学院					学生募集停止学科数	86	平均入学定員超過率1.3倍以上の学科等数	0	備考	
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	令和4年度入学定員超過率	定員変更年度(AC期間の学科のみ)	開設年度	所在地	
	年	人	年次人	人		倍	倍	年度	年度	年度	
人文社会ビジネス科学学術院	-	355	-	833	-			-	令和2		令和2年4月設置
(M)	2	202		404	-	0.89	0.82	-			
(D)	3	87		261	-	0.62	0.80	-			
(P)	2	30		60	-	1.11	1.06	-			
	3	36		108	-	1.07	0.97	-			
人文社会科学研究群(M)	2	139	-	278	修士 (文学) (国際公共政策) (国際日本研究)	0.87	0.80	-	令和2	茨城県つくば市 天王台1-1-1	令和2年4月設置
人文社会科学研究群(D)	3	66	-	198	博士 (文学) (国際公共政策) (国際日本研究)	0.52	0.74	-	令和2	同上	令和2年4月設置
ビジネス科学研究群(M)	2	63	-	126	修士 (法学) (経営学)	0.91	0.87	-	令和2	東京都文京区 大塚3-29-1	令和2年4月設置
ビジネス科学研究群(D)	3	21	-	63	博士 (法学) (経営学)	0.94	1.00	-	令和2	同上	令和2年4月設置
法曹専攻(P)	3	36	-	108	法務博士 (専門職)	1.07	0.97	-	令和2	同上	令和2年4月設置
国際経営プロフェッショナル専攻(P)	2	30	-	60	国際経営修士 (専門職)	1.11	1.06	-	令和2	同上	令和2年4月設置
理工情報生命学術院	-	1,332	-	2,988	-			-	令和2		令和2年4月設置
(M)	2	1,024		2,048	-	1.08	1.06	-			
(D)	3	300		900	-	0.96	0.90	-			
	5	8		40	-	1.08	1.50	-			
数理工学物質科学研究群(M)	2	276	-	552	修士 (理学) (工学)	1.01	1.00	-	令和2	茨城県つくば市 天王台1-1-1	令和2年4月設置
数理工学物質科学研究群(D)	3	88	-	264	博士 (理学) (工学)	0.76	0.76	-	令和2	同上	令和2年4月設置
システム情報工学研究群(M)	2	431	-	862	修士 (社会工学) (工学) (サービス工学) (生物情報学)	1.19	1.21	-	令和2	同上	令和2年4月設置
システム情報工学研究群(D)	3	94	-	282	博士 (社会工学) (工学) (生物情報学)	1.21	1.07	-	令和2	同上	令和2年4月設置
	5	8	-	40	修士 (人間情報学) 博士 (人間情報学)	1.08	1.50	-			

生命地球科学研究群 (M)	2	311	-	622	修士 (理学) (農学) (環境科学) (山岳科学) (食料革新学) (環境制御学) (生物工学)	0.99	0.91	-	令和2	同上	令和2年4月 設置
生命地球科学研究群 (D)	3	118	-	354	博士 (理学) (農学) (生命農学) (生物工学) (環境学) (食料革新学) (環境制御学)	0.92	0.86	-	令和2	同上	令和2年4月 設置
国際連携持続環境科学専攻 (M)	2	6	-	12	修士 (持続環境科学)	1.00	0.50	-	令和2	同上	令和2年4月 設置
人間総合科学学術院 (M)	-	821	-	1,970	-	-	-	-	令和2	-	令和2年4月 設置
(D)	2	589	-	1,178	-	0.97	0.91	-	-	-	-
	3	144	-	432	-	1.05	1.02	-	-	-	-
	4	80	-	320	-	1.12	1.13	-	-	-	-
	5	8	-	40	-	0.95	0.75	-	-	-	-
人間総合科学研究群 (M)	2	575	-	1,150	修士 (教育学) (心理学) (障害科学) (カウンセリング) (リハビリテーション科学) (神経科学) (看護科学) (医科学) (公衆衛生学) (体育学) (スポーツ・リハビリ科学) (スポーツ・ウェルネス学) (芸術学) (デザイン学) (世界遺産学) (情報学) (病態機構学)	0.97	0.97	-	令和2	茨城県つくば市 天王台1-1-1 東京都文京区 大塚3-29-1	令和2年4月 設置
人間総合科学研究群 (D)	3	141	-	423	博士 (教育学) (心理学) (障害科学) (カウンセリング科学) (リハビリテーション科学) (神経科学) (看護科学) (ヒューマン・ケア科学) (公衆衛生学) (スポーツ医学) (体育科学) (コーチング学) (スポーツ・ウェルネス学) (芸術学) (デザイン学) (世界遺産学) (情報学) (病態機構学) (医科学)	1.05	0.97	-	令和2	同上	令和2年4月 設置
	4	80	-	320	(医学)	1.12	1.16	-	令和2	同上	-
	5	8	-	40	(人間生物学)	0.95	1.00	-	令和2	同上	-
スポーツ国際開発学共同専攻 (M)	2	5	-	10	修士 (スポーツ国際開発学)	1.00	1.00	-	令和2	茨城県つくば市 天王台1-1-1	令和2年4月 設置
大学体育スポーツ高度化共同専攻 (D)	3	3	-	9	博士 (体育スポーツ学)	1.22	1.33	-	令和2	同上	令和2年4月 設置
国際連携食料健康科学専攻 (M)	2	9	-	18	修士 (食料健康科学)	0.83	0.00	-	令和2	同上	令和2年4月 設置
教育研究科 スキルアップ開発専攻 (修士課程)	2	-	-	-	修士 (教育学)	-	-	-	昭和53 平成18	茨城県つくば市 天王台1-1-1	令和2年学生募集停止 令和2年 学生募集停止
教科教育専攻 (修士課程)	2	-	-	-	修士 (教育学)	-	-	-	昭和53	同上	令和2年 学生募集停止
人文社会科学研究科 哲学・思想専攻 (一貫制修士課程)	5	-	-	-	博士 (文学)	-	-	-	平成13 平成13	茨城県つくば市 天王台1-1-1	令和2年 学生募集停止
歴史・人類学専攻 (一貫制修士課程)	5	-	-	-	博士 (文学)	-	-	-	平成13	同上	令和2年 学生募集停止
文芸・言語専攻 (一貫制修士課程)	5	-	-	-	博士 (文学) (言語学)	-	-	-	平成13	同上	令和2年 学生募集停止
現代語・現代文化専攻 (博士前期課程)	2	-	-	-	修士 (文学) (言語学) (学術)	-	-	-	平成20	同上	令和2年 学生募集停止

現代語・現代文化専攻 (博士後期課程)	3	-	-	-	博士 (文学) (言語学) (学術)	-	-	-	平成20	同上	令和2年 学生募集停止
国際公共政策専攻 (博士前期課程)	2	-	-	-	修士 (政治学) (社会学) (国際政治経済学) (国際公共政策) (学術)	-	-	-	平成20	同上	令和2年 学生募集停止
国際公共政策専攻 (博士後期課程)	3	-	-	-	博士 (政治学) (社会学) (国際政治経済学) (国際公共政策) (学術)	-	-	-	平成20	同上	令和2年 学生募集停止
国際地域研究専攻 (修士課程)	2	-	-	-	修士 (地域研究) (国際学) (公共政策) (経済学) (学術)	-	-	-	平成27	同上	令和2年 学生募集停止
国際日本研究専攻 (博士前期課程)	2	-	-	-	修士 (人文科学) (社会科学) (国際日本研究) (日本語教育学)	-	-	-	平成27	同上	令和2年 学生募集停止
国際日本研究専攻 (博士後期課程)	3	-	-	-	博士 (人文科学) (社会科学) (国際日本研究) (日本語教育学) (学術)	-	-	-	平成20	同上	令和2年 学生募集停止
ビジネス科学研究科 経営システム科学専攻 (博士前期課程)	2	-	-	-	修士 (経営学) (経営システム科学)	-	-	-	平成13 平成13	東京都文京区 大塚3-29-1	令和2年学生募集停止 令和2年 学生募集停止
企業法学専攻 (博士前期課程)	2	-	-	-	修士 (法学)	-	-	-	平成13	同上	令和2年 学生募集停止
企業科学専攻 (博士後期課程)	3	-	-	-	博士 (経営学) (システム・マネジメント) (法学)	-	-	-	平成13	同上	令和2年 学生募集停止 令和2年 学生募集停止
法曹専攻 (専門職学位課程)	3	-	-	-	法務博士 (専門職)	-	-	-	平成17	同上	令和2年 学生募集停止
国際経営プロフェッショナル専攻 (専門職学位課程)	2	-	-	-	国際経営修士 (専門職)	-	-	-	平成17	同上	令和2年 学生募集停止
数理工学科学研究科 数学専攻 (博士前期課程)	2	-	-	-	修士 (理学)	-	-	-	平成12 平成12	茨城県つくば市 天王台1-1-1	令和2年学生募集停止 令和2年 学生募集停止
数学専攻 (博士後期課程)	3	-	-	-	博士 (理学)	-	-	-	平成12	同上	令和2年 学生募集停止
物理学専攻 (博士前期課程)	2	-	-	-	修士 (理学)	-	-	-	平成12	同上	令和2年 学生募集停止
物理学専攻 (博士後期課程)	3	-	-	-	博士 (理学)	-	-	-	平成12	同上	令和2年 学生募集停止
化学専攻 (博士前期課程)	2	-	-	-	修士 (理学)	-	-	-	平成12	同上	令和2年 学生募集停止
化学専攻 (博士後期課程)	3	-	-	-	博士 (理学)	-	-	-	平成12	同上	令和2年 学生募集停止
ナノサイエンス・テクノロジー専攻 (博士後期課程)	3	-	-	-	博士 (理学) (工学)	-	-	-	平成24	同上	令和2年 学生募集停止
電子・物理工学専攻 (博士前期課程)	2	-	-	-	修士 (工学)	-	-	-	平成12	同上	令和2年 学生募集停止
電子・物理工学専攻 (博士後期課程)	3	-	-	-	博士 (工学)	-	-	-	平成12	同上	令和2年 学生募集停止
物性・分子工学専攻 (博士前期課程)	2	-	-	-	修士 (工学)	-	-	-	平成12	同上	令和2年 学生募集停止
物性・分子工学専攻 (博士後期課程)	3	-	-	-	博士 (工学)	-	-	-	平成12	同上	令和2年 学生募集停止
物質・材料工学専攻 (後期3年の課程のみの博士課程)	3	-	-	-	博士 (工学)	-	-	-	平成16	同上	令和2年 学生募集停止
システム情報工学研究科 社会工学専攻 (博士前期課程)	2	-	-	-	修士 (社会工学) (サービス工学)	-	-	-	平成12 平成26	茨城県つくば市 天王台1-1-1	令和2年学生募集停止 令和2年 学生募集停止
社会工学専攻 (博士後期課程)	3	-	-	-	博士 (社会工学)	-	-	-	平成26	同上	令和2年 学生募集停止
社会システム・マネジメント専攻 (博士後期課程)	3	-	-	-	博士 (社会経済) (社会工学) (マネジメント) (工学)	-	-	-	平成12	同上	平成26年 学生募集停止
リスク工学専攻 (博士前期課程)	2	-	-	-	修士 (工学) (社会工学)	-	-	-	平成13	同上	令和2年 学生募集停止
リスク工学専攻 (博士後期課程)	3	-	-	-	博士 (工学)	-	-	-	平成13	同上	令和2年 学生募集停止
コンピュータサイエンス専攻 (博士前期課程)	2	-	-	-	修士 (工学)	-	-	-	平成12	同上	令和2年 学生募集停止

コンピュータサイエンス専攻 (博士後期課程)	3	-	-	-	博士 (工学)	-	-	-	平成12	同上	令和2年 学生募集停止
知能機能システム専攻 (博士前期課程)	2	-	-	-	修士 (工学)	-	-	-	平成12	同上	令和2年 学生募集停止
知能機能システム専攻 (博士後期課程)	3	-	-	-	博士 (工学)	-	-	-	平成12	同上	令和2年 学生募集停止
構造エネルギー工学専攻 (博士前期課程)	2	-	-	-	修士 (工学)	-	-	-	平成12	同上	令和2年 学生募集停止
構造エネルギー工学専攻 (博士後期課程)	3	-	-	-	博士 (工学)	-	-	-	平成12	同上	令和2年 学生募集停止
生命環境科学研究科	-	-	-	-	-	-	-	-	平成12		令和2年学生募集停止
地球科学専攻 (博士前期課程)	2	-	-	-	修士 (理学) (地球科学)	-	-	-	平成19	茨城県つくば市 天王台1-1-1	令和2年 学生募集停止
生物科学専攻 (博士前期課程)	2	-	-	-	修士 (理学)	-	-	-	平成17	同上	令和2年 学生募集停止
生物資源科学専攻 (博士前期課程)	2	-	-	-	修士 (農学) (生物資源工学) (生物工学) (バイオテクノロジー) (学術)	-	-	-	平成17	同上	令和2年 学生募集停止
環境科学専攻 (博士前期課程)	2	-	-	-	修士 (環境科学)	-	-	-	平成19	同上	令和2年 学生募集停止
国際連携持続環境科学専攻 (博士前期課程)	2	-	-	-	修士 (持続環境科学)	-	-	-	平成29	同上	令和2年 学生募集停止
地球環境科学専攻 (博士後期課程)	3	-	-	-	博士 (理学) (地球環境科学)	-	-	-	平成19	同上	令和2年 学生募集停止
地球進化科学専攻 (博士後期課程)	3	-	-	-	博士 (理学) (地球科学)	-	-	-	平成19	同上	令和2年 学生募集停止
生物科学専攻 (博士後期課程)	3	-	-	-	博士 (理学) (生物科学) (学術)	-	-	-	平成23	同上	令和2年 学生募集停止
環境バイオマス共生学専攻 (一貫制博士課程)	5	-	-	-	博士 (学術)	-	-	-	平成24	同上	令和2年 学生募集停止
国際地縁技術開発科学専攻 (博士後期課程)	3	-	-	-	博士 (農学) (生物資源工学) (学術)	-	-	-	平成17	同上	令和2年 学生募集停止
生物圏資源科学専攻 (博士後期課程)	3	-	-	-	博士 (農学) (学術)	-	-	-	平成17	同上	令和2年 学生募集停止
生物機能科学専攻 (博士後期課程)	3	-	-	-	博士 (農学) (生物工学) (学術)	-	-	-	平成17	同上	令和2年 学生募集停止
生命産業科学専攻 (博士後期課程)	3	-	-	-	博士 (生物科学) (農学) (生物工学) (学術)	-	-	-	平成17	同上	令和2年 学生募集停止
持続環境学専攻 (博士後期課程)	3	-	-	-	博士 (環境学)	-	-	-	平成19	同上	令和2年 学生募集停止
先端農業技術科学専攻 (後期3年の課程のみの博士課程)	3	-	-	-	博士 (農学)	-	-	-	平成17	同上	令和2年 学生募集停止
人間総合科学研究科	-	-	-	-	-	-	-	-	平成13		令和2年学生募集停止
スポーツ健康システムマネジメント専攻 (修士課程)	2	-	-	-	修士 (体育学) (保健学)	-	-	-	平成20	東京都文京区 大塚3-29-1	令和2年 学生募集停止
フロンティア医科学専攻 (修士課程)	2	-	-	-	修士 (医科学) (公衆衛生学) (ヒューマンケア科学)	-	-	-	平成18	茨城県つくば市 天王台1-1-1	令和2年 学生募集停止
教育学専攻 (博士前期課程)	2	-	-	-	修士 (教育学)	-	-	-	平成20	同上	令和2年 学生募集停止
教育基礎学専攻 (博士後期課程)	3	-	-	-	博士 (教育学)	-	-	-	平成20	同上	令和2年 学生募集停止
学校教育学専攻 (博士後期課程)	3	-	-	-	博士 (教育学) (学術)	-	-	-	平成20	同上	令和2年 学生募集停止
心理専攻 (博士前期課程)	2	-	-	-	修士 (心理学)	-	-	-	平成20	同上	令和2年 学生募集停止
心理学専攻 (博士後期課程)	3	-	-	-	博士 (心理学) (学術)	-	-	-	平成20	同上	令和2年 学生募集停止
障害科学専攻 (博士前期課程)	2	-	-	-	修士 (障害科学) (特別支援教育学)	-	-	-	平成20	同上	令和2年 学生募集停止
障害科学専攻 (博士後期課程)	3	-	-	-	博士 (障害科学)	-	-	-	平成20	同上	令和2年 学生募集停止
生涯発達専攻 (博士前期課程)	2	-	-	-	修士 (カウンセリング) (リハビリテーション)	-	-	-	平成20	東京都文京区 大塚3-29-1	令和2年 学生募集停止
生涯発達科学専攻 (博士後期課程)	3	-	-	-	博士 (生涯発達科学) (カウンセリング科学) (リハビリテーション科学)	-	-	-	平成20	同上	令和2年 学生募集停止

ヒューマン・ケア科学専攻 (後期3年の課程のみの博士課程)	3	-	-	-	博士 (教育学) (心理学) (ヒューマン・ケア科学) (体育科学) (公衆衛生学) (学術)	-	-	-	平成20	茨城県つくば市 天王台1-1-1	令和2年 学生募集停止
感性認知脳科学専攻 (博士前期課程)	2	-	-	-	修士 (感性科学) (行動科学) (神経科学) (学術)	-	-	-	平成20	同上	令和2年 学生募集停止
感性認知脳科学専攻 (博士後期課程)	3	-	-	-	博士 (感性科学) (行動科学) (神経科学) (学術)	-	-	-	平成20	同上	令和2年 学生募集停止
スポーツ医学専攻 (後期3年の課程のみの博士課程)	3	-	-	-	博士 (スポーツ医学) (学術)	-	-	-	平成20	同上	令和2年 学生募集停止
生命システム医学専攻 (医学を履修する博士課程)	4	-	-	-	博士 (医学) (学術)	-	-	-	平成20	同上	令和2年 学生募集停止
疾患制御医学専攻 (医学を履修する博士課程)	4	-	-	-	博士 (医学) (学術)	-	-	-	平成20	同上	令和2年 学生募集停止
看護科学専攻 (博士前期課程)	2	-	-	-	修士 (看護科学)	-	-	-	平成19	同上	令和2年 学生募集停止
看護科学専攻 (博士後期課程)	3	-	-	-	博士 (看護科学)	-	-	-	平成21	同上	令和2年 学生募集停止
体育学専攻 (博士前期課程)	2	-	-	-	修士 (体育学) (コーチング学) (スポーツリハビリ科学)	-	-	-	平成20	同上	令和2年 学生募集停止
体育科学専攻 (博士後期課程)	3	-	-	-	博士 (体育科学) (健康スポーツ科学) (学術)	-	-	-	平成20	同上	令和2年 学生募集停止
コーチング学専攻 (後期3年の課程のみの博士課程)	3	-	-	-	博士 (コーチング学) (学術)	-	-	-	平成18	同上	令和2年 学生募集停止
芸術専攻 (博士前期課程)	2	-	-	-	修士 (芸術学) (デザイン学)	-	-	-	平成19	同上	令和2年 学生募集停止
芸術専攻 (博士後期課程)	3	-	-	-	博士 (芸術学) (デザイン学)	-	-	-	平成19	同上	令和2年 学生募集停止
世界遺産専攻 (博士前期課程)	2	-	-	-	修士 (世界遺産学) (学術)	-	-	-	平成19	同上	令和2年 学生募集停止
世界文化遺産学専攻 (博士後期課程)	3	-	-	-	博士 (世界遺産学) (学術)	-	-	-	平成18	同上	令和2年 学生募集停止
ｽﾎｰﾝ国際開発学共同専攻 (修士課程)	2	-	-	-	修士 (ｽﾎｰﾝ国際開発学)	-	-	-	平成28	同上	令和2年 学生募集停止
大学体育ｽﾎｰﾝ高度化共同専攻 (後期3年の課程のみの博士課程)	3	-	-	-	博士 (体育スポーツ学)	-	-	-	平成28	同上	令和2年 学生募集停止
国際連携食料健康科学専攻 (修士課程)	2	-	-	-	修士 (食料健康科学)	-	-	-	平成29	同上	令和2年 学生募集停止
図書館情報メディア研究科	-	-	-	-	修士	-	-	-	平成15		令和2年学生募集停止
図書館情報メディア専攻 (博士前期課程)	2	-	-	-	(図書館情報学) (情報学)	-	-	-	平成15	茨城県つくば市 春日1-2	令和2年 学生募集停止
図書館情報メディア専攻 (博士後期課程)	3	-	-	-	博士 (図書館情報学) (情報学) (学術)	-	-	-	平成15	同上	令和2年 学生募集停止
大学院全体	-	2,499	-	5,773	-	-	-	-	-	-	-
(M)	2	1,806	-	3,612	-	1.02	1.00	-	-	-	-
(D)	3	531	-	1,593	-	0.93	0.90	-	-	-	-
	4	80	-	320	-	1.12	1.16	-	-	-	-
	5	16	-	80	-	1.02	1.25	-	-	-	-
(P)	2	30	-	60	-	1.11	1.06	-	-	-	-
	3	36	-	108	-	1.07	0.97	-	-	-	-

- (注) ・本調査の対象となっている大学等の設置者が既に設置している全ての大学、大学院、短期大学及び高等専門学校についてそれぞれの学校ごとに、報告年度の5月1日現在の状況を記入してください(専攻科及び別科を除く)。
・学部/学科または研究科の専攻等、「入学定員を定めている組織」ごとに全ての組織を記入してください。
※「入学定員を定めている組織」ごとには、課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めず、履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。
・本年度AC対象となる学部等については、必ず下線を引いてください。
・「平均入学定員超過率」には、報告年度(令和4年度)から起算した修業年限に相当する期間の入学定員超過率の平均を記載してください。
・「備考」の欄については、学年進行中の入学定員の増減や学生募集停止など、収容定員に影響のある情報を記入してください。

5 教員組織の状況

<人文社会ビジネス科学学術院 人文社会科学研究群 博士後期課程>

(1) 一① 担当教員表
掲載省略

(1) 一② 担当教員表に関する変更内容
掲載省略

(2) 専任教員数等

(2) - ① 設置基準上の必要専任教員数

完成年度時における 設置基準上の必要研究 指導教員数	うち、完成年度時に おける設置基準上の 必要教授数	完成年度時における 設置基準上の必要研究 指導補助教員数
17	4	0
名	名	名

(注) ・ 大学院に専攻ごとに置くものとする教員の数について定める件（平成十一年九月十四日文部省告示第七十五号）により算出される教員数を記入してください。

(2) - ② 専任教員等数【大学院】

設置時の計画						現在（報告時）の状況					
教授	准教授	講師	助教	計 (A)	助手 (A')	教授	准教授	講師	助教	計 (B)	助手 (B')
55	69	3	16	143	0	67	60	3	17	147	0
(56)	(69)	(3)	(17)	(145)	(0)						
研究指導教員 数	研究指導補助 教員数	講義のみ担当 の教員数	/			研究指導教員 数	研究指導補助 教員数	講義のみ担当 の教員数	/		
72	44	27				97	27	23			
(73)	(43)	(29)	/			/					
現在（報告時）の完成年度時の状況						現在（報告時）の完成年度時の計画					
教授	准教授	講師	助教	計 (C)	助手 (C')	教授	准教授	講師	助教	計 (D)	助手 (D')
67	60	3	17	147	0	67	60	3	17	147	0
[12]	[Δ9]	[0]	[1]	[4]	[0]	[12]	[Δ9]	[0]	[1]	[4]	[0]
研究指導教員 数	研究指導補助 教員数	講義のみ担当 の教員数	/			研究指導教員 数	研究指導補助 教員数	講義のみ担当 の教員数	/		
97	27	23				97	27	23			
[25]	[Δ17]	[Δ4]	/			/					

(注) ・ 「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、() 内に開設時の状況を記入してください。
 ・ 「現在（報告時）の状況」には、報告年度の5月1日の教員数（実人数）を記入してください。
 ・ 「現在（報告時）の完成年度時の状況」には、認可で設置された学部等の場合は、「現在（報告時）の状況」に記入した数字に、教員審査を受審済みであり、完成年度までに就任する教員数を加えた数を、届出で設置された学部等の場合は、「現在（報告時）の状況」に記入した数字に、完成年度までに就任することが決定している教員数を加えた数を記入するとともに、[] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：Δ1）
 ・ 「現在（報告時）の完成年度時の計画」には、予定されている完成年度時の人数を記入するとともに、[] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：Δ1）
 ・ 専門職大学院の場合は、「研究指導教員」を「研究者教員」と、「研究指導補助教員」を「実務家教員」と修正して記入してください。

(2) - ③ 年齢構成

年齢構成		
定年規定の定める 定年年齢（歳）	報告時（上記 (B)）の教員の うち、定年を延長 して採用している 教員数	完成年度時（上記 (C)）の教員 うち、定年を延長し て採用する教員数
65	0	0
歳	名	名

(注) ・ 「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢（特例等による定年年齢ではありません）、及び、報告年度の5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数及び完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数を記入してください。
 ・ なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二重書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。

(2) - ④ 設置時の計画に対する教員充足率

$$\frac{\text{現在（報告時）の完成年度時の状況(C)}}{\text{設置時の計画(A)}} = \frac{147}{143} = \boxed{102.79} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2) - ⑤ 現在（報告時）の状況における定年を延長している教員構成率

$$\frac{\text{報告時の教員のうち、定年を延長して採用している教員数}}{\text{現在（報告時）の状況(B)}} = \frac{0}{147} = \boxed{0} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2) - ⑥ 設置時の計画に対する助手充足率

$$\frac{\text{現在（報告時）の完成年度時の状況(C')}}{\text{設置時の計画(A')}} = \frac{0}{0} = \boxed{\#DIV/0!} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) 専任教員辞任等の理由

(3) - ① 専任教員の就任辞退（未就任）の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	就任辞退（未就任）の理由			
		掲載省略								
合計（D）					後任補充状況の集計（E）					
就任を辞退した教員数		担当科目数の合計（a）+（b）+（c）			①の合計数（a）	②の合計数（b）	③の合計数（c）			
1	人	必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	20	科目	選択	20	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	20	科目	計	20	科目	計	0	科目

- (注) ・ 認可時又は届出時以降、就任を辞退した全ての専任教員の就任辞退の理由を具体的に記入してください。
- ・ 「就任辞退（未就任）」とは、認可又は届出時に就任予定としながら、実際には就任しなかった教員のことで、就任した後に辞任した教員は、以下「(3) - ②専任教員辞任の理由及び後任補充状況」に記入してください。
 - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに就任を辞退した場合、赤字にて記入するとともに、「就任辞退（未就任）の理由」に就任辞退の理由等及び（ ）書きで報告年度を記入してください。
 - ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」
- ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
- ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) - ② 専任教員辞任の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由			
		掲載省略								
合計（F）					後任補充状況の集計（G）					
辞任した教員数		担当科目数の合計（a）+（b）+（c）			①の合計数（a）	②の合計数（b）	③の合計数（c）			
5	人	必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	56	科目	選択	52	科目	選択	4	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	56	科目	計	52	科目	計	4	科目

- (注) ・ 一度就任した後に、定年による退職以外の理由で辞任した全ての専任教員についてに記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等及び（ ）書きで報告年度を記入してください。
 - ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」
- ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
- ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) - ③ 上記(3) - ① ・ (3) - ② の合計

合計 (D) + (F)			後任補充状況の集計 (E) + (G)					
辞任等した教員数	担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		①の合計数 (a)		②の合計数 (b)		③の合計数 (c)	
6 人	必修	0 科目	必修	0 科目	必修	0 科目	必修	0 科目
	選択	76 科目	選択	72 科目	選択	4 科目	選択	0 科目
	自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目
	計	76 科目	計	72 科目	計	4 科目	計	0 科目

(3) - ④ 設置時の計画に対する教員辞任率

$$\frac{(3) - ③ \text{合計}(D) + (F)}{(2) - ② \text{設置時の計画}(A)} = \frac{6}{143} = \boxed{4.19} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) - ⑤ 令和3年度報告書から、新たに辞任等した専任教員等の状況

人

(注) ・ (3) - ①、(3) - ②で赤字で記載した専任教員数の合計数を記載してください。

(3) - ⑥ 定年により退職した専任教員に対する後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由			
		該当無し							
合計			後任補充状況の集計						
辞任した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		①の合計数 (a)		②の合計数 (b)		③の合計数 (c)	
0 人	必修	0 科目	必修	0 科目	必修	0 科目	必修	0 科目	
	選択	0 科目	選択	0 科目	選択	0 科目	選択	0 科目	
	自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目	
	計	0 科目	計	0 科目	計	0 科目	計	0 科目	

- (注) ・ **定年により退職した全ての専任教員**について記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、**赤字**にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等及び()書きで報告年度を記入してください。
 - ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

<ul style="list-style-type: none"> ・ 専任教員が担当する(している)場合は「①」 ・ 兼任兼担教員が担当する(している)場合は「②」 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

(R2) 1名が就任辞退となったが、新規教員として准教授2名、助教1名を配置して教育体制を充実させるとともに、未就任教員の担当予定科目はすべて専任教員が担当しており、学生の履修等への影響はない。学生には開設授業科目一覧及びガイダンス等により変更内容を周知している。

(R3) 1名が辞任となったが、新規教員として准教授1名、助教5名を配置して教育体制を充実させるとともに、辞任した教員の担当科目はすべて専任教員が担当しており、学生の履修等への影響はない。学生には開設授業科目一覧及びガイダンス等により変更内容を周知している。

(R4) 4名が辞任となったが、新規教員として准教授1名を配置するとともに、辞任した教員の担当科目44科目のうち40科目は専任教員が担当、4科目は本人が講師(兼任)として担当しているため、学生の履修等への影響はない。学生には開設授業科目一覧及びガイダンス等により変更内容を周知している。

(注) ・ 上記(3)の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能な限り具体的に記入してください。

6 附帯事項等に対する履行状況等

区 分	附 帯 事 項 等	履 行 状 況	今後の の実施計画
事前伺い時 (令和元年)	該当無し		
設置計画履行状況 調査結果 (令和2年)	該当無し		
設置計画履行状況 調査結果 (令和3年)	該当無し		

- (注) ・ 「認可時」には、認可時または届出時に付された附帯事項（学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る附帯事項を除く。）と、それに対する履行状況等について、具体的に記入してください。
- ・ 「設置計画履行状況調査結果」には、当該年度の調査の結果、**当該大学に付された指摘を**全て記入するとともに、付された指摘に対する履行状況等について、具体的に記入してください。その履行状況等の参考となる資料があれば、添付してください。
 - ・ 「履行状況」では、履行中であれば「履行中」、履行が完了していれば「履行済」を選択してください。
 - ・ 該当がない場合には、「附帯事項等」の部分に「該当なし」と記入してください。
 - ・ 「設置計画履行状況調査結果」には、当該調査の実施年度の年を記入してください。

7 その他全般的事項

<人文社会ビジネス科学学術院 人文社会科学研究群（博士後期課程）>

(1) 設置計画変更事項等

設置時の計画	変更内容・状況、今後の見通しなど
	該当無し

(注) ・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの（未実施を含む。）及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。

(2) 教員の資質の維持向上の方策（FD・SD活動含む）

<p>① 実施体制（※Pはプログラムの略）</p> <p>a 委員会の設置状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全学的な教員の資質の維持向上のため、全学組織である教学マネジメント室に教育力向上部門を設置するとともに「筑波大学ファカルティ・ディベロップメント活動の実施に関する要項」を制定し、全学的なFD活動の推進を行っている。（別紙1,2を参照） ・部局FDについては、人文社会科学研究群評価委員会を設置しているほか（別紙4を参照）、学位P・サブP毎に、教育会議等で取り組んでいる。特に6つのサブPを擁する人文学学位Pでは、学位P運営委員会を適宜開催し、サブP間の調整、情報共有を行っている。 <p>b 委員会の開催状況（教員の参加状況含む）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教学マネジメント室運営会議：月1回 ・人文社会科学研究群評価委員会 年数回（研究群長を委員長、各学位Pリーダー、FD担当教員等を委員として構成） <ul style="list-style-type: none"> ・各学位/サブP：学位/サブP教育会議 月1回（各学位/サブP構成員の教員が参加） ・各学位/サブP：学位/サブP学生懇談会 年数回（各学位/サブP担当教員と学生が参加） <p>c 委員会の審議事項等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教学マネジメント室教育力向上部門：全学的なファカルティ・ディベロップメントの企画及び実施並びに部局におけるファカルティ・ディベロップメント活動の支援 ・人文社会科学研究群評価委員会：組織評価並びにモニタリング及びプログラムレビューへの対応、授業評価アンケート及び教育・研究支援体制評価アンケートにかかる設問の検討、授業評価アンケート結果の分析及び検討 等 <p>② 実施状況</p> <p>a 実施内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教学マネジメント室教育力向上部門：全学FD研修会の企画及び運営 ・人文社会科学研究群：新任教員研修会、各プログラム毎の学生懇談会 <p>b 実施方法</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教学マネジメント室教育力向上部門：全学FD研修会の開催 ・人文社会科学研究群：新任教員のための研修会、各プログラム毎の学生懇談会を年に数回開催 <p>c 開催状況（教員の参加状況含む）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全学FD研修会：全学的に実施している学位プログラムのモニタリング及びプログラムレビューの結果等も踏まえて全学FD研修会を企画・実施している。令和3年度は全18回の全学FD研修会を実施した。 ・各プログラム毎の学生懇談会：各プログラムの担当教員及び学生が参加 ・新任教員のための研修会：新任教員に対して研究群長が説明 <p>d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実施結果は研究群全体にフィードバックされ、詳細な検討に基づき、改善方針の策定が図られている。

③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況

a 実施の有無及び実施時期

- ・（全学共通）授業評価アンケート（年2回／春学期・秋学期）（ただし研究群独自項目を含む）
- ・（人文社会科学研究群）研究・教育支援体制評価アンケート（年1回／秋）

b 教員や学生への公開状況、方法等

- ・授業評価アンケートの集計結果は、改組前より開設組織別の集計結果を大学ホームページで公表しているほか、個別の授業の集計結果と自由記述の内容は授業担当教員にフィードバックされ、授業及び学生への研究支援の改善・更なる質的向上及び保証に役立てられており、本研究群でもこれを継続して行っている。
- 同時に研究群評価委員会、研究群運営委員会及び各プログラムの教育会議等で結果の詳細な検討を行い、より効果的なFD活動の体系化と拡充を図っている。

（注）・「①a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。

「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。（記入例参照）

（3）教育課程連携協議会に関する事項

※専門職大学、専門職短期大学、専門職大学院以外は「該当なし」と記入ください。

該当なし

（4）自己点検・評価等に関する事項

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

設置の趣旨に沿い、令和2年4月に人文社会科学研究群（博士後期課程）を設置し、必要な教員配置及び授業科目開設等を行い、令和2年度は27名、令和3年度は28名及び令和4年度は49名（春季入学のみの実績）の入学者を迎えることができた。

設置申請時に作成した「設置の趣旨等を記載した書類」は全学的に配付・周知されており、また、当該書類に記載した改革の要点をまとめた大学院改革パンフレットも制作・公表している。さらに、人文社会科学研究群においては、研究群と各プログラムの概要・特色をまとめた研究群ウェブサイトと併せて、各教育組織毎のウェブサイトにて随時、研究群及びプログラムの動向についての発信を行い、広く本研究群と各プログラムの周知に努めている。

また、年1回研究群全体の入試説明会を行っているほか、各プログラムにおいても独自に年1回ペースで入試説明会を開催している。その他、研究群公開講座として、各プログラムの特色を活かした講座を設け、一般公開し好評を博すなど、研究群全体の広報として効果をあげている。

令和2年度からは、教学マネジメントの確立のため、学位プログラムごとに入口から出口にわたる教育の実施状況と改善の取組に関する点検・評価を行うモニタリング及びプログラムレビューを全学的に開始した（大学院については令和2年度に試行、令和3年度から正式導入となった）。

今後も、本学大学院の新たな教育システムの下、本研究群が担うべき重要な使命を果たし、本研究群のめざす、人や社会の営み、人と社会の関係の考察・分析に係わる人文社会科学の基礎研究において優れた能力を有し、学問の進展や社会要請の変化に応じて人類の知の継承に貢献し得る人材、またグローバル化の進展に伴う地球規模の課題や社会的課題に果敢に挑戦し、人間の存在や人と社会との関係の望ましいあり方を構想しうる独創性と柔軟性をあわせもつ研究者・教育者、および高い専門性と実務能力を有する職業人を養成するという目的を実現し、設置の趣旨に違わぬ効果をあげるため、引き続きより一層の努力を重ねていきたい。

② 自己点検・評価報告書

a 公表（予定）時期

- ・令和4年度中 筑波大学年次報告書の公表
- ※前年度の各教育組織の状況を評価した結果を基に作成するため、令和3年度から公表開始

b 公表方法

- ・筑波大学年次報告書は、大学ウェブサイトにおいて毎年公表している。

③ 認証評価を受ける計画

- ・平成29年度に大学改革支援・学位授与機構による機関別認証評価を受け、「大学設置基準をはじめ関係法令に適合し、大学改革支援・学位授与機構が定める大学評価基準を満たしている」との結果を得た。
- ・次回は令和6年度までに受審する予定である。

(注) ・ 設置時の計画の変更(又は未実施)の有無に関わらず記入してください。

また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。

なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

(5) 情報公表に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書(令和4年度)

a 公表予定の有無 [有 ・ 無]

《 a で「有」の場合 》

b 公表(予定)時期 [調査結果公表後1ヶ月以内]

c 公表方法 [ウェブサイトへの掲載]

《 a で公表「無」の場合 》

d 公表しない理由 []

※設置計画が各大学等が社会に対して着実に実現していく構想を表したものであることに鑑み、設置計画履行状況報告書については、各大学等のウェブサイト公表するなど、積極的な情報提供をお願いします。

1 調査対象大学等の概要等

(1) 設置者

国立大学法人筑波大学

(2) 大学名

筑波大学大学院

(3) 調査対象大学等の位置

〒112-0012
東京都文京区大塚3丁目29-1
(〒305-8577
茨城県つくば市天王台一丁目1番1)

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を()書きで記入してください。
・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

(4) 管理運営組織

職名	設置時	変更状況	備考
学長	(ナガタ キョウスケ) 永田 恭介 (平成25年4月)		
学術院長	(ニシオ チヅル) 西尾 チヅル (令和2年4月)	(タケナカ ヨシヒコ) 竹中 佳彦 (令和4年4月)	任期満了のため変更、令和4年4月1日(4)
研究群長	(クラハシ セツヤ) 倉橋 節也 (令和2年4月)	(オオブチ マキコ) 大淵 真喜子 (令和4年4月)	任期満了のため変更、令和4年4月1日(4)

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を()書きで記入してください。

(例) 令和3年度に報告済の内容 → (3)

令和4年度に報告する内容 → (4)

- ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
- ・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
- ・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。

(5) 調査対象学部等の名称、定員、入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部・学科または研究科の専攻等、定員を定めている組織ごとに記入してください（入試区分ごとではありません）。
- ・ なお、課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は、法令上規定されている最小単位（大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」）のほか、それらのコースや専攻単位でも記載したものを、別ファイルにて提出してください（作成方法は、事務連絡「令和4年度の履行状況報告書の提出について（依頼）」を確認してください）。
- ・ 様式は、平成30年度開設の4年制の学科の完成年度を越えて報告する場合（令和4年度までの5年間）ですが、完成年度を越えている場合は別途ご連絡ください。
- ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
- ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。

(5) - ① 調査対象学部等の名称等

調査対象学部等の名称（学位）	学位又は学科の分野	設置時の計画				学生募集の停止について	備考
		修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員		
人文社会ビジネス科学学術院 ビジネス科学研究群(D) 博士（法学） 博士（経営学）	法学関係 経済学関係	3 年	21 人	- 人	63 人	新規入学者を募集 中	

- (注) ・ 定員を変更した場合は、「備考」に変更前の人数、変更年月及び報告年度を（ ）書きで記入してください。
- ・ 基礎となる学部等がある場合には、「備考」に基礎となる学部等の名称を記入してください。
- ・ 「学位又は学科の分野」には、「認可申請書」又は「設置届出書」の「教育課程等の概要（別記様式第2号（その2の1））」の「学位又は学科の分野」と同様に記入してください。
- ・ 学生募集停止を予定している場合は、「学生募集の停止について」で「新規入学者を募集停止予定」を選択するとともに、「備考」に「令和〇年度から学生募集停止（予定）」と記載してください。

(5) - ② 調査対象学部等の入学者の状況

区分	平成30年度		令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		平均入学定員超過率	開設年度から報告年度までの平均入学定員超過率	備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期			
A 入学定員					21 (-) [-]	人	21 (-) [-]	人	21 (-) [-]	人	0.94倍	-倍	
志願者数					46 (-) [-]	- (-) [-]	45 (-) [-]	- (-) [-]	46 (-) [-]				
受験者数					44 (-) [-]	- (-) [-]	41 (-) [-]	- (-) [-]	46 (-) [-]				
合格者数					23 (-) [-]	- (-) [-]	19 (-) [-]	- (-) [-]	22 (-) [-]				
B 入学者数					22 (-) [-]	- (-) [-]	17 (-) [-]	- (-) [-]	21 (-) [-]				
入学定員超過率 B/A					1.04		0.80		1.00				

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。（過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。）
- ・ （ ）内には、編入学の状況について外数で記入してください。なお、編入学を複数年度で行っている場合には、（（ ）書きとするなどし、その旨を「備考」に付記してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
- ・ 転入学生は記入しないでください。
- ・ []内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
- ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
- ・ 「入学定員超過率」については、各年度の春季入学とその他の学期を合計した入学定員、入学者数で算出してください。なお、計算の際は小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。
- ・ 「平均入学定員超過率」には、開設年度から報告年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。計算の際は「入学定員超過率」と同様にしてください。なお、完成年度を越えて報告書を提出する大学等は、報告年度（令和4年度）から起算した修業年限に相当する期間の入学定員超過率の平均を記載してください。
- ・ 「開設年度から報告年度までの平均入学定員超過率」は、完成年度を越えて報告書を提出する大学等のみ記入してください。完成年度を越えていない場合は「-」を記入してください。

(5) - ③ 調査対象学部等の在学者の状況

対象年度 学 年	平成30年度		令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1年次					22 [-] (-)	- [-] (-)	17 [-] (-)	- [-] (-)	21 [-] (-)	- [-] (-)	
2年次							19 [-] (-)	- [-] (-)	17 [-] (-)	- [-] (-)	
3年次									19 [-] (-)	- [-] (-)	
4年次											
計	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	22 [-] (-)	[] ()	36 [-] (-)	[] ()	57 [-] (-)	[] ()	

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ []内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
 - ・ ()内には、留年者の状況について、内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 - ・ 編入学生や転入学生も含めて記入してください。その際、備考欄に人数の内訳を記入してください。
 - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 - ・ 「計」については、各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数を記入してください。

(5) - ④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	在学者数(b)	退学者数(a)	内訳			主な退学理由 (留学生の理由は[]書き)
			入学した年度	退学者数		
				うち留学生数		
平成30年度	- 人	- 人	平成30年度	- 人	- 人	
令和元年度	- 人	- 人	平成30年度	- 人	- 人	
			令和元年度	- 人	- 人	
令和2年度	22 人	0 人	平成30年度	- 人	- 人	
			令和元年度	- 人	- 人	
			令和2年度	0 人	0 人	
令和3年度	37 人	1 人	平成30年度	- 人	- 人	
			令和元年度	- 人	- 人	
			令和2年度	1 人	0 人	その他(1人)
			令和3年度	0 人	0 人	
令和4年度	57 人	0 人	平成30年度	- 人	- 人	
			令和元年度	- 人	- 人	
			令和2年度	0 人	0 人	
			令和3年度	0 人	0 人	
			令和4年度	0 人	0 人	
合 計		1 人		1 人	0 人	

- (注)・数字は、報告年度の5月1日現在の数字を記入してください。
- 各対象年度の在学者数については、対象年度の人数を記入してください。(在学者数から退学者数を減らす必要はありません。)
 - 内訳については、退学した学生が入学した年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
 - 在学者数、退学者数には編入学生や転入学生も含めて記入してください。
 - 「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(〇人)」というように、その人数も含めて記入してください。
 (記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学
 ・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

(5) - ⑤ 調査対象学部等の年度ごとの退学者の割合

【平成30年度】

$$\frac{\text{平成30年度の退学者数(a)}}{\text{平成30年度の在学者数(b)}} = \frac{-}{-} = \boxed{\#VALUE!} \%$$

【令和元年度】

$$\frac{\text{令和元年度の退学者数(a)}}{\text{令和元年度の在学者数(b)}} = \frac{-}{-} = \boxed{\#VALUE!} \%$$

【令和2年度】

$$\frac{\text{令和2年度の退学者数(a)}}{\text{令和2年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{22} = \boxed{0} \%$$

【令和3年度】

$$\frac{\text{令和3年度の退学者数(a)}}{\text{令和3年度の在学者数(b)}} = \frac{1}{37} = \boxed{2.7} \%$$

【令和4年度】

$$\frac{\text{令和4年度の退学者数(a)}}{\text{令和4年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{57} = \boxed{0} \%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

2 授業科目の概要

<人文社会ビジネス科学学術院 ビジネス科学研究群 博士後期課程>

(1) -① 授業科目表

【設置時又は届出時】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
大学院共通科目	目生命・環境・研究倫理科	応用倫理	1-2-3後	1							2
		環境倫理学概論	1-2-3後	1							2
		研究倫理	1-2-3前	1							2
		生命倫理学	1-2-3前	1							10
		企業と技術者の倫理	1-2-3前	1							2
	情報伝達力・コミュニケーション力養成科目群	テクニカルコミュニケーション	1-2-3前	1							1
		英語発表	1-2-3前	1							1
		異分野コミュニケーションのためのプレゼンテーションバトル	1-2-3通	2							2
		Global Communication Skills Training	1-2-3前	1							1
		サイエンスコミュニケーション概論	1-2-3前	1							1
	国際性養成科目群	サイエンスコミュニケーション特論	1-2-3後	1							1
		サイエンスコミュニケータ養成実践講座	1-2-3休	2							1
		人文知コミュニケーション:人文社会科学と自然科学の壁を超える	1-2-3後	1							3
		21世紀的中国—現代中国の多相—	1-2-3後	1							1
		国際研究プロジェクト	1-2-3通	1							1
国際性養成科目群	国際インターンシップ	1-2-3通	1							1	
	地球規模課題と国際社会:食料問題	1-2-3後	1							1	
	地球規模課題と国際社会:海洋環境変動と生命	1-2-3後	1							2	
	地球規模課題と国際社会:社会脳	1-2-3休	1							1	
	地球規模課題と国際社会:感染症・保健医療問題	1-2-3後	1							3	
	地球規模課題と国際社会:社会問題	1-2-3後	1							1	
	地球規模課題と国際社会:環境汚染と健康影響	1-2-3後	1							1	
	地球規模課題と国際社会:環境・エネルギー	1-2-3休	1							1	

【令和4年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
大学院共通科目	目生命・環境・研究倫理科	応用倫理	1-2-3後	1							2
		環境倫理学概論	1-2-3後	1							2
		研究倫理	1-2-3前	1							2
		生命倫理学	1-2-3前	1							9
		企業と技術者の倫理	1-2-3前	1							1
	情報伝達力・コミュニケーション力養成科目群	テクニカルコミュニケーション	1-2-3前	1							1
		Presentations for General Audiences	1-2-3前	1							1
		異分野コミュニケーションのためのプレゼンテーションバトル	1-2-3通	2							3
		Global Communication Skills Training	1-2-3前	1							3
		サイエンスコミュニケーション概論	1-2-3前	1							1
	国際性養成科目群	サイエンスコミュニケーション特論	1-2-3後	1							1
		サイエンスコミュニケータ養成実践講座	1-2-3休	2							1
		人文知コミュニケーション:人文社会科学と自然科学の壁を超える	1-2-3後	1							4
		総合資料学:歴史文化の高度化研究とその伝達方法	1-2-3後	2							3
		21世紀的中国—現代中国の多相—	1-2-3後	1							9
国際性養成科目群	国際研究プロジェクト	1-2-3通	1							1	
	国際インターンシップ	1-2-3通	1							1	
	地球規模課題と国際社会:食料問題	1-2-3後	1							4	
	地球規模課題と国際社会:海洋環境変動と生命	1-2-3後	1							2	
	地球規模課題と国際社会:社会脳	1-2-3休	1							4	
	地球規模課題と国際社会:感染症・保健医療問題	1-2-3後	1							2	
	地球規模課題と国際社会:社会問題	1-2-3休	1							1	
	地球規模課題と国際社会:環境汚染と健康影響	1-2-3後	1							2	
	地球規模課題と国際社会:環境・エネルギー	1-2-3前	1							8	

キャリアアマネジメント科目群	JAPICアドバンス ディスカッションコースI- 流動化する世界と これからの日本	1-2- 3後	1																	1	
	JAPICアドバンス ディスカッションコースII- テクノロジーとグローバ ルで拓く未来	1-2- 3前	1																	1	
	ダイバーシティと SOGI/LGBT+	1-2- 3休	1																	1	
	ワークライフミックス - モータースに学ぶハラ ダイムシフト	1-2- 3前	1																	1	
	魅力ある理科教 員になるための生 物・地学実験	1-2- 3休	1																	9	
	アクセシビリティリーダ ー特論	1-2- 3前	1																	8	
脳の多様性とセルフ マネジメント	1-2- 3休	1																	1		
知的 基盤 形成 科目 群	生物多様性と地球 環境	1-2- 3前	1																	4	
	内部共生と生物進 化	1-2- 3前	1																	1	
	海洋生物の世界と 海洋環境講座	1-2- 3休	1																	2	
	科学的発見と創造 性	1-2- 3前	1																	1	
	自然災害にどう向 き合うか	1-2- 3前	1																	1	
	「考える」動物とし ての人間-東西哲 学からの考察	1-2- 3休	1																	5	
	21世紀と宗教	1-2- 3前	1																	2	
身 心 基 盤 形 成 科 目 群	塑造実習	1-2- 3後	1																	2	
	コミュニケーションア ート& デザインA	1-2- 3前	1																	8	
	コミュニケーションア ート& デザインB	1-2- 3後	1																	7	
	日本画実習	1-2- 3前	1																	2	
	ヨーカコース	1-2- 3前	1																	1	
	絵画実習A	1-2- 3前	1																	1	
	現代アート入門	1-2- 3前	1																	1	
	大学院体育Ia	1-2- 3通	1																	4	
	大学院体育Ib	1-2- 3前	1																	3	
	大学院体育Ic	1-2- 3後	1																	3	
	大学院体育IIa	1-2- 3通	1																	4	
	大学院体育IIb	1-2- 3前	1																	3	
	大学院体育IIc	1-2- 3後	1																	3	
	大学院体育IIIa	1-2- 3通	1																	4	
	大学院体育IIIb	1-2- 3前	1																	3	
	大学院体育IIIc	1-2- 3後	1																	3	
大学院体育IVa	1-2- 3通	1																	4		
キャリアアマネジメント 科目群	JAPICアドバンス ディスカッションコースI- 多極化する世界と これからの日本	1-2- 3後	1																	2	
	JAPICアドバンス ディスカッションコースII- 次世代モビリティの マーケットデザインと計 算科学	1-2- 3前	1																	2	
	ダイバーシティと SOGI/LGBT+	1-2- 3休	1																	2	
	ワークライフミックス - モータースに学ぶハラ ダイムシフト	1-2- 3前	1																	2	
	魅力ある理科教 員になるための生 物・地学実験	1-2- 3休	1																	9	
	アクセシビリティリーダ ー特論	1-2- 3前	1																	8	
	脳の多様性とセルフ マネジメント	1-2- 3休	1																	3	
	筑波クリエイティブ・ キャン・アドバンス 博士のキャリアパス	1- 2-3 後 1- 2-3 前	1																	4	
				1																	2
	知的 基盤 形成 科目 群	生物多様性と地球 環境	1-2- 3前	1																	4
内部共生と生物進 化		1-2- 3前	1																	1	
海洋生物の世界と 海洋環境講座		1-2- 3休	1																	2	
科学的発見と創造 性		1-2- 3前	1																	3	
自然災害にどう向 き合うか		1-2- 3前	1																	1	
「考える」動物とし ての人間-東西哲 学からの考察		1-2- 3休	1																	7	
21世紀と宗教		1-2- 3前	1																	4	
UT-Top Academist's Lecture	1- 2-3 後	1																	3		
身 心 基 盤 形 成 科 目 群	塑造実習	1-2- 3後	1																	2	
	コミュニケーションア ート& デザインA	1-2- 3前	1																	8	
	コミュニケーションア ート& デザインB	1-2- 3後	1																	8	
	日本画実習	1-2- 3前	1																	2	
	ヨーカコース	1-2- 3前	1																	3	
	絵画実習A	1-2- 3前	1																	1	
	現代アート入門	1-2- 3前	1																	1	
	書実習基礎	1- 2-3 前 1- 2-3 前	1																	2	
	大学院体育Ia	1-2- 3通	1																	4	
	大学院体育Ib	1-2- 3前	1																	3	
	大学院体育Ic	1-2- 3後	1																	3	
	大学院体育IIa	1-2- 3通	1																	4	
	大学院体育IIb	1-2- 3前	1																	3	
	大学院体育IIc	1-2- 3後	1																	3	
	大学院体育IIIa	1-2- 3通	1																	4	
	大学院体育IIIb	1-2- 3前	1																	3	
大学院体育IIIc	1-2- 3後	1																	3		
大学院体育IVa	1-2- 3通	1																	4		

	大学院体育IVb	1-2-3前	1																	3	
	大学院体育IVc	1-2-3後	1																	3	
	大学院体育Va	1-2-3通	1																	4	
	大学院体育Vb	1-2-3前	1																	3	
	大学院体育Vc	1-2-3後	1																	3	
	小計(59科目)		0	61	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	95	
研究群 共通科目	ビジネスマネジメント特別演習I-I	1前	2		11	6														1	
	マーケティング・サイエンス特論	1-2-3前	1		1																
	経営戦略総論	1-2-3後	1		1																
	財務会計特論	1-2-3後	1			1															
	知能情報システム	1-2-3後	1		1																
	小計(5科目)		0	6	0	11	6	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	
法学 関連科目	共通 専門科目	企業法特別研究I	1通	1		9	3														
		企業法特別研究II	1通	1		9	3														
		企業法特別研究III	1通	1		9	3														
		企業法特別研究IV	2通	1		9	3														
		企業法特別研究V	2通	1		9	3														
		企業法特別研究VI	2通	1		9	3														
		企業法特別研究VII	3通	1		9	3														
		企業法特別研究VIII	3通	1		9	3														
		企業法特別研究IX	3通	1		9	3														
	小計(9科目)		0	9	0	9	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
専門 科目	企業 のグ ロー バル 化分 野	外国会社法	1-2-3後	1		1															
		国際租税計画I	1-2-3後	1		1															
		国際取引と国際私法	1-2-3前	1			1														
		米国民事訴訟法	1-2-3前	1		1															
		ドイツ民事訴訟法	1-2-3前	1		1															
		外国資本市場法	1-2-3後	1		1															
		国際租税計画II	1-2-3後	1		1															
		アメリカ会社法	1-2-3通	1			1														
		アメリカ証券取引法	1-2-3通	1			1														

	大学院体育IVb	1-2-3前	1																	3	
	大学院体育IVc	1-2-3後	1																	3	
	大学院体育Va	1-2-3通	1																	4	
	大学院体育Vb	1-2-3前	1																	3	
	大学院体育Vc	1-2-3後	1																	3	
	小計(64科目)		0	67	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	134	
研究群 共通科目	ビジネスマネジメント特別演習I-I	1前	2		10	7														0	
	マーケティング・サイエンス特論	1-2-3前	1		1																
	経営戦略総論	1-2-3後	1		1																
	財務会計特論	1-2-3後	1			1															
	知能情報システム	1-2-3後	1		1																
	小計(5科目)		0	6	0	10	7	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
法学 関連科目	共通 専門科目	企業法特別研究I	1通	1		7	3														
		企業法特別研究II	1通	1		7	3														
		企業法特別研究III	1通	1		7	3														
		企業法特別研究IV	2通	1		7	3														
		企業法特別研究V	2通	1		7	3														
		企業法特別研究VI	2通	1		7	3														
		企業法特別研究VII	3通	1		7	3														
		企業法特別研究VIII	3通	1		7	3														
		企業法特別研究IX	3通	1		7	3														
	企業法特殊研究I	1-2-3前	1																	1	
小計(10科目)		0	10	0	7	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1		
専門 科目	企業 のグ ロー バル 化分 野	行政法	1-2-3休	1																	
		現代家族法	1-2-3後	1																	1
		現代憲法	1-2-3後	1																	1
		外国会社法	1-2-3後	1		1															1
		国際租税計画I	1-2-3後	1		1															
		国際取引と国際私法	1-2-3前	1			1														
		米国民事訴訟法	1-2-3前	1		1															
		ドイツ民事訴訟法	1-2-3前	1		1															
		外国資本市場法	1-2-3後	1		1															
		国際租税計画II	1-2-3後	1		1															
アメリカ会社法	1-2-3通	1			1																
アメリカ証券取引法	1-2-3通	1			1																
イギリス法	1-2-3後	1																			
ドイツ会社法	1-2-3休	1																			
国際消費者法	1-2-3後	1																			
外国証券法特殊講義I	1-2-3前	1																			
宇宙法	1-2-3休	1																			

企業組織と金融分野	現代株式会社法	1-2-3後		1		1															
	比較金融法	1-2-3前		1		1															
	現代契約法	1-2-3前		1			1														
	国際会社法	1-2-3後		1		1															
	現代民事金融法	1-2-3前		1		1															
	情報テクノロジーと企業分野	知的財産法による情報保護	1-2-3後		1		1														
		企業ノウハウと従業員	1-2-3前		1		2														
		電子社会と法	1-2-3後		1		1														
		現代知的財産法	1-2-3後		1		1														
		欧米知的財産法	1-2-3前		1		1														
		アメリカ知的財産法	1-2-3後		1		1														
		比較知的財産法	1-2-3前		1		1														
		知的財産法の現代的課題	1-2-3後		1		1														
外国知的財産法	1-2-3前		1		1																
分野・社会・経済法	比較労働法の基礎I	1-2-3通		1		1															
	現代社会保障法	1-2-3通		1			1														
	比較労働法の基礎II	1-2-3通		1		1															
小計(26科目)			0	26	0	9	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
経営学関連科目	ビジネスマネジメント特別演習I-I	1前		2		11	6														
	ビジネスマネジメント特別演習I-II	1前		1		11	6														
	ビジネスマネジメント特別演習II-I	1後		1		11	6														
	ビジネスマネジメント特別演習II-II	1後		1		11	6														
	ビジネスマネジメント特別演習II-III	1後		1		11	6														
	ビジネスマネジメント講究I-I	1-2-3前		1		11	6														
	ビジネスマネジメント講究I-II	1-2-3前		1		11	6														
	ビジネスマネジメント講究I-III	1-2-3前		1		11	6														
	ビジネスマネジメント講究II-I	1-2-3後		1		11	6														
	ビジネスマネジメント講究II-II	1-2-3後		1		11	6														
	ビジネスマネジメント講究II-III	1-2-3後		1		11	6														
	小計(11科目)			0	12	0	11	6	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	マーケティングコミュニケーション	1-2-3後		1		1															
消費者マーケティング	1-2-3後		1		1																
マーケティング・サイエンス特論	1-2-3前		1		1																
経営戦略総論	1-2-3後		1		1																
経営戦略特論	1-2-3後		1		1																
イノベーション・マネジメント	1-2-3後		1		1															1	
人材開発論	1-2-3後		1		1																
組織行動論	1-2-3後		1		1																
実証会計論	1-2-3後		1			1															
財務会計特論	1-2-3後		1			1															
金融工学総論	1-2-3後		1		1																

企業組織と金融分野	現代株式会社法	1-2-3後		1		0	1														
	比較金融法	1-2-3前		1		0	1														
	現代契約法	1-2-3前		1			1														
	国際会社法	1-2-3後		1		0	1														
	現代民事金融法	1-2-3前		1		1															
	情報テクノロジーと企業分野	知的財産法による情報保護	1-2-3後		1		1														
		企業ノウハウと従業員	1-2-3前		1		1														
		電子社会と法	1-2-3後		1		1														
		現代知的財産法	1-2-3後		1		1														
		欧米知的財産法	1-2-3前		1		1														
		アメリカ知的財産法	1-2-3後		1		1														
		比較知的財産法	1-2-3前		1		1														
		知的財産法の現代的課題	1-2-3後		1		1														
外国知的財産法	1-2-3前		1		1																
分野・社会・経済法	比較労働法の基礎I	1-2-3通		1		1															
	現代社会保障法	1-2-3通		1			1														
	比較労働法の基礎II	1-2-3通		1		1															
小計(35科目)			0	35	0	7	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	13	
経営学関連科目	ビジネスマネジメント特別演習I-I	1前		2		10	7														
	ビジネスマネジメント特別演習I-II	1前		1		10	7														
	ビジネスマネジメント特別演習II-I	1後		1		10	7														
	ビジネスマネジメント特別演習II-II	1後		1		10	7														
	ビジネスマネジメント特別演習II-III	1後		1		10	7														
	ビジネスマネジメント講究I-I	1-2-3前		1		10	7														
	ビジネスマネジメント講究I-II	1-2-3前		1		10	7														
	ビジネスマネジメント講究I-III	1-2-3前		1		10	7														
	ビジネスマネジメント講究II-I	1-2-3後		1		10	7														
	ビジネスマネジメント講究II-II	1-2-3後		1		10	7														
	ビジネスマネジメント講究II-III	1-2-3後		1		10	7														
	小計(11科目)			0	12	0	10	7	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	マーケティングコミュニケーション	1-2-3後		1		1															
消費者マーケティング	1-2-3後		1		1																
マーケティング・サイエンス特論	1-2-3前		1		1																
経営戦略総論	1-2-3後		1		1																
経営戦略特論	1-2-3後		1		1																
イノベーション・マネジメント	1-2-3後		1		1															1	
人材開発論	1-2-3後		1		0	1															
組織行動論	1-2-3後		1		0	1															
実証会計論	1-2-3後		1			1															
財務会計特論	1-2-3後		1			1															
金融工学総論	1-2-3後		1		1																

計量ファイナンス特論	1-2-3後	1	1																	
金融データ解析	1-2-3後	1	1																	
確率モデルと意思決定	1-2-3後	1	1																	
金融ビジネス総論	1-2-3後	1	1																	
計画数理総論	1-2-3前	1	1																	
トータルロジスティクス	1-2-3前	1	1																	
動的システム総論	1-2-3前	1	1																	
リスクマネジメント総論	1-2-3前	1	1																	
ソフトコンピューティング	1-2-3後	1	1																	
数量化手法特論	1-2-3後	1	1																	
経営科学総論	1-2-3後	1	1																	
共分散構造分析特論	1-2-3後	1	1																	
調査データ解析特論	1-2-3後	1	1																	
プロジェクト・マネジメント論	1-2-3前	1	1																	
システムデザイン論	1-2-3前	1	1																	
情報検索特論	1-2-3前	1	1																	
知的ドキュメント管理論	1-2-3前	1	1																	
情報システム特論	1-2-3前	1	1																	
ネットワーク特論	1-2-3後	1	1																	
情報マネジメント	1-2-3後	1	1																	
複雑システム論	1-2-3後	1	1																	
知能情報システム	1-2-3後	1	1																	
ビジネスマネジメント輪講I-I	1-2-3前	1	11	7																
ビジネスマネジメント輪講I-II	1-2-3前	1	11	7																
ビジネスマネジメント輪講I-III	1-2-3前	1	11	7																
ビジネスマネジメント輪講II-I	1-2-3後	1	11	7																
ビジネスマネジメント輪講II-II	1-2-3後	1	11	7																
ビジネスマネジメント輪講II-III	1-2-3後	1	11	7																
組織研究	1-2-3後	1	1																	
計量マーケティングモデル特論	1-2-3前	1	1																	
国際政治経済の概況と経営	1-2-3前	1	1																	
小計(42科目)		0	42	0	11	7	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計(152科目)		0	156	0	20	11	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	96

卒業要件及び履修方法

(修了要件)

3年以上在学し、学位プログラムごとに定める修了の要件として必要な授業科目の履修により所定の単位を修得し、かつ、必要な研究指導を受けた上、博士論文の審査及び最終試験に合格すること。ただし、在学期間に関しては、優れた研究業績を上げた者については1年(修士課程早期修了者等)にあっては当該課程における在学期間を含めて3年)以上在学すれば足りるものとする。

(履修方法)

■法学学位プログラム(D)

必修単位9単位(共通専門科目から企業法特別研究Ⅰ～Ⅸ)を含む20単位以上を修得すること。

■経営学学位プログラム(D)

次の履修方法により20単位以上を修得すること。

- (1) 選択必修科目のうち、ビジネスマネジメント特別演習を6単位含む。
- (2) ビジネスマネジメント講義を3単位含む(6単位を超える単位は修了要件に含めない)。
- (3) 輪講科目は3単位を超える単位は修了要件に含めない。

計量ファイナンス特論	1-2-3後	1	1																	
金融データ解析	1-2-3後	1	1																	
確率モデルと意思決定	1-2-3後	1	1																	
金融ビジネス総論	1-2-3後	1	1	1																1
計画数理総論	1-2-3前	1	1																	
トータルロジスティクス	1-2-3前	1	1																	
動的システム総論	1-2-3前	1	1																	
リスクマネジメント総論	1-2-3前	1	1																	
ソフトコンピューティング	1-2-3後	1	1																	
数量化手法特論	1-2-3後	1	1																	
経営科学総論	1-2-3後	1	1																	1
共分散構造分析特論	1-2-3後	1	1																	
調査データ解析特論	1-2-3後	1	1																	
プロジェクト・マネジメント論	1-2-3前	1	1																	
システムデザイン論	1-2-3前	1	1																	
情報検索特論	1-2-3前	1	1																	
知的ドキュメント管理論	1-2-3前	1	1																	
情報システム特論	1-2-3前	1	1																	5
ネットワーク特論	1-2-3後	1	1																	
情報マネジメント	1-2-3後	1	1																	
複雑システム論	1-2-3後	1	1																	
知能情報システム	1-2-3後	1	1																	
データマネジメント特論	1-2-3後	1	1																	
ビジネスマネジメント輪講I-I	1-2-3前	1	10	7																
ビジネスマネジメント輪講I-II	1-2-3前	1	10	7																
ビジネスマネジメント輪講I-III	1-2-3前	1	10	7																
ビジネスマネジメント輪講II-I	1-2-3後	1	10	7																
ビジネスマネジメント輪講II-II	1-2-3後	1	10	7																
ビジネスマネジメント輪講II-III	1-2-3後	1	10	7																
組織研究	1-2-3後	1	1																	
計量マーケティングモデル特論	1-2-3前	1	1																	
国際政治経済の概況と経営	1-2-3前	1	1																	
小計(43科目)		0	43	0	10	8	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	8
合計(168科目)		0	173	0	17	13	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	156

卒業要件及び履修方法

(修了要件)

3年以上在学し、学位プログラムごとに定める修了の要件として必要な授業科目の履修により所定の単位を修得し、かつ、必要な研究指導を受けた上、博士論文の審査及び最終試験に合格すること。ただし、在学期間に関しては、優れた研究業績を上げた者については1年(修士課程早期修了者等)にあっては当該課程における在学期間を含めて3年)以上在学すれば足りるものとする。

(履修方法)

■法学学位プログラム(D)

必修単位9単位(共通専門科目から企業法特別研究Ⅰ～Ⅸ)を含む20単位以上を修得すること。

■経営学学位プログラム(D)

次の履修方法により20単位以上を修得すること。

- (1) 選択必修科目のうち、ビジネスマネジメント特別演習を6単位含む。
- (2) ビジネスマネジメント講義を3単位含む(6単位を超える単位は修了要件に含めない)。
- (3) 輪講科目は3単位を超える単位は修了要件に含めない。

【令和2年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
大学院共通科目	生命・環境・研究倫理科目群	応用倫理	1-2-3後	1							2
		環境倫理学概論	1-2-3後	1							2
		研究倫理	1-2-3前	1							2
		生命倫理学	1-2-3前	1							10
		企業と技術者の倫理	1-2-3前	1							1
	情報伝達力・コミュニケーション力養成科目群	テクニカルコミュニケーション	1-2-3前	1							1
		英語発表	1-2-3前	1							1
		異分野コミュニケーションのためのプレゼンテーションバトル	1-2-3通	2							3
		Global Communication Skills Training	1-2-3前	1							2
		サイエンスコミュニケーション概論	1-2-3前	1							1
		サイエンスコミュニケーション特論	1-2-3後	1							1
		サイエンスコミュニケーター養成実践講座	1-2-3休	2							1
	人文知コミュニケーション:人文社会科学と自然科学の壁を超える	1-2-3後	1							6	
	国際性養成科目群	21世紀の中国—現代中国の多相—	1-2-3後	1							9
		国際研究プロジェクト	1-2-3通	1							1
		国際インターンシップ	1-2-3通	1							1
		地球規模課題と国際社会:食料問題	1-2-3後	1							1
		地球規模課題と国際社会:海洋環境変動と生命	1-2-3後	1							2
		地球規模課題と国際社会:社会脳	1-2-3休	1							3
		地球規模課題と国際社会:感染症・保健医療問題	1-2-3後	1							2
地球規模課題と国際社会:社会問題		1-2-3後	1							1	
地球規模課題と国際社会:環境汚染と健康影響		1-2-3後	1							2	
地球規模課題と国際社会:環境・エネルギー		1-2-3休	1							5	

【令和3年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
大学院共通科目	生命・環境・研究倫理科目群	応用倫理	1-2-3後	1							2
		環境倫理学概論	1-2-3後	1							2
		研究倫理	1-2-3前	1							2
		生命倫理学	1-2-3前	1							10
		企業と技術者の倫理	1-2-3前	1							1
	情報伝達力・コミュニケーション力養成科目群	テクニカルコミュニケーション	1-2-3前	1							1
		英語発表	1-2-3前	1							1
		異分野コミュニケーションのためのプレゼンテーションバトル	1-2-3通	2							3
		Global Communication Skills Training	1-2-3前	1							3
		サイエンスコミュニケーション概論	1-2-3前	1							1
		サイエンスコミュニケーション特論	1-2-3後	1							1
		サイエンスコミュニケーター養成実践講座	1-2-3休	2							1
	人文知コミュニケーション:人文社会科学と自然科学の壁を超える	1-2-3後	1							6	
	総合資料学:歴史文化の高度化研究とその伝達方法	1-2-3休	2							3	
	国際性養成科目群	21世紀の中国—現代中国の多相—	1-2-3後	1							9
		国際研究プロジェクト	1-2-3通	1							1
		国際インターンシップ	1-2-3通	1							1
		地球規模課題と国際社会:食料問題	1-2-3後	1							4
		地球規模課題と国際社会:海洋環境変動と生命	1-2-3後	1							2
		地球規模課題と国際社会:社会脳	1-2-3休	1							3
地球規模課題と国際社会:感染症・保健医療問題		1-2-3後	1							2	
地球規模課題と国際社会:社会問題		1-2-3休	1							1	
地球規模課題と国際社会:環境汚染と健康影響		1-2-3後	1							2	
地球規模課題と国際社会:環境・エネルギー		1-2-3前	1							8	

キャリア アマ マネジ メント 科目群	JAPICアドバンス ディスカッションコース- 流動化する世界と これからの日本	1-2- 3後	1																	1
	JAPICアドバンス ディスカッションコースIII- テクノロジーとグローバ ルで拓く未来	1-2- 3前	1																	1
	ダイバーシティと SOGI/LGBT+	1-2- 3休	1																	1
	ワークライフミックス- モータースに学ぶハラ ダイムシフト	1-2- 3前	1																	2
	魅力ある理科教 員になるための生 物・地学実験	1-2- 3休	1																	10
	アクセシビリティリーダ ー特論	1-2- 3前	1																	8
	脳の多様性とセルフ マネジメント	1-2- 3休	1																	2
筑波クリエイティブ・ キャン・アドバンス	1- 2-3 後	1																		4
博士のキャリアパス	1- 2-3 後	1																		4
知的 基盤 形成 科目群	生物多様性と地球 環境	1-2- 3前	1																	4
	内部共生と生物進 化	1-2- 3前	1																	1
	海洋生物の世界と 海洋環境講座	1-2- 3休	1																	2
	科学的発見と創造 性	1-2- 3前	1																	2
	自然災害にどう向 き合うか	1-2- 3前	1																	1
	「考える」動物とし ての人間-東西哲 学からの考察	1-2- 3休	1																	5
	21世紀と宗教	1-2- 3前	1																	4
UT-Top Academist's Lecture	1- 2-3 後	1																		3
身 心 基 盤 形 成 科 目 群	塑造実習	1-2- 3後	1																	2
	コミュニケーションアート& デザインA	1-2- 3前	1																	8
	コミュニケーションアート& デザインB	1-2- 3後	1																	7
	日本画実習	1-2- 3前	1																	2
	ヨガコース	1-2- 3前	1																	1
	絵画実習A	1-2- 3前	1																	1
	現代アート入門	1- 2-3 後	1																	1
	大学院体育Ia	1-2- 3通	1																	4
	大学院体育Ib	1-2- 3前	1																	3
	大学院体育Ic	1-2- 3後	1																	3
	大学院体育IIa	1-2- 3通	1																	4
	大学院体育IIb	1-2- 3前	1																	3
	大学院体育IIc	1-2- 3後	1																	3
大学院体育IIIa	1-2- 3通	1																	4	
大学院体育IIIb	1-2- 3前	1																	3	
大学院体育IIIc	1-2- 3後	1																	3	
キャリア アマ マネジ メント 科目群	JAPICアドバンス ディスカッションコース- 多極化する世界と これからの日本	1-2- 3後	1																	2
	JAPICアドバンス ディスカッションコースIII- テクノロジーとグローバ ルで拓く未来	1-2- 3前	1																	2
	ダイバーシティと SOGI/LGBT+	1-2- 3休	1																	2
	ワークライフミックス- モータースに学ぶハラ ダイムシフト	1-2- 3前	1																	2
	魅力ある理科教 員になるための生 物・地学実験	1-2- 3休	1																	9
	アクセシビリティリーダ ー特論	1-2- 3前	1																	9
	脳の多様性とセルフ マネジメント	1-2- 3休	1																	3
筑波クリエイティブ・ キャン・アドバンス	1- 2-3 後	1																	4	
博士のキャリアパス	1- 2-3 前	1																	2	
知的 基盤 形成 科目群	生物多様性と地球 環境	1-2- 3前	1																	4
	内部共生と生物進 化	1-2- 3前	1																	1
	海洋生物の世界と 海洋環境講座	1-2- 3休	1																	2
	科学的発見と創造 性	1-2- 3前	1																	3
	自然災害にどう向 き合うか	1-2- 3前	1																	1
	「考える」動物とし ての人間-東西哲 学からの考察	1-2- 3休	1																	7
	21世紀と宗教	1-2- 3前	1																	4
UT-Top Academist's Lecture	1- 2-3 後	1																	3	
身 心 基 盤 形 成 科 目 群	塑造実習	1-2- 3後	1																	2
	コミュニケーションアート& デザインA	1-2- 3前	1																	8
	コミュニケーションアート& デザインB	1-2- 3後	1																	7
	日本画実習	1-2- 3前	1																	2
	ヨガコース	1-2- 3前	1																	3
	絵画実習A	1-2- 3前	1																	1
	現代アート入門	1- 2-3 前	1																	1
	書実習基礎	1- 2-3 前	1																	2
	大学院体育Ia	1-2- 3通	1																	4
	大学院体育Ib	1-2- 3前	1																	3
	大学院体育Ic	1-2- 3後	1																	3
	大学院体育IIa	1-2- 3通	1																	4
	大学院体育IIb	1-2- 3前	1																	3
大学院体育IIc	1-2- 3後	1																	3	
大学院体育IIIa	1-2- 3通	1																	4	
大学院体育IIIb	1-2- 3前	1																	3	
大学院体育IIIc	1-2- 3後	1																	3	

	大学院体育IVa	1-2-3通	1																4		
	大学院体育IVb	1-2-3前	1																3		
	大学院体育IVc	1-2-3後	1																3		
	大学院体育Va	1-2-3通	1																4		
	大学院体育Vb	1-2-3前	1																3		
	大学院体育Vc	1-2-3後	1																3		
	小計(62科目)		0	64	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	126		
研究群共通科目	ビジネスマネジメント特別演習I-I	1前	2		11	6													1		
	マーケティング・サイエンス特論	1-2-3前	1		1																
	経営戦略総論	1-2-3後	1		1																
	財務会計特論	1-2-3後	1			1															
	知能情報システム	1-2-3後	1		1																
	小計(5科目)		0	6	0	11	6	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	
法学関連科目	共通専門科目	企業法特別研究I	1通	1		10	3														
		企業法特別研究II	1通	1		10	3														
		企業法特別研究III	1通	1		10	3														
		企業法特別研究IV	2通	1		10	3														
		企業法特別研究V	2通	1		10	3														
		企業法特別研究VI	2通	1		10	3														
		企業法特別研究VII	3通	1		10	3														
		企業法特別研究VIII	3通	1		10	3														
		企業法特別研究IX	3通	1		10	3														
	小計(9科目)		0	9	0	10	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
専門科目	企業のグローバル化分野	行政法	1-2-3休	1																1	
		現代家族法	1-2-3後	1																	1
		現代憲法	1-2-3後	1																	1
		外国会社法	1-2-3後	1		1															1
		国際租税計画I	1-2-3後	1		1															1
		国際取引と国際私法	1-2-3前	1			1														1
		米国民事訴訟法	1-2-3前	1		1															1
		ドイツ民事訴訟法	1-2-3前	1		1															1
		外国資本市場法	1-2-3後	1		1															1
		国際租税計画II	1-2-3後	1		1															1
		アメリカ会社法	1-2-3通	1			1							1							1
		アメリカ証券取引法	1-2-3通	1			1							1							1
		イギリス法	1-2-3後	1																	1
		国際消費者法	1-2-3後	1																	1

	大学院体育IVa	1-2-3通	1																4		
	大学院体育IVb	1-2-3前	1																3		
	大学院体育IVc	1-2-3後	1																3		
	大学院体育Va	1-2-3通	1																4		
	大学院体育Vb	1-2-3前	1																3		
	大学院体育Vc	1-2-3後	1																3		
	小計(64科目)		0	67	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	138		
研究群共通科目	ビジネスマネジメント特別演習I-I	1前	2		10	6													0		
	マーケティング・サイエンス特論	1-2-3前	1		1																
	経営戦略総論	1-2-3後	1		1																
	財務会計特論	1-2-3後	1			1															
	知能情報システム	1-2-3後	1		1																
	小計(5科目)		0	6	0	10	6	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
法学関連科目	共通専門科目	企業法特別研究I	1通	1		8	3													1	
		企業法特別研究II	1通	1		8	3														1
		企業法特別研究III	1通	1		8	3														1
		企業法特別研究IV	2通	1		8	3														1
		企業法特別研究V	2通	1		8	3														1
		企業法特別研究VI	2通	1		8	3														1
		企業法特別研究VII	3通	1		8	3														1
		企業法特別研究VIII	3通	1		8	3														1
		企業法特別研究IX	3通	1		8	3														1
	小計(9科目)		0	9	0	8	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	
専門科目	企業のグローバル化分野	行政法	1-2-3休	1																2	
		現代家族法	1-2-3後	1																	1
		現代憲法	1-2-3後	1																	1
		外国会社法	1-2-3後	1		1								1							1
		国際租税計画I	1-2-3後	1		1								1							1
		国際取引と国際私法	1-2-3前	1			1								1						1

企業組織と金融分野	現代株式会社法	1-2-3後	1	1																	
	比較金融法	1-2-3前	1	1																	
	現代契約法	1-2-3前	1		1																
	国際会社法	1-2-3後	1	1																	
	現代民事金融法	1-2-3前	1	1																	
	情報テクノロジーと企業分野	知的財産法による情報財保護	1-2-3後	1	1																
		企業ノウハウと従業員	1-2-3前	1	2																
		電子社会と法	1-2-3後	1	1																
		現代知的財産法	1-2-3後	1	1																
		欧米知的財産法	1-2-3前	1	1																
		アメリカ知的財産法	1-2-3後	1	1																
		比較知的財産法	1-2-3前	1	1																
		知的財産法の現代的課題	1-2-3後	1	1																
分野・経済法	比較労働法の基礎I	1-2-3通	1	1																	
	現代社会保障法	1-2-3通	1		1																
	比較労働法の基礎II	1-2-3通	1	1																	
小計(31科目)			0	31	0	10	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	5	
経営学関連科目	専門科目																				
	ビジネスマネジメント特別演習I-I	1前	2	11	6																
	ビジネスマネジメント特別演習I-II	1前	1	11	6																
	ビジネスマネジメント特別演習II-I	1後	1	11	6																
	ビジネスマネジメント特別演習II-II	1後	1	11	6																
	ビジネスマネジメント特別演習II-III	1後	1	11	6																
	ビジネスマネジメント講究I-I	1-2-3前	1	11	6																
	ビジネスマネジメント講究I-II	1-2-3前	1	11	6																
	ビジネスマネジメント講究I-III	1-2-3前	1	11	6																
	ビジネスマネジメント講究II-I	1-2-3後	1	11	6																
	ビジネスマネジメント講究II-II	1-2-3後	1	11	6																
	ビジネスマネジメント講究II-III	1-2-3後	1	11	6																
	小計(11科目)			0	12	0	11	6	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
マーケティング・コミュニケーション	マーケティング・コミュニケーション	1-2-3後	1	1																	
	消費者マーケティング	1-2-3後	1	1																	
	マーケティング・サイエンス特論	1-2-3前	1	1																	
	経営戦略総論	1-2-3後	1	1																	
	経営戦略特論	1-2-3後	1	1																	
	イノベーション・マネジメント	1-2-3後	1	1																1	
	人材開発論	1-2-3後	1	1																1	
	組織行動論	1-2-3後	1	1																	
	実証会計論	1-2-3後	1		1																
	財務会計特論	1-2-3後	1		1																

企業組織と金融分野	現代株式会社法	1-2-3後	1	1	1																
	比較金融法	1-2-3前	1	1																	
	現代契約法	1-2-3前	1		1																
	国際会社法	1-2-3後	1	1																	
	現代民事金融法	1-2-3前	1	1																	
	情報テクノロジーと企業分野	知的財産法による情報財保護	1-2-3後	1	1																
		企業ノウハウと従業員	1-2-3前	1	1																
		電子社会と法	1-2-3後	1	1																
		現代知的財産法	1-2-3後	1	1																
		欧米知的財産法	1-2-3前	1	1																
		アメリカ知的財産法	1-2-3後	1	1																
		比較知的財産法	1-2-3前	1	1																
		知的財産法の現代的課題	1-2-3後	1	1																
分野・経済法	比較労働法の基礎I (未開講)	1-2-3通	1	1																	
	現代社会保障法	1-2-3通	1		1																
	比較労働法の基礎II	1-2-3通	1	1																	
小計(32科目)			0	32	0	8	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	8	
経営学関連科目	専門科目																				
	ビジネスマネジメント特別演習I-I	1前	2	10	6															0	
	ビジネスマネジメント特別演習I-II	1前	1	10	6															0	
	ビジネスマネジメント特別演習II-I	1後	1	10	6															0	
	ビジネスマネジメント特別演習II-II	1後	1	10	6															0	
	ビジネスマネジメント特別演習II-III	1後	1	10	6															0	
	ビジネスマネジメント講究I-I	1-2-3前	1	10	6															0	
	ビジネスマネジメント講究I-II	1-2-3前	1	10	6															0	
	ビジネスマネジメント講究I-III	1-2-3前	1	10	6															0	
	ビジネスマネジメント講究II-I	1-2-3後	1	10	6															0	
	ビジネスマネジメント講究II-II	1-2-3後	1	10	6															0	
	ビジネスマネジメント講究II-III	1-2-3後	1	10	6															0	
	小計(11科目)			0	12	0	10	6	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
マーケティング・コミュニケーション	マーケティング・コミュニケーション	1-2-3後	1	1																	
	消費者マーケティング	1-2-3後	1	1																	
	マーケティング・サイエンス特論	1-2-3前	1	1																	
	経営戦略総論	1-2-3後	1	1																	
	経営戦略特論	1-2-3後	1	1																	
	イノベーション・マネジメント	1-2-3後	1	1																1	
	人材開発論	1-2-3後	1	0	1															1	
	組織行動論	1-2-3後	1	0	1																
	実証会計論	1-2-3後	1		1																
	財務会計特論	1-2-3後	1		1																

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ 認可申請書又は設置届出書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
 - ・ 各欄の作成方法は「大学の設置等に係る提出書類作成の手引き」の「教育課程等の概要」を確認してください。
 - ・ 「認可時又は届出時」には 設置認可時又は届出時の授業科目全て(兼任・兼任教員が担当する科目を含む。)を黒字で記入してください。その上で、各年度については、認可時又は届出時から変更となっている箇所は**赤字**としてください。
 - ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても科目名の後ろに「(未開講)」として記入してください。
 - ・ 1ページ目には認可時又は届出時と報告年度2つの表を記入してください。
 - ・ 不要な年度(令和2年度開設であれば令和元年度)の表は適宜削除してください。
- (2つの表が1ページに表示されるようにしてください。)
- ・ 専門職大学等の場合、「実験、実習又は実技による授業科目」には「【※】」、「臨地実務実習」による授業科目には「【臨】」、「連携実務演習」による授業科目には「【連】」を授業科目の名称の右側に記入してください。

(1) ②授業科目表に関する変更内容

【令和2年度】

- ・ 授業方法の変更により、「企業と技術者の倫理」の兼任・兼任教員の配置を「2」から「1」に変更。
 - ・ 授業内容充実のため、「異分野コミュニケーションのためのプレゼンテーション」の兼任・兼任教員の配置を「2」から「3」に変更。
 - ・ 授業内容充実のため、「Global Communication Skills Training」の兼任・兼任教員の配置を「1」から「2」に変更。
 - ・ 授業内容充実のため、「人文知コミュニケーション:人文社会科学と自然科学の壁を超える」の兼任・兼任教員の配置を「3」から「6」に変更。
 - ・ 授業内容充実のため、「21世紀的中国—現代中国の多相—」の兼任・兼任教員の配置を「1」から「9」に変更。
 - ・ 授業内容充実のため、「地球規模課題と国際社会:社会脳」の兼任・兼任教員の配置を「1」から「3」に変更。
 - ・ 担当内容変更により、「地球規模課題と国際社会:感染症・保健医療問題」の兼任・兼任教員の配置を「3」から「2」に変更。
 - ・ 授業内容充実のため、「地球規模課題と国際社会:地球規模課題と国際社会:環境汚染と健康影響」の兼任・兼任教員の配置を「1」から「2」に変更。
 - ・ 授業内容充実のため、「地球規模課題と国際社会:環境・エネルギー」の兼任・兼任教員の配置を「1」から「5」に変更。
 - ・ 授業内容充実のため、「ワークライフバランス - モーリスに学ぶハイパー・イノベーション」の兼任・兼任教員の配置を「1」から「2」に変更。
 - ・ 担当教員追加及び退職により、「魅力ある理科教員になるための生物・地学実験」の兼任・兼任教員の配置を「9」から「10」に変更。
 - ・ 授業内容充実のため、「脳の多様性とレジリエンス」の兼任・兼任教員の配置を「1」から「2」に変更。
 - ・ 教育内容充実のため、「筑波クリエイティブ・キャパシティ・アドバンス」博士のキャリアパスを選択科目に追加。
 - ・ 授業内容充実のため、「科学的発見と創造性」の兼任・兼任教員の配置を「1」から「2」に変更。
 - ・ 授業内容充実のため、「21世紀と宗教」の兼任・兼任教員の配置を「2」から「4」に追加。
 - ・ 授業内容充実のため、「UT-Top Academic's Lecture」を選択科目に追加。
 - ・ 担当教員加療のため、「現代アート入門」の配当年次を「1・2・3前」から「1・2・3後」に変更。
 - ・ 指導体制充実のため、「企業法特別研究I」「同II」「同III」「同IV」「同V」「同VI」「同VII」「同VIII」「同IX」の専任教員等の配置の「教授9」を「教授10」に変更。
 - ・ 教育内容充実のため、「行政法」「現代家族法」「現代憲法」「イギリス法」「国際消費者法」を選択科目に追加。
 - ・ 社会人学生への履修上の配慮のため、「電子社会と法」を3年に1度開講に変更。
 - ・ 授業内容充実のため、「イノベーション・マネジメント」の兼任・兼任教員の配置に「1」を追加。
 - ・ 授業内容充実のため、「金融ビジネス総論」の担当教員の配置に「准教授1」「兼任・兼任1」を追加し、オムニバス科目に変更。
 - ・ 外部講師招聘のため、「情報システム特論」の兼任・兼任教員の配置に「5」を追加。
- ※上記のほか、新型コロナウイルス感染症の影響により授業科目の一時的な開講時期の変更等が生じた。

【令和3年度】

- ・ 授業内容充実のため、「Global Communication Skills Training」の兼任・兼任教員の配置を「2」から「3」に変更。
 - ・ 教育内容充実のため、「総合資料学:歴史文化の高度化研究とその伝達方法」を選択科目に追加。
 - ・ 授業内容充実のため、「地球規模課題と国際社会:食料問題」の兼任・兼任教員の配置を「1」から「4」に変更。
 - ・ 担当教員交代のため、「地球規模課題と国際社会:社会脳」の兼任・兼任教員の配置を「3」から「1」に変更。
 - ・ 履修上の配慮のため、「地球規模課題と国際社会:社会問題」の配当年次を「1・2・3後」から「1・2・3休」に変更。
 - ・ 履修上の配慮のため、「地球規模課題と国際社会:環境・エネルギー」の配当年次を「1・2・3休」から「1・2・3前」に変更。授業内容の充実のため、同科目の兼任・兼任教員の配置を「5」から「8」に変更。
 - ・ 科目名称適正化のため、「JAPIC7アドバンスディプロマコースI—流動化する世界とこれからの日本」の副題を一部変更。
 - ・ 授業内容充実のため、「JAPIC7アドバンスディプロマコースI—多極化する世界とこれからの日本」「同III—テクノロジーとグローバルで開く未来」の兼任・兼任教員の配置を「1」から「2」に変更。
 - ・ 授業内容充実のため、「ダイバーシティとSOGI/LGBT+」の兼任・兼任教員の配置を「1」から「2」に変更。
 - ・ 担当教員退職のため、「魅力ある理科教員になるための生物・地学実験」の兼任・兼任教員の配置を「10」から「9」に変更。
 - ・ 授業内容充実のため、「アソシエイト・リサーチ・特論」の兼任・兼任教員の配置を「8」から「9」に変更。
 - ・ 授業内容充実のため、「脳の多様性とレジリエンス」の兼任・兼任教員の配置を「2」から「3」に変更。
 - ・ 履修上の配慮のため、「博士のキャリアパス」の配当年次を「1・2・3後」から「1・2・3前」に変更。担当教員交代により、同科目の兼任・兼任教員の配置を「4」から「2」に変更。
 - ・ 授業運営充実のため、「科学的発見と創造性」の兼任・兼任教員の配置を「2」から「3」に変更。
 - ・ 授業内容充実のため、「考える動物としての人間—東西哲学からの考察」の兼任・兼任教員の配置を「5」から「7」に変更。
 - ・ 授業運営充実のため、「ヨガコース」の兼任・兼任教員の配置を「1」から「3」に変更。
 - ・ 担当教員快復により、「現代アート入門」の配当年次を「1・2・3後」から「1・2・3前」に復旧。
 - ・ 教育内容充実のため、「書実習基礎」を選択科目に追加。
 - ・ 担当教員退職及び見直しにより、「ビジネス・マネジメント特別演習I-I」の専任教員等の配置の「教授11」を「教授10」に、兼任・兼任教員の配置を「1」から「0」に変更。
 - ・ 担当教員退職により、「企業法特別研究I」「同II」「同III」「同IV」「同V」「同VI」「同VII」「同VIII」「同IX」の専任教員等の配置の「教授10」を「教授8」に変更、兼任・兼任教員の配置に「1」を追加。
 - ・ 授業内容充実のため、「行政法」の兼任・兼任教員の配置を「1」から「2」に変更。
 - ・ 担当教員退職に伴う担当教員交代により、「外国会社法」の担当教員の配置を「教授1」から「教授1」「兼任・兼任1」に変更。
 - ・ 教育内容充実のため、「ドイツ会社法」を選択科目に追加。
 - ・ 授業内容充実のため、「現代株式会社法」の専任教員等の配置に「准教授1」を追加。
 - ・ 担当教員退職により、「企業/ノウハウと従業員」の専任教員等の配置を「教授2」から「教授1」に変更。
 - ・ 担当教員退職により、「ビジネス・マネジメント特別演習I-I」「同I-II」「同I-III」「同II-I」「同II-II」「同II-III」「同III-I」「同III-II」「同III-III」の専任教員等の配置の「教授11」を「教授10」に、兼任・兼任教員の配置を「1」から「0」に変更。
 - ・ 担当教員退職に伴う担当教員交代により、「人材開発論」の専任教員等の配置を「教授1」から「准教授1」に変更。
 - ・ 担当教員退職に伴う担当教員交代により、「組織行動論」の専任教員等の配置を「教授1」から「准教授1」に変更。
 - ・ 授業内容充実のため、「経営科学総論」の担当教員の配置に「兼任・兼任教員1」を追加。
 - ・ 教育内容充実のため、「データマネジメント特論」を選択科目に追加。
 - ・ 担当教員退職により、「ビジネス・マネジメント特論I-I」「同I-II」「同I-III」「同II-I」「同II-II」「同II-III」の専任教員等の配置の「教授11」を「教授10」に変更。
- ※上記のほか、新型コロナウイルス感染症の影響により授業科目の一時的な開講時期の変更等が生じた。

【令和4年度】

- ・担当教員退職により、「生命倫理学」の兼任・兼任教員の配置を「10」から「9」に変更。
- ・授業内容を踏まえ、「英語発表」の授業科目の名称を「Presentations for General Audiences」に変更。
- ・担当教員離職により、「人文知コミュニケーション:人文社会科学と自然科学の壁を超える」の兼任・兼任教員の配置を「6」から「4」に変更。
- ・履修上の配慮のため、「総合資料学:歴史文化の高度化研究とその伝達方法」の配当年次を「1・2・3休」から「1・2・3後」に変更。
- ・授業内容充実のため、「地球規模課題と国際社会:社会脳」の兼任・兼任教員の配置を「3」から「4」に変更。
- ・授業内容を踏まえ、「JAPIC7ドバイイノベーションイニシアチブ」と「グローバルで拓く未来」の授業科目の名称を「JAPIC7ドバイイノベーションイニシアチブ-次世代モビリティのマーケットデザインと計算科学」に変更。
- ・担当教員退職により、「アケビ・リテラチャー-特論」の兼任・兼任教員の配置を「9」から「8」に変更。
- ・履修上の配慮により、「科学的発見と創造性」の配当年次を「1・2・3前」から「1・2・3後」に変更。
- ・担当教員交代により、「コミュニケーション&デザインB」の兼任・兼任教員の配置を「7」から「8」に変更。
- ・授業内容充実のため、「ビジネスマネジメント特別演習I-1」の専任教員等の配置の「准教授6」を「准教授7」に変更。
- ・担当教員急逝及び退職により、「企業法特別研究I」「同II」「同III」「同IV」「同V」「同VI」「同VII」「同VIII」「同IX」の専任教員等の配置の「教授8」を「教授7」に変更、兼任・兼任教員の配置を「1」から「0」に変更。
- ・教育内容充実のため、「企業法特殊研究I」を選択科目に追加。
- ・教育内容充実のため、「外国証券法特殊講義I」を選択科目に追加。
- ・教育内容充実のため、「宇宙法」を選択科目に追加。
- ・担当教員見直しにより、「現代株式会社法」の専任教員等の配置を「教授1、准教授1」から「准教授1」に変更。
- ・担当教員交代により、「比較金融法」の専任教員等の配置を「教授1」から「准教授1」に変更。
- ・担当教員急逝に伴う交代により、「国際会社法」の専任教員等の配置を「教授1」から「准教授1」に変更。
- ・教育内容充実のため、「情報法」を選択科目に追加。
- ・指導体制充実のため、「ビジネスマネジメント特別演習I-1」「同I-II」「同II-I」「同II-II」「同II-III」「ビジネスマネジメント講義I-1」「I-II」「I-III」「II-I」「II-II」「II-III」の専任教員等の配置の「准教授6」を「准教授7」に変更。
- ・担当教員見直しにより、「人材開発論」の兼任・兼任教員の配置を「1」から「0」に変更。

※上記のほか、新型コロナウイルス感染症の影響により次の授業科目の開講時期に一時的な変更が生じた。
Global Communication Skills Training、国際租税計画I、7月証券取引法、現代株式会社法、現代契約法、電子社会と法

- (注) ・ 2(1)一① 授業科目表に記入された各年度における変更内容(配当年次の変更、専任教員等の配置の変更、授業科目名の変更、新規科目の追加など)を簡条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
- ・ 変更内容には、授業科目の未開講や廃止については記入しないでください。
 - ・ 不要な年度(令和2年度開設であれば令和元年度)の表は適宜削除してください。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計 (A)	必修	選択	自由	計	
0 科目	152 科目	0 科目	152 科目	0 科目 [0]	168 科目 [16]	0 科目 [0]	168 科目 [16]	

(注) ・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、[] 内に、設置時の計画からの増減を記入してください。(記入例：1科目減の場合：△1)

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由, 代替措置の有無
1						該当無し
2						
3						

- (注) ・ 配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については記入しないでください。
 - ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。
 - ・ 専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎、展開、職業専門、総合」と修正して記入してください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由, 代替措置の有無
1						該当無し
2						
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」として記入してください。
 - ・ 専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎、展開、職業専門、総合」と修正して記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

該当無し

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能な限り具体的に記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目(3)と廃止科目(4)の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計(A)}} = \frac{0}{152} = \boxed{}0\%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。
・ 「未開講科目と廃止科目の計」が、「(3)未開講科目」と「(4)廃止科目」の合計数となるように留意してください。

3 施設・設備の整備状況、経費

区 分		内 容				備 考					
(1) 校 地 等	区 分	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計						
	校舎敷地	1,373,254 m ²	0 m ²	0 m ²	1,373,254 m ²						
	運動場用地	344,887 m ²	0 m ²	0 m ²	344,887 m ²						
	小 計	1,718,141 m ²	0 m ²	0 m ²	1,718,141 m ²						
	そ の 他	797,247 m ² 796,323 m ² 798,532 m² 798,027 m ²	0 m ²	0 m ²	797,247 m ² 796,323 m ² 798,532 m² 798,027 m ²	建物の新築、改築による (2) 建物の新築、改築による (3) 建物の新築等による (4)					
	合 計	2,515,388 m ² 2,514,464 m ² 2,516,673 m² 2,516,168 m ²	0 m ²	0 m ²	2,515,388 m ² 2,514,464 m ² 2,516,673 m² 2,516,168 m ²						
(2) 校 舎	専 用	478,742 m ² 479,158 m ² 479,537 m² 479,420 m ²	0 m ²	0 m ²	478,742 m ² 479,158 m ² 479,537 m² 479,420 m ²	建物の新築による (2) 建物の新築等による (3) 建物の新築、既存建物面積の修正等による (4)					
		(478,742 m²) (479,158 m²) (479,537 m²) (479,420 m ²)	(0 m ²)	(0 m ²)	(478,742 m²) (479,158 m²) (479,537 m²) (479,420 m ²)						
(3) 教 室 等	講 義 室	332室 336室	演 習 室	300室 293室 294室	実験実習室	2,031室 2,030室 2,032室 2,029室	情報処理学習施設	30室 29室 30室 (補助職員12人) 10人 12人 13人	語学学習施設	7室 0室 1室 (補助職員14人) 15人 16人 14人	申請大学全体
											改修工事による用途見直し、語学学習施設の耐震改修（一般教室で代替中）、人事異動等のため (2) 改修工事による用途見直し、語学学習システムのオンライン化、人事異動等のため (3) 改修工事による用途見直しのため (4)
(4) 専任教員研究室	新設学部等の名称			室 数		改修工事による用途見直しのため (3)					
	申請大学全体			1,831 1,830 室							
(5) 図 書 ・ 設 備	新設学部等の名称	図 書 〔うち外国書〕 冊	学術雑誌 〔うち外国書〕 種	電子ジャーナル 〔うち外国書〕	視聴覚資料 点	機械・器具 点	標 本 点	専攻単位での特定不能なため、申請大学全体の資料購入により図書・雑誌数増加、資料除籍のため視聴覚資料数減少 (3) 資料購入により図書・雑誌・視聴覚資料数増加 (4)			
	申請大学全体	2,681,796 [1,044,194] (2,698,129 [1,046,608]) (2,712,400 [1,048,271]) (2,727,143 [1,050,669])	30,364 [12,874] (30,447 [12,889]) (30,597 [12,914]) (30,749 [12,969])	31,466 [31,404] (32,769 [32,693]) (32,018 [31,965]) (37,024 [36,961])	17,262 (17,345) (17,219) (17,537)	24,989 (24,989)	551 (551)				
	計	2,681,796 [1,044,194] (2,698,129 [1,046,608]) (2,712,400 [1,048,271]) (2,727,143 [1,050,669])	30,364 [12,874] (30,447 [12,889]) (30,597 [12,914]) (30,749 [12,969])	31,466 [31,404] (32,769 [32,693]) (32,018 [31,965]) (37,024 [36,961])	17,262 (17,345) (17,219) (17,537)	24,989 (24,989)	551 (551)				
(6) 図 書 館	面 積		閲 覧 座 席 数		収 納 可 能 冊 数		新制大学全体				
	30,041 m ²		2,230 2,233 2,238 2,236		2,606,501 2,607,028 2,613,611 2,615,500						
							閲覧室レイアウト変更により閲覧座席数増加、書架棚数増加により収容可能冊数増加 (2) 医学図書館ラーニングコモンズ設置に伴い閲覧座席数増加、書架棚数増加により収容可能冊数増加 (3) 閲覧室レイアウト変更により閲覧座席数減少、書架棚数増加により収容可能冊数増加 (4)				

(7) 体 育 館	面 積		体育館以外のスポーツ施設の概要						新制大学全体
	22,713 m ² 22,765 m ²		テニスコート、ハンドボール場、ラグビー場、サッカー場、陸上競技場、屋内プール						屋内プールは体育館面積に含まれているため(2)増築等による(4)
(8) 経費の見積り及び維持方法の概要	経費の見積り	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度	国費による
		教員1人当り研究費等	千円	千円	図書購入費	千円	千円	千円	
	共同研究費等	千円	千円	設備購入費	千円	千円	千円		
	学生1人当り納付金	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次		
		千円	千円	千円	千円	千円	千円		
学生納付金以外の維持方法の概要									

- (注) ・ 設置時の計画を、申請書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はAC対象学部等の数値を記入してください。)
- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨(所要時間・距離等)を「備考」に記入してください。
 - ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には令和4年5月1日現在の数値を記入してください。
 - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(4)」を「備考」に赤字で記入してください。
 なお、昨年度の報告において赤字で見え消しした部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
 - ・ 校舎等建物の計画の変更(校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延)がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。
 - ・ 国立大学については「(8)経費の見積り及び維持方法の概要」は記載不要です。

4. 既設大学等の状況

大学の名称	筑波大学						学生募集停止学科数	0	平均入学定員超過率1.3倍以上の学科等数	0	備考
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	令和4年度入学定員超過率	定員変更年度(AC期間の学科のみ)	開設年度	所在地	
	年	人	年次人	人		倍	倍	年度	年度		
人文・文化学群	4	240	-	960	-	1.03	1.02	-	平成19	-	
人文学類	4	120	-	480	学士 (人文学)	1.04	1.04	-	平成19	茨城県つくば市 天王台1-1-1	
比較文化学類	4	80	-	320	学士 (比較文化)	1.02	1.05	-	平成19	同上	
日本語・日本文化学類	4	40	-	160	学士 (文学) (日本語教育)	1.02	0.95	-	平成19	同上	
社会・国際学群	4	160	3年次 10	660	-	1.02	0.96	-	平成19	-	
社会学類	4	80	3年次 10	340	学士 (社会学) (法学) (政治学) (経済学) (国際社会科学)	1.01	0.96	-	平成19	茨城県つくば市 天王台1-1-1	
国際総合学類	4	80	-	320	学士 (国際関係学) (国際開発学) (国際社会科学)	1.02	0.97	-	平成19	同上	
人間学群	4	120	-	480	-	1.06	1.08	-	平成19	-	
教育学類	4	35	-	140	学士 (教育学)	1.03	1.05	-	平成19	茨城県つくば市 天王台1-1-1	
心理学類	4	50	-	200	学士 (心理学)	1.08	1.10	-	平成19	同上	
障害科学類	4	35	-	140	学士 (障害科学) (特別支援教育学) (社会福祉学)	1.05	1.08	-	平成19	同上	
生命環境学群	4	250	3年次 10	1,020	-	1.02	0.96	-	平成19	-	
生物学類	4	80	-	320	学士 (理学)	1.02	0.95	-	平成19	茨城県つくば市 天王台1-1-1	
生物資源学類	4	120	3年次 10	500	学士 (生物資源学) (農学)	1.01	0.95	-	平成19	同上	
地球学類	4	50	-	200	学士 (理学)	1.05	1.02	-	平成19	同上	
理工学群	4	520	3年次 10	2,100	-	1.02	1.02	-	平成19	-	
数学類	4	40	-	160	学士 (理学)	1.00	1.00	-	平成19	茨城県つくば市 天王台1-1-1	
物理学類	4	60	-	240	学士 (理学)	1.03	1.10	-	平成19	同上	
化学類	4	50	-	200	学士 (理学)	1.02	1.04	-	平成19	同上	
応用理工学類	4	120	3年次 10	500	学士 (工学)	1.03	1.00	-	平成19	同上	
工学システム学類	4	130	-	520	学士 (工学)	1.02	1.00	-	平成19	同上	
社会工学類	4	120	-	480	学士 (社会工学)	1.03	1.03	-	平成19	同上	
情報学群	4	230	3年次 30	980	-	1.05	1.05	-	平成19	-	
情報科学類	4	80	3年次 10	340	学士 (情報科学) (情報工学)	1.06	1.05	-	平成19	茨城県つくば市 天王台1-1-1	
情報メディア創成学類	4	50	3年次 10	220	学士 (情報メディア科学)	1.06	1.04	-	平成19	茨城県つくば市 春日1-2	
知識情報・図書館学類	4	100	3年次 10	420	学士 (図書館情報学)	1.04	1.06	-	平成19	同上	

医学群(修業年限6年)	-	134	2年次 ₅	833		0.98	0.94	令和4	平成19	-	
医学類	6	134	2年次 ₅	833	学士 (医学)	0.98	0.94	令和4	平成19	茨城県つくば市 天王台1-1-1	定員変更 (36)
医学群(修業年限4年)	4	107	3年次 ₁₃	454	-	1.02	1.00	-	平成19		
看護学類	4	70	3年次 ₁₀	300	学士 (看護学) (ヘルスケア)	1.03	1.00	-	平成19	茨城県つくば市 天王台1-1-1	
医療科学類	4	37	3年次 ₃	154	学士 (医療科学) (国際医療科学)	1.00	1.02	-	平成19	同上	
体育専門学群	4	240	-	960	学士 (体育学)	1.06	1.04	-	昭和49	茨城県つくば市 天王台1-1-1	
芸術専門学群	4	100	-	400	学士 (芸術学)	1.04	1.03	-	昭和50	茨城県つくば市 天王台1-1-1	
大学全体	4	1,967	3年次 ₇₃	8,014	-	1.03	1.02	-	-	-	-
	6	134	2年次 ₅	833		0.98	0.94				

大学の名称	筑波大学大学院						学生募集停止学科数	80	平均入学定員超過率1.3倍以上の学科等数	0	備考
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	令和4年度入学定員超過率	定員変更年度(AC期間の学科のみ)	開設年度	所在地	
	年	人	年次人	人		倍	倍	年度	年度	年度	
人文社会ビジネス科学学術院	-	355	-	833	-			-	令和2		令和2年4月設置
(M)	2	202		404	-	0.89	0.82	-			
(D)	3	87		261	-	0.62	0.80	-			
(P)	2	30		60	-	1.11	1.06	-			
	3	36		108	-	1.07	0.97	-			
人文社会科学研究群(M)	2	139	-	278	修士 (文学) (国際公共政策) (国際日本研究)	0.87	0.80	-	令和2	茨城県つくば市 天王台1-1-1	令和2年4月設置
人文社会科学研究群(D)	3	66	-	198	博士 (文学) (国際公共政策) (国際日本研究)	0.52	0.74	-	令和2	同上	令和2年4月設置
ビジネス科学研究群(M)	2	63	-	126	修士 (法学) (経営学)	0.91	0.87	-	令和2	東京都文京区 大塚3-29-1	令和2年4月設置
ビジネス科学研究群(D)	3	21	-	63	博士 (法学) (経営学)	0.94	1.00	-	令和2	同上	令和2年4月設置
法曹専攻(P)	3	36	-	108	法務博士 (専門職)	1.07	0.97	-	令和2	同上	令和2年4月設置
国際経営プロフェッショナル専攻(P)	2	30	-	60	国際経営修士 (専門職)	1.11	1.06	-	令和2	同上	令和2年4月設置
理工情報生命学術院	-	1,332	-	2,988	-			-	令和2		令和2年4月設置
(M)	2	1,024		2,048	-	1.08	1.06	-			
(D)	3	300		900	-	0.96	0.90	-			
	5	8		40	-	1.08	1.50	-			
数理物質科学研究群(M)	2	276	-	552	修士 (理学) (工学)	1.01	1.00	-	令和2	茨城県つくば市 天王台1-1-1	令和2年4月設置
数理物質科学研究群(D)	3	88	-	264	博士 (理学) (工学)	0.76	0.76	-	令和2	同上	令和2年4月設置
システム情報工学研究群(M)	2	431	-	862	修士 (社会工学) (工学) (サービス工学) (生物情報学)	1.19	1.21	-	令和2	同上	令和2年4月設置
システム情報工学研究群(D)	3	94	-	282	博士 (社会工学) (工学) (生物情報学)	1.21	1.07	-	令和2	同上	令和2年4月設置
	5	8	-	40	修士 (人間情報学) 博士 (人間情報学)	1.08	1.50	-			

生命地球科学研究群 (M)	2	311	-	622	修士 (理学) (農学) (環境科学) (山岳科学) (食料革新学) (環境制御学) (生物工学)	0.99	0.91	-	令和2	同上	令和2年4月 設置
生命地球科学研究群 (D)	3	118	-	354	博士 (理学) (農学) (生命農学) (生物工学) (環境学) (食料革新学) (環境制御学)	0.92	0.86	-	令和2	同上	令和2年4月 設置
国際連携持続環境科学専攻 (M)	2	6	-	12	修士 (持続環境科学)	1.00	0.50	-	令和2	同上	令和2年4月 設置
人間総合科学学術院 (M)	-	821	-	1,970	-	-	-	-	令和2	-	令和2年4月 設置
(D)	2	589	-	1,178	-	0.97	0.91	-	-	-	-
	3	144	-	432	-	1.05	1.02	-	-	-	-
	4	80	-	320	-	1.12	1.13	-	-	-	-
	5	8	-	40	-	0.95	0.75	-	-	-	-
人間総合科学研究群 (M)	2	575	-	1,150	修士 (教育学) (心理学) (障害科学) (カウンセリング) (リハビリテーション科学) (神経科学) (看護科学) (医科学) (公衆衛生学) (体育学) (スポーツ・リハビリ科学) (スポーツ・ウェルネス学) (芸術学) (デザイン学) (世界遺産学) (情報学) (病態機構学)	0.97	0.97	-	令和2	茨城県つくば市 天王台1-1-1 東京都文京区 大塚3-29-1	令和2年4月 設置
人間総合科学研究群 (D)	3	141	-	423	博士 (教育学) (心理学) (障害科学) (カウンセリング科学) (リハビリテーション科学) (神経科学) (看護科学) (ヒューマン・ケア科学) (公衆衛生学) (スポーツ医学) (体育科学) (コーチング学) (スポーツ・ウェルネス学) (芸術学) (デザイン学) (世界遺産学) (情報学) (病態機構学) (医科学) (医学) (人間生物学)	1.05	0.97	-	令和2	同上	令和2年4月 設置
	4	80	-	320	(医学)	1.12	1.16	-	令和2	同上	-
	5	8	-	40	(人間生物学)	0.95	1.00	-	令和2	同上	-
スポーツ国際開発学共同専攻 (M)	2	5	-	10	修士 (スポーツ国際開発学)	1.00	1.00	-	令和2	茨城県つくば市 天王台1-1-1	令和2年4月 設置
大学体育スポーツ高度化共同専攻 (D)	3	3	-	9	博士 (体育スポーツ学)	1.22	1.33	-	令和2	同上	令和2年4月 設置
国際連携食料健康科学専攻 (M)	2	9	-	18	修士 (食料健康科学)	0.83	0.00	-	令和2	同上	令和2年4月 設置
教育研究科 スキルアップ開発専攻 (修士課程)	2	-	-	-	修士 (教育学)	-	-	-	昭和53 平成18	茨城県つくば市 天王台1-1-1	令和2年学生募集停止 令和2年 学生募集停止
教科教育専攻 (修士課程)	2	-	-	-	修士 (教育学)	-	-	-	昭和53	同上	令和2年 学生募集停止
人文社会科学研究科 哲学・思想専攻 (一貫制修士課程)	5	-	-	-	博士 (文学)	-	-	-	平成13 平成13	茨城県つくば市 天王台1-1-1	令和2年 学生募集停止
歴史・人類学専攻 (一貫制修士課程)	5	-	-	-	博士 (文学)	-	-	-	平成13	同上	令和2年 学生募集停止
文芸・言語専攻 (一貫制修士課程)	5	-	-	-	博士 (文学) (言語学)	-	-	-	平成13	同上	令和2年 学生募集停止
現代語・現代文化専攻 (博士前期課程)	2	-	-	-	修士 (文学) (言語学) (学術)	-	-	-	平成20	同上	令和2年 学生募集停止

現代語・現代文化専攻 (博士後期課程)	3	-	-	-	博士 (文学) (言語学) (学術)	-	-	-	平成20	同上	令和2年 学生募集停止
国際公共政策専攻 (博士前期課程)	2	-	-	-	修士 (政治学) (社会学) (国際政治経済学) (国際公共政策) (学術)	-	-	-	平成20	同上	令和2年 学生募集停止
国際公共政策専攻 (博士後期課程)	3	-	-	-	博士 (政治学) (社会学) (国際政治経済学) (国際公共政策) (学術)	-	-	-	平成20	同上	令和2年 学生募集停止
国際地域研究専攻 (修士課程)	2	-	-	-	修士 (地域研究) (国際学) (公共政策) (経済学) (学術)	-	-	-	平成27	同上	令和2年 学生募集停止
国際日本研究専攻 (博士前期課程)	2	-	-	-	修士 (人文科学) (社会科学) (国際日本研究) (日本語教育学)	-	-	-	平成27	同上	令和2年 学生募集停止
国際日本研究専攻 (博士後期課程)	3	-	-	-	博士 (人文科学) (社会科学) (国際日本研究) (日本語教育学) (学術)	-	-	-	平成20	同上	令和2年 学生募集停止
ビジネス科学研究科	-	-	-	-	-	-	-	-	平成13		令和2年学生募集停止
経営システム科学専攻 (博士前期課程)	2	-	-	-	修士 (経営学) (経営システム科学)	-	-	-	平成13	東京都文京区 大塚3-29-1	令和2年 学生募集停止
企業法学専攻 (博士前期課程)	2	-	-	-	修士 (法学)	-	-	-	平成13	同上	令和2年 学生募集停止
企業科学専攻 (博士後期課程)	3	-	-	-	博士 (経営学) (システム・マネジメント) (法学)	-	-	-	平成13	同上	令和2年 学生募集停止
法曹専攻 (専門職学位課程)	3	-	-	-	法務博士 (専門職)	-	-	-	平成17	同上	令和2年 学生募集停止
国際経営プロフェッショナル専攻 (専門職学位課程)	2	-	-	-	国際経営修士 (専門職)	-	-	-	平成17	同上	令和2年 学生募集停止
数理解物質科学研究科	-	-	-	-	-	-	-	-	平成12		令和2年学生募集停止
数学専攻 (博士前期課程)	2	-	-	-	修士 (理学)	-	-	-	平成12	茨城県つくば市 天王台1-1-1	令和2年 学生募集停止
数学専攻 (博士後期課程)	3	-	-	-	博士 (理学)	-	-	-	平成12	同上	令和2年 学生募集停止
物理学専攻 (博士前期課程)	2	-	-	-	修士 (理学)	-	-	-	平成12	同上	令和2年 学生募集停止
物理学専攻 (博士後期課程)	3	-	-	-	博士 (理学)	-	-	-	平成12	同上	令和2年 学生募集停止
化学専攻 (博士前期課程)	2	-	-	-	修士 (理学)	-	-	-	平成12	同上	令和2年 学生募集停止
化学専攻 (博士後期課程)	3	-	-	-	博士 (理学)	-	-	-	平成12	同上	令和2年 学生募集停止
ナノサイエンス・ナノテクノロジー専攻 (博士後期課程)	3	-	-	-	博士 (理学) (工学)	-	-	-	平成24	同上	令和2年 学生募集停止
電子・物理工学専攻 (博士前期課程)	2	-	-	-	修士 (工学)	-	-	-	平成12	同上	令和2年 学生募集停止
電子・物理工学専攻 (博士後期課程)	3	-	-	-	博士 (工学)	-	-	-	平成12	同上	令和2年 学生募集停止
物性・分子工学専攻 (博士前期課程)	2	-	-	-	修士 (工学)	-	-	-	平成12	同上	令和2年 学生募集停止
物性・分子工学専攻 (博士後期課程)	3	-	-	-	博士 (工学)	-	-	-	平成12	同上	令和2年 学生募集停止
物質・材料工学専攻 (後期3年の課程のみの博士課程)	3	-	-	-	博士 (工学)	-	-	-	平成16	同上	令和2年 学生募集停止
システム情報工学研究科	-	-	-	-	-	-	-	-	平成12		令和2年学生募集停止
社会工学専攻 (博士前期課程)	2	-	-	-	修士 (社会工学) (サービス工学)	-	-	-	平成26	茨城県つくば市 天王台1-1-1	令和2年 学生募集停止
社会工学専攻 (博士後期課程)	3	-	-	-	博士 (社会工学)	-	-	-	平成26	同上	令和2年 学生募集停止
社会システム・マネジメント専攻 (博士後期課程)	3	-	-	-	博士 (社会経済) (社会工学) (マネジメント) (工学)	-	-	-	平成12	同上	平成26年 学生募集停止
リスク工学専攻 (博士前期課程)	2	-	-	-	修士 (工学) (社会工学)	-	-	-	平成13	同上	令和2年 学生募集停止
リスク工学専攻 (博士後期課程)	3	-	-	-	博士 (工学)	-	-	-	平成13	同上	令和2年 学生募集停止
コンピュータサイエンス専攻 (博士前期課程)	2	-	-	-	修士 (工学)	-	-	-	平成12	同上	令和2年 学生募集停止

コンピュータサイエンス専攻 (博士後期課程)	3	-	-	-	博士 (工学)	-	-	-	平成12	同上	令和2年 学生募集停止
知能機能システム専攻 (博士前期課程)	2	-	-	-	修士 (工学)	-	-	-	平成12	同上	令和2年 学生募集停止
知能機能システム専攻 (博士後期課程)	3	-	-	-	博士 (工学)	-	-	-	平成12	同上	令和2年 学生募集停止
構造エネルギー工学専攻 (博士前期課程)	2	-	-	-	修士 (工学)	-	-	-	平成12	同上	令和2年 学生募集停止
構造エネルギー工学専攻 (博士後期課程)	3	-	-	-	博士 (工学)	-	-	-	平成12	同上	令和2年 学生募集停止
生命環境科学研究科	-	-	-	-	-	-	-	-	平成12		令和2年学生募集停止
地球科学専攻 (博士前期課程)	2	-	-	-	修士 (理学) (地球科学)	-	-	-	平成19	茨城県つくば市 天王台1-1-1	令和2年 学生募集停止
生物科学専攻 (博士前期課程)	2	-	-	-	修士 (理学)	-	-	-	平成17	同上	令和2年 学生募集停止
生物資源科学専攻 (博士前期課程)	2	-	-	-	修士 (農学) (生物資源工学) (生物工学) (バイオテクノロジー) (学術)	-	-	-	平成17	同上	令和2年 学生募集停止
環境科学専攻 (博士前期課程)	2	-	-	-	修士 (環境科学)	-	-	-	平成19	同上	令和2年 学生募集停止
国際連携持続環境科学専攻 (博士前期課程)	2	-	-	-	修士 (持続環境科学)	-	-	-	平成29	同上	令和2年 学生募集停止
地球環境科学専攻 (博士後期課程)	3	-	-	-	博士 (理学) (地球環境科学)	-	-	-	平成19	同上	令和2年 学生募集停止
地球進化科学専攻 (博士後期課程)	3	-	-	-	博士 (理学) (地球科学)	-	-	-	平成19	同上	令和2年 学生募集停止
生物科学専攻 (博士後期課程)	3	-	-	-	博士 (理学) (生物科学) (学術)	-	-	-	平成23	同上	令和2年 学生募集停止
環境バイオマス共生学専攻 (一貫制博士課程)	5	-	-	-	博士 (学術)	-	-	-	平成24	同上	令和2年 学生募集停止
国際地縁技術開発科学専攻 (博士後期課程)	3	-	-	-	博士 (農学) (生物資源工学) (学術)	-	-	-	平成17	同上	令和2年 学生募集停止
生物圏資源科学専攻 (博士後期課程)	3	-	-	-	博士 (農学) (学術)	-	-	-	平成17	同上	令和2年 学生募集停止
生物機能科学専攻 (博士後期課程)	3	-	-	-	博士 (農学) (生物工学) (学術)	-	-	-	平成17	同上	令和2年 学生募集停止
生命産業科学専攻 (博士後期課程)	3	-	-	-	博士 (生物科学) (農学) (生物工学) (学術)	-	-	-	平成17	同上	令和2年 学生募集停止
持続環境学専攻 (博士後期課程)	3	-	-	-	博士 (環境学)	-	-	-	平成19	同上	令和2年 学生募集停止
先端農業技術科学専攻 (後期3年の課程のみの博士課程)	3	-	-	-	博士 (農学)	-	-	-	平成17	同上	令和2年 学生募集停止
人間総合科学研究科	-	-	-	-	-	-	-	-	平成13		令和2年学生募集停止
スポーツ健康システムマネジメント専攻 (修士課程)	2	-	-	-	修士 (体育学) (保健学)	-	-	-	平成20	東京都文京区 大塚3-29-1	令和2年 学生募集停止
フロンティア医科学専攻 (修士課程)	2	-	-	-	修士 (医科学) (公衆衛生学) (ヒューマンケア科学)	-	-	-	平成18	茨城県つくば市 天王台1-1-1	令和2年 学生募集停止
教育学専攻 (博士前期課程)	2	-	-	-	修士 (教育学)	-	-	-	平成20	同上	令和2年 学生募集停止
教育基礎学専攻 (博士後期課程)	3	-	-	-	博士 (教育学)	-	-	-	平成20	同上	令和2年 学生募集停止
学校教育学専攻 (博士後期課程)	3	-	-	-	博士 (教育学) (学術)	-	-	-	平成20	同上	令和2年 学生募集停止
心理専攻 (博士前期課程)	2	-	-	-	修士 (心理学)	-	-	-	平成20	同上	令和2年 学生募集停止
心理学専攻 (博士後期課程)	3	-	-	-	博士 (心理学) (学術)	-	-	-	平成20	同上	令和2年 学生募集停止
障害科学専攻 (博士前期課程)	2	-	-	-	修士 (障害科学) (特別支援教育学)	-	-	-	平成20	同上	令和2年 学生募集停止
障害科学専攻 (博士後期課程)	3	-	-	-	博士 (障害科学)	-	-	-	平成20	同上	令和2年 学生募集停止
生涯発達専攻 (博士前期課程)	2	-	-	-	修士 (カウンセリング) (リハビリテーション)	-	-	-	平成20	東京都文京区 大塚3-29-1	令和2年 学生募集停止
生涯発達科学専攻 (博士後期課程)	3	-	-	-	博士 (生涯発達科学) (カウンセリング科学) (リハビリテーション科学)	-	-	-	平成20	同上	令和2年 学生募集停止

ヒューマン・ケア科学専攻 (後期3年の課程のみの博士課程)	3	-	-	-	博士 (教育学) (心理学) (ヒューマン・ケア科学) (体育科学) (公衆衛生学) (学術)	-	-	-	平成20	茨城県つくば市 天王台1-1-1	令和2年 学生募集停止
感性認知脳科学専攻 (博士前期課程)	2	-	-	-	修士 (感性科学) (行動科学) (神経科学) (学術)	-	-	-	平成20	同上	令和2年 学生募集停止
感性認知脳科学専攻 (博士後期課程)	3	-	-	-	博士 (感性科学) (行動科学) (神経科学) (学術)	-	-	-	平成20	同上	令和2年 学生募集停止
スポーツ医学専攻 (後期3年の課程のみの博士課程)	3	-	-	-	博士 (スポーツ医学) (学術)	-	-	-	平成20	同上	令和2年 学生募集停止
生命システム医学専攻 (医学を履修する博士課程)	4	-	-	-	博士 (医学) (学術)	-	-	-	平成20	同上	令和2年 学生募集停止
疾患制御医学専攻 (医学を履修する博士課程)	4	-	-	-	博士 (医学) (学術)	-	-	-	平成20	同上	令和2年 学生募集停止
看護科学専攻 (博士前期課程)	2	-	-	-	修士 (看護科学)	-	-	-	平成19	同上	令和2年 学生募集停止
看護科学専攻 (博士後期課程)	3	-	-	-	博士 (看護科学)	-	-	-	平成21	同上	令和2年 学生募集停止
体育学専攻 (博士前期課程)	2	-	-	-	修士 (体育学) (コーチング学) (スポーツリハビリ学)	-	-	-	平成20	同上	令和2年 学生募集停止
体育科学専攻 (博士後期課程)	3	-	-	-	博士 (体育科学) (健康スポーツ科学) (学術)	-	-	-	平成20	同上	令和2年 学生募集停止
コーチング学専攻 (後期3年の課程のみの博士課程)	3	-	-	-	博士 (コーチング学) (学術)	-	-	-	平成18	同上	令和2年 学生募集停止
芸術専攻 (博士前期課程)	2	-	-	-	修士 (芸術学) (デザイン学)	-	-	-	平成19	同上	令和2年 学生募集停止
芸術専攻 (博士後期課程)	3	-	-	-	博士 (芸術学) (デザイン学)	-	-	-	平成19	同上	令和2年 学生募集停止
世界遺産専攻 (博士前期課程)	2	-	-	-	修士 (世界遺産学) (学術)	-	-	-	平成19	同上	令和2年 学生募集停止
世界文化遺産学専攻 (博士後期課程)	3	-	-	-	博士 (世界遺産学) (学術)	-	-	-	平成18	同上	令和2年 学生募集停止
ｽﾎｰﾝ国際開発学共同専攻 (修士課程)	2	-	-	-	修士 (ｽﾎｰﾝ国際開発学)	-	-	-	平成28	同上	令和2年 学生募集停止
大学体育ｽﾎｰﾝ高度化共同専攻 (後期3年の課程のみの博士課程)	3	-	-	-	博士 (体育スポーツ学)	-	-	-	平成28	同上	令和2年 学生募集停止
国際連携食料健康科学専攻 (修士課程)	2	-	-	-	修士 (食料健康科学)	-	-	-	平成29	同上	令和2年 学生募集停止
図書館情報メディア研究科	-	-	-	-	修士	-	-	-	平成15		令和2年学生募集停止
図書館情報メディア専攻 (博士前期課程)	2	-	-	-	(図書館情報学) (情報学)	-	-	-	平成15	茨城県つくば市 春日1-2	令和2年 学生募集停止
図書館情報メディア専攻 (博士後期課程)	3	-	-	-	博士 (図書館情報学) (情報学) (学術)	-	-	-	平成15	同上	令和2年 学生募集停止
大学院全体	-	2,499	-	5,773	-	-	-	-	-	-	-
(M)	2	1,806	-	3,612		1.02	1.00				
(D)	3	531	-	1,593		0.93	0.90				
	4	80	-	320		1.12	1.16				
	5	16	-	80		1.02	1.25				
(P)	2	30	-	60		1.11	1.06				
	3	36	-	108		1.07	0.97				

- (注) ・本調査の対象となっている大学等の設置者が既に設置している全ての大学、大学院、短期大学及び高等専門学校についてそれぞれの学校ごとに、報告年度の5月1日現在の状況を記入してください(専攻科及び別科を除く)。
・学部の学科または研究科の専攻等、「入学定員を定めている組織」ごとに全ての組織を記入してください。
※「入学定員を定めている組織」ごとには、課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めず、履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。
・本年度AC対象となる学部等については、必ず下線を引いてください。
・「平均入学定員超過率」には、報告年度(令和4年度)から起算した修業年限に相当する期間の入学定員超過率の平均を記載してください。
・「備考」の欄については、学年進行中の入学定員の増減や学生募集停止など、収容定員に影響のある情報を記入してください。

5 教員組織の状況

<人文社会ビジネス科学学術院 ビジネス科学研究群 博士後期課程>

(1) 一① 担当教員表
掲載省略

(1) 一② 担当教員表に関する変更内容
掲載省略

(2) 専任教員数等

(2) - ① 設置基準上の必要専任教員数

完成年度時における 設置基準上の必要研究 指導教員数	うち、完成年度時に おける設置基準上の 必要教授数	完成年度時における 設置基準上の必要研究 指導補助教員数
6	4	4
名	名	名

(注) ・ 大学院に専攻ごとに置くものとする教員の数について定める件（平成十一年九月十四日文部省告示第七十五号）により算出される教員数を記入してください。

(2) - ② 専任教員等数【大学院】

設置時の計画						現在（報告時）の状況					
教授	准教授	講師	助教	計 (A)	助手 (A')	教授	准教授	講師	助教	計 (B)	助手 (B')
20	11	0	0	31	0	17	13	0	0	30	0
(21)	(11)	(0)	(0)	(32)	(0)						
研究指導教員 数	研究指導補助 教員数	講義のみ担当 の教員数	/			研究指導教員 数	研究指導補助 教員数	講義のみ担当 の教員数	/		
29	0	2				27	0	3			
(30)	(0)	(2)									
現在（報告時）の完成年度時の状況						現在（報告時）の完成年度時の計画					
教授	准教授	講師	助教	計 (C)	助手 (C')	教授	准教授	講師	助教	計 (D)	助手 (D')
17	13	0	0	30	0	17	13	0	0	30	0
[Δ3]	[2]	[0]	[0]	[Δ1]	[0]	[Δ3]	[2]	[0]	[0]	[Δ1]	[0]
研究指導教員 数	研究指導補助 教員数	講義のみ担当 の教員数	/			研究指導教員 数	研究指導補助 教員数	講義のみ担当 の教員数	/		
27	0	3				27	0	3			
[Δ2]	[0]	[1]				[Δ2]	[0]	[1]			

(注) ・ 「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、() 内に開設時の状況を記入してください。
 ・ 「現在（報告時）の状況」には、報告年度の5月1日の教員数（実人数）を記入してください。
 ・ 「現在（報告時）の完成年度時の状況」には、認可で設置された学部等の場合は、「現在（報告時）の状況」に記入した数字に、教員審査を受審済みであり、完成年度までに就任する教員数を加えた数を、届出で設置された学部等の場合は、「現在（報告時）の状況」に記入した数字に、完成年度までに就任することが決定している教員数を加えた数を記入するとともに、[] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：Δ1）
 ・ 「現在（報告時）の完成年度時の計画」には、予定されている完成年度時の人数を記入するとともに、[] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：Δ1）
 ・ 専門職大学院の場合は、「研究指導教員」を「研究者教員」と、「研究指導補助教員」を「実務家教員」と修正して記入してください。

(2) - ③ 年齢構成

年齢構成		
定年規定の定める 定年年齢（歳）	報告時（上記 (B)）の教員の うち、定年を延長 して採用している 教員数	完成年度時（上記 (C)）の教員う ち、定年を延長し て採用する教員数
65	0	0
歳	名	名

(注) ・ 「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢（特例等による定年年齢ではありません）、及び、報告年度の5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数及び完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数を記入してください。
 ・ なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二重書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。

(2) - ④ 設置時の計画に対する教員充足率

$$\frac{\text{現在（報告時）の完成年度時の状況(C)}}{\text{設置時の計画(A)}} = \frac{30}{31} = \boxed{96.77} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2) - ⑤ 現在（報告時）の状況における定年を延長している教員構成率

$$\frac{\text{報告時の教員のうち、定年を延長して採用している教員数}}{\text{現在（報告時）の状況(B)}} = \frac{0}{30} = \boxed{0} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2) - ⑥ 設置時の計画に対する助手充足率

$$\frac{\text{現在（報告時）の完成年度時の状況(C')}}{\text{設置時の計画(A')}} = \frac{0}{0} = \boxed{\#DIV/0!} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) 専任教員辞任等の理由

(3) - ① 専任教員の就任辞退（未就任）の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	就任辞退（未就任）の理由			
		該当無し								
合計（D）					後任補充状況の集計（E）					
就任を辞退した教員数		担当科目数の合計（a）+（b）+（c）			①の合計数（a）	②の合計数（b）	③の合計数（c）			
0	人	必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	0	科目	計	0	科目	計	0	科目

- (注) ・ 認可時又は届出時以降、就任を辞退した全ての専任教員の就任辞退の理由を具体的に記入してください。
- ・ 「就任辞退（未就任）」とは、認可又は届出時に就任予定としながら、実際には就任しなかった教員のことで、就任した後に辞任した教員は、以下「(3) - ②専任教員辞任の理由及び後任補充状況」に記入してください。
 - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに就任を辞退した場合、赤字にて記入するとともに、「就任辞退（未就任）の理由」に就任辞退の理由等及び（ ）書きで報告年度を記入してください。
 - ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」
- ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
- ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) - ② 専任教員辞任の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由			
		掲載省略								
合計（F）					後任補充状況の集計（G）					
辞任した教員数		担当科目数の合計（a）+（b）+（c）			①の合計数（a）	②の合計数（b）	③の合計数（c）			
4	人	必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	52	科目	選択	52	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	52	科目	計	52	科目	計	0	科目

- (注) ・ 一度就任した後に、**定年による退職以外の理由で辞任した全ての専任教員について**に記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等及び（ ）書きで報告年度を記入してください。
 - ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」
- ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
- ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) - ③ 上記 (3) - ① ・ (3) - ② の合計

合計（D）+（F）					後任補充状況の集計（E）+（G）					
辞任等した教員数		担当科目数の合計（a）+（b）+（c）			①の合計数（a）	②の合計数（b）	③の合計数（c）			
4	人	必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	52	科目	選択	52	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	52	科目	計	52	科目	計	0	科目

(3) - ④ 設置時の計画に対する教員辞任率

$$\frac{(3)-③合計(D)+(F)}{(2)-②設置時の計画(A)} = \frac{4}{31} = \boxed{12.9} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) -⑤ 令和3年度報告書から、新たに辞任等した専任教員等の状況

人

(注) ・ (3) -①、(3) -②で赤字で記載した専任教員数の合計数を記載してください。

(3) - ⑥ 定年により退職した専任教員に対する後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由				
		該当なし								
合計					後任補充状況の集計					
辞任した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		①の合計数 (a)		②の合計数 (b)		③の合計数 (c)		
0	人	必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	0	科目	計	0	科目	計	0	科目

- (注) ・ **定年により退職した全ての専任教員**について記入してください。
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、**赤字**にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等及び()書きで報告年度を記入してください。
 ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

・ 専任教員が担当する(している)場合は「①」
 ・ 兼任兼任教員が担当する(している)場合は「②」
 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

(R2) 該当なし
 (R3) 3名が辞任となったが、担当科目42科目はすべて専任教員が担当しており、学生の履修等への影響はない。学生には開設授業科目一覧等により変更内容を周知している。
 (R4) 1名が急逝した。当該教員の担当科目10科目はすべて専任教員が担当している。また、新規教員として准教授2人を配置しており、学生の履修等への影響はない。学生には開設授業科目一覧等により変更内容を周知している。

- (注) ・ 上記(3)の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能な限り具体的に記入してください。

6 附帯事項等に対する履行状況等

区 分	附 帯 事 項 等	履 行 状 況	今後の の実施計画
事前伺い時 (令和元年)	該当無し		
設置計画履行状況 調査結果 (令和2年)	該当無し		
設置計画履行状況 調査結果 (令和3年)	該当無し		

- (注) ・ 「認可時」には、認可時または届出時に付された附帯事項（学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る附帯事項を除く。）と、それに対する履行状況等について、具体的に記入してください。
- ・ 「設置計画履行状況調査結果」には、当該年度の調査の結果、**当該大学に付された指摘を**全て記入するとともに、付された指摘に対する履行状況等について、具体的に記入してください。その履行状況等の参考となる資料があれば、添付してください。
 - ・ 「履行状況」では、履行中であれば「履行中」、履行が完了していれば「履行済」を選択してください。
 - ・ 該当がない場合には、「附帯事項等」の部分に「該当なし」と記入してください。
 - ・ 「設置計画履行状況調査結果」には、当該調査の実施年度の年を記入してください。

7 その他全般的事項

<人文社会ビジネス科学学術院 ビジネス科学研究群（博士後期課程）>

(1) 設置計画変更事項等

設置時の計画	変更内容・状況、今後の見通しなど
	該当無し

(注) ・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの（未実施を含む。）及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。

(2) 教員の資質の維持向上の方策（FD・SD活動含む）

<p>① 実施体制</p> <p>a 委員会の設置状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全学的な教員の資質の維持向上のため、全学組織である教学マネジメント室に教育力向上部門を設置するとともに「筑波大学ファカルティ・ディベロップメント活動の実施に関する要項」を制定し、全学的なFD活動の推進を行っている。（別紙1,2を参照） ・部局FDについては、「筑波大学大学院学則に基づく人文社会ビジネス科学学術院細則（別紙3）」第11条に基づき、研究群に置く学位プログラムの学位プログラムリーダー及び教務担当委員を中心とした実施体制を構築しているほか、学位プログラムごとに部局FD担当教員を選任し、学位プログラム教育会議においてFD活動関連の情報共有を図っている。 <p>b 委員会の開催状況（教員の参加状況含む）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教学マネジメント室運営会議を月1回開催し、全学FDの企画及び運営を行っている。 ・学位プログラム教育会議を月1回開催し、FD活動関連の状況を共有している。 <p>c 委員会の審議事項等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教学マネジメント室教育力向上部門は、全学的なファカルティ・ディベロップメントの企画及び実施並びに部局におけるファカルティ・ディベロップメント活動の支援に関することを業務としている。 ・学位プログラム教育会議は、教育課程の編成やその他学位プログラムリーダーが必要と認める事項を審議事項としており、これには授業評価アンケートの実施、担当教員へのフィードバック、学生のニーズを踏まえた教育課程の改善も含まれている。 <p>② 実施状況</p> <p>a 実施内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全学FD研修会の企画及び運営（教学マネジメント室教育力向上部門） ・学生の履修希望分野や科目のニーズ等の把握（学位プログラム教育会議） ・研究指導が適切に行われているかどうかの自己検証・評価（学位プログラム教育会議） <p>b 実施方法</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全学FD研修会の開催（教学マネジメント室教育力向上部門） ・授業評価アンケートの実施および検証（学位プログラム教育会議） ・学内研究会、論文審査会等において実施する学生ニーズ等の把握（学位プログラム教育会議） ・毎月の教育会議による情報共有及び検証（学位プログラム教育会議） <p>c 開催状況（教員の参加状況含む）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全学FD研修会：全学的に実施している学位プログラムのモニタリング及びプログラムレビューの結果等も踏まえて全学FD研修会を企画・実施している。令和2年度は全16回の全学FD研修会を実施した。 ・授業終了時における授業評価アンケート実施（対象：全授業科目）

- ・毎月開催の教育会議における情報共有及び検証（対象：原則として学位プログラムを担当する全専任教員が参加）

d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況

- ・授業評価アンケートの結果については担当教員にフィードバックし、授業の内容や方法を自己点検する基本情報として活用する

③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況

a 実施の有無及び実施時期

- ・すべての授業科目を対象に、各授業科目終了時に実施

b 教員や学生への公開状況、方法等

- ・ 毎月の教育会議による情報共有及び検証
- ・ 次年度科目の開設やカリキュラム編成等に反映

(注) ・「①a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。

「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。（記入例参照）

(3) 教育課程連携協議会に関する事項

※専門職大学、専門職短期大学、専門職大学院以外は「該当なし」と記入ください。

該当なし

(4) 自己点検・評価等に関する事項

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

設置の趣旨に沿い、令和2年4月にビジネス科学研究群（博士後期課程）を設置し、必要な教員配置及び授業科目の開設等を行い、令和2年度は22名、令和3年度は17名、令和4年度は21名の入学者を迎えることができた。

設置申請時に作成した「設置の趣旨等を記載した書類」は全学的に配付・周知されており、また、当該書類に記載した改革の要点をまとめた大学院改革パンフレットも制作・公表している。

さらに、令和2年度からは、教学マネジメントの確立のため、学位プログラムごとに入口から出口にわたる教育の実施状況と改善の取組に関する点検・評価を行うモニタリング及びプログラムレビューを全学的に開始した（大学院については令和2年度に試行、令和3年度から正式導入）。今後も、新たな教育システムの下、本研究群が大学院の担うべき重要な使命を果たし、設置の趣旨に違わぬ効果をあげるため、より一層の努力をしていきたい。

② 自己点検・評価報告書

a 公表（予定）時期

- ・令和3年度中 筑波大学年次報告書の公表

※前年度の各教育組織の状況の評価した結果を基に作成するため、令和3年度から公表開始

b 公表方法

- ・筑波大学年次報告書は、大学ウェブサイトにおいて毎年公表している。

③ 認証評価を受ける計画

- ・平成29年度に大学改革支援・学位授与機構による機関別認証評価を受け、「大学設置基準をはじめ関係法令に適合し、大学改革支援・学位授与機構が定める大学評価基準を満たしている」との結果を得た。

- ・次回は令和6年度までに受審する予定である。

- (注) ・ 設置時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。
また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。
なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

(5) 情報公表に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書（令和4年度）

a 公表予定の有無 [有 ・ 無]

≪ aで「有」の場合≫

b 公表（予定）時期 [調査結果公表後1ヶ月以内]

c 公表方法 [ウェブサイトへの掲載]

≪ aで公表「無」の場合≫

d 公表しない理由 []

※設置計画が各大学等が社会に対して着実に実現していく構想を表したものであることに鑑み、
設置計画履行状況報告書については、各大学等のウェブサイト公表するなど、積極的な情報提供をお願いします。

1 調査対象大学等の概要等

(1) 設置者

国立大学法人筑波大学

(2) 大学名

筑波大学大学院

(3) 調査対象大学等の位置

〒112-0012
東京都文京区大塚3丁目29-1
(〒305-8577
茨城県つくば市天王台一丁目1番1)

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を()書きで記入してください。
・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

(4) 管理運営組織

職名	設置時	変更状況	備考
学長	(ナガタ キョウスケ) 永田 恭介 (平成25年4月)		
学術院長	(ニシオ チヅル) 西尾 チヅル (令和2年4月)	(タケナカ ヨシヒコ) 竹中 佳彦 (令和4年4月)	任期満了のため変更、令和4年4月1日(4)
研究群長	(タムラ ヨウコ) 田村 陽子 (令和2年4月)	(ヒメノ ヒロアキ) 姫野 博昭 (令和4年4月)	任期満了のため変更、令和4年4月1日(4)

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を()書きで記入してください。

(例) 令和3年度に報告済の内容 → (3)

令和4年度に報告する内容 → (4)

- ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
- ・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
- ・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。

(5) 調査対象学部等の名称、定員、入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部・学科または研究科の専攻等、定員を定めている組織ごとに記入してください（入試区分ごとではありません）。
- ・ なお、課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は、法令上規定されている最小単位（大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」）のほか、それらのコースや専攻単位でも記載したものを、別ファイルにて提出してください（作成方法は、事務連絡「令和4年度の履行状況報告書の提出について（依頼）」を確認してください）。
- ・ 様式は、平成30年度開設の4年制の学科の完成年度を越えて報告する場合（令和4年度までの5年間）ですが、完成年度を越えている場合は別途ご連絡ください。
- ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
- ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。

(5) - ① 調査対象学部等の名称等

調査対象学部等の名称（学位）	学位又は学科の分野	設置時の計画				学生募集の停止について	備考
		修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員		
人文社会ビジネス科学術院 法曹専攻（専門職学位課程） 法務博士（専門職）	法曹養成関係	3年	36人	-人	108人	新規入学者を募集中	

- (注) ・ 定員を変更した場合は、「備考」に変更前の人数、変更年月及び報告年度を（ ）書きで記入してください。
- ・ 基礎となる学部等がある場合には、「備考」に基礎となる学部等の名称を記入してください。
- ・ 「学位又は学科の分野」には、「認可申請書」又は「設置届出書」の「教育課程等の概要（別記様式第2号（その2の1））」の「学位又は学科の分野」と同様に記入してください。
- ・ 学生募集停止を予定している場合は、「学生募集の停止について」で「新規入学者を募集停止予定」を選択するとともに、「備考」に「令和〇年度から学生募集停止（予定）」と記載してください。

(5) - ② 調査対象学部等の入学者の状況

区分	平成30年度		令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		平均入学定員超過率	開設年度から報告年度までの平均入学定員超過率	備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期			
A 入学定員					36 (-) [-]		36 (-) [-]		36 (-) [-]		1.07倍	-倍	
志願者数					122 (-) [-]	- (-) [-]	117 (-) [-]	- (-) [-]	168 (-) [-]				
受験者数					114 (-) [-]	- (-) [-]	104 (-) [-]	- (-) [-]	149 (-) [-]				
合格者数					46 (-) [-]	- (-) [-]	43 (-) [-]	- (-) [-]	40 (-) [-]				
B 入学者数					42 (-) [-]	- (-) [-]	39 (-) [-]	- (-) [-]	35 (-) [-]				
入学定員超過率 B/A					1.16		1.08		0.97				

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。（過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。）
- ・ （ ）内には、編入学の状況について外数で記入してください。なお、編入学を複数年度で行っている場合には、（（ ）書きとするなどし、その旨を「備考」に付記してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
- ・ 転入学生は記入しないでください。
- ・ []内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
- ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
- ・ 「入学定員超過率」については、各年度の春季入学とその他の学期を合計した入学定員、入学者数で算出してください。なお、計算の際は小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。
- ・ 「平均入学定員超過率」には、開設年度から報告年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。計算の際は「入学定員超過率」と同様にしてください。なお、完成年度を越えて報告書を提出する大学等は、報告年度（令和4年度）から起算した修業年限に相当する期間の入学定員超過率の平均を記載してください。
- ・ 「開設年度から報告年度までの平均入学定員超過率」は、完成年度を越えて報告書を提出する大学等のみ記入してください。完成年度を越えていない場合は「-」を記入してください。

(5) - ③ 調査対象学部等の在学者の状況

対象年度 学 年	平成30年度		令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1年次					34 [-] (-)	- [-] (-)	27 [-] (-)	- [-] (-)	27 [-] (-)	- [-] (-)	既修者コースの学生は2年次及び3年次に計上。
2年次					6 [-] (-)	- [-] (-)	42 [-] (-)	- [-] (-)	36 [-] (-)	- [-] (-)	
3年次							6 [-] (-)	- [-] (-)	40 [-] (-)	- [-] (-)	
4年次											
計	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	40 [-] (-)		75 [-] (-)		103 [-] (-)		

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ []内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
 - ・ ()内には、留年者の状況について、内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 - ・ 編入学生や転入学生も含めて記入してください。その際、備考欄に人数の内訳を記入してください。
 - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 - ・ 「計」については、各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数を記入してください。

(5) -④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	在学者数(b)	退学者数(a)	内訳			主な退学理由 (留学生の理由は[]書き)
			入学した年度	退学者数		
				うち留学生数		
平成30年度	- 人	- 人	平成30年度	- 人	- 人	
令和元年度	- 人	- 人	平成30年度	- 人	- 人	
			令和元年度	- 人	- 人	
令和2年度	42 人	3 人	平成30年度	- 人	- 人	
			令和元年度	- 人	- 人	
			令和2年度	3 人	0 人	経済的(1人)、その他(2人)
令和3年度	78 人	5 人	平成30年度	- 人	- 人	
			令和元年度	- 人	- 人	
			令和2年度	1 人	0 人	その他(1人)
			令和3年度	4 人	0 人	除籍(1人)、その他(2人)、病気(1人)
令和4年度	103 人	0 人	平成30年度	- 人	- 人	
			令和元年度	- 人	- 人	
			令和2年度	0 人	0 人	
			令和3年度	0 人	0 人	
			令和4年度	0 人	0 人	
合 計		8 人		8 人	0 人	

- (注)・数字は、報告年度の5月1日現在の数字を記入してください。
- 各対象年度の在学者数については、対象年度の人数を記入してください。(在学者数から退学者数を減らす必要はありません。)
 - 内訳については、退学した学生が入学した年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
 - 在学者数、退学者数には編入学生や転入学生も含めて記入してください。
 - 「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(〇人)」というように、その人数も含めて記入してください。
 (記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学
 ・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

(5) -⑤ 調査対象学部等の年度ごとの退学者の割合

【平成30年度】

$$\frac{\text{平成30年度の退学者数(a)}}{\text{平成30年度の在学者数(b)}} = \frac{-}{-} = \boxed{\#VALUE!} \%$$

【令和元年度】

$$\frac{\text{令和元年度の退学者数(a)}}{\text{令和元年度の在学者数(b)}} = \frac{-}{-} = \boxed{\#VALUE!} \%$$

【令和2年度】

$$\frac{\text{令和2年度の退学者数(a)}}{\text{令和2年度の在学者数(b)}} = \frac{3}{42} = \boxed{7.14} \%$$

【令和3年度】

$$\frac{\text{令和3年度の退学者数(a)}}{\text{令和3年度の在学者数(b)}} = \frac{5}{78} = \boxed{6.41} \%$$

【令和4年度】

$$\frac{\text{令和4年度の退学者数(a)}}{\text{令和4年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{103} = \boxed{0} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

2 授業科目の概要

<人文社会ビジネス科学学術院 法曹専攻 専門職学位課程>

(1) -① 授業科目表

【設置時又は届出時】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任		
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手			
法律基本科目群	憲法I-A[人権]	1前	2			1							
	憲法I-B[人権]	1前	2			1							
	憲法II[統治]	1前	2									1	
	行政法I	2前	2				1						
	行政法II	2後	2				1						
	民法I[総則・物権総論]	1前	2				1						
	民法II[担保物権]	1後	2									1	
	民法III[債権総論]	1後	2				1						
	民法IV-1[契約法]	1前	2				1						
	民法IV-2[契約法]	1前	2				1						
	民法V[不法行為・不当利得法]	1後	2				1						
	民法VI[家族法]	1前	2									1	
	商法I[企業組織法]	2前	2				1						
	商法II[企業法総論・企業活動法]	2前	2				1						
	民事訴訟法I	1後	3				1						
	刑法I[総論]	1前	2				1						
	刑法II[各論]	1後	2				1						
	刑事訴訟法I	1後	3				1						
	基礎ゼミ	1前			1								1
	基礎ゼミII	1前			1								1
基礎ゼミIII	1後			1								2	
実定法発展科目	憲法III[憲法訴訟]	2後	2			1							
	行政法III	3前	2				1						
	民法VII	2前	2				1					1	
	商法III	2後	2									2	
	民事訴訟法II	2後	2				1						
	刑法III	2前	2				1					1	
	刑事訴訟法II	2前	1				1						1
	憲法総合演習	3前	1									1	
	行政法総合演習	3後	1									1	
	民法総合演習	3前	1				1						
	商法総合演習	3前	1				1						
	民事訴訟法総合演習	3前	1				1						
	民事法総合演習	3後	3				2						

【令和4年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任		
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手			
法律基本科目群	憲法I-A[人権]	1前	2			1							
	憲法I-B[人権]	1前	2				1						
	憲法II[統治]	1前	2										1
	行政法I	2前	2						1				
	行政法II	2前	2							1			
	民法I[総則・物権総論]	1前	2				1	0					
	民法II[担保物権]	1後	2										1
	民法III[債権総論]	1後	2				1	0					
	民法IV-1[契約法]	1前	2				1	0					
	民法IV-2[契約法]	1前	2				1	0					
	民法V[不法行為・不当利得法]	1後	2				1	0					
	民法VI[家族法]	1前	2										1
	商法I[企業組織法]	2前	2							1			
	商法II[企業法総論・企業活動法]	2前	2							1			
	民事訴訟法I	1後	3						1				
	刑法I[総論]	1前	2							1			
	刑法II[各論]	1後	2							1			
	刑事訴訟法I	1後	3							0			1
	基礎ゼミ	1前			1								1
	基礎ゼミII	1前			1								2
基礎ゼミIII (未開講)	1後			1								2	
実定法発展科目	憲法III[憲法訴訟]	2前	2						1				
	行政法III	2-3後	2							1			
	民法VII	2前	2						1	0			1
	商法III	2後	2							1			1
	民事訴訟法II	2前	2						1				
	刑法III	2後	2							1			1
	刑事訴訟法II	2前	1							0			1
	憲法総合演習	2-3前	1										1
	行政法総合演習	2-3後	1										1
	民法総合演習	2-3前	1						1	0			
	商法総合演習	3前	1						0			1	
	民事訴訟法総合演習	2-3前	1						1				
	民事法総合演習	2-3後	3						1	1		1	

倒産法演習	3後	1								1
経済法演習	3前	1								1
労働法演習	3前	1								1
知的財産法演習	3前	1								1
英文法律文書作成	2後	1	1							
企業法務	3後	1								1
少年法	2前	1		1						
自治体法務	3前	1								1
民事執行・保全法	3前	1	1							
国際私法演習	3前	1								1
小計(23科目)		0	32	0	2	2	0	0	0	18
合計(81科目)		71	46	3	6	6	0	0	0	48

卒業要件及び履修方法

法学未修者にあつては3年以上、法学既修者にあつては2年以上在学し、下記の所要単位数を修得した上、最終年次のGPAが1.50以上であること。
 (1)-1 法律基本科目群の実定法基礎科目の38単位(なお法学既修者は、このうち1年次配当科目の30単位を修得したものとみなされる。)及び実定法発展科目にある必修科目24単位はすべて履修
 (2)-1 法律実務基礎科目群の法務基礎科目にある必修科目3単位はすべて履修
 -2 法律実務基礎科目群の法務展開科目にある必修科目6単位はすべて履修
 -3 法律実務基礎科目群の法務展開科目にある選択必修科目のうちから1単位以上を履修
 -4 法律実務基礎科目群の法務臨床科目にある選択必修科目のうちから4単位以上を履修
 (3) 基礎法学・隣接科目群にある選択必修科目のうちから4単位以上を履修
 (4) 展開・先端科目群にある選択必修科目のうちから13単位以上を履修

(履修科目の登録の上限)

- ・下記以外の学生:36単位(年間)。ただし最終年次に限り44単位
- ・長期履修学生:27単位(年間)。ただし最終年次に限り33単位

倒産法演習	2-3後	1								1
倒産法演習(続)	2-3後	1								1
経済法演習	2-3前	1								1
労働法演習	2-3後	1								1
労働法演習(続)	2-3後	1								1
知的財産法演習	2-3前	1								1
知的財産法演習(続)	2-3前	1								1
英文法律文書作成	2後	1	0							2
企業法務	3後	1					0			1
刑事政策	2後	1					0			1
少年法	2後	1					0			1
自治体法務	3前	1								1
民事執行・保全法	3前	1	1							
国際私法演習	2-3後	1								1
国際私法演習(続)	2-3後	1								1
環境法演習	2-3後	2								1
小計(31科目)		0	41	0	1	1	0	0	0	19
合計(88科目)		71	54	3	7	4	0	1	0	50

卒業要件及び履修方法

法学未修者にあつては3年以上、法学既修者にあつては2年以上在学し、下記の所要単位数を修得した上、最終年次のGPAが1.50以上であること。
 (1)-1 法律基本科目群の実定法基礎科目の38単位(なお法学既修者は、このうち1年次配当科目の30単位を修得したものとみなされる。)及び実定法発展科目にある必修科目24単位はすべて履修
 (2)-1 法律実務基礎科目群の法務基礎科目にある必修科目3単位はすべて履修
 -2 法律実務基礎科目群の法務展開科目にある必修科目6単位はすべて履修
 -3 法律実務基礎科目群の法務展開科目にある選択必修科目のうちから1単位以上を履修
 -4 法律実務基礎科目群の法務臨床科目にある選択必修科目のうちから4単位以上を履修
 (3) 基礎法学・隣接科目群にある選択必修科目のうちから4単位以上を履修
 (4) 展開・先端科目群にある選択必修科目のうちから13単位以上を履修

(履修科目の登録の上限)

- ・下記以外の学生:36単位(年間)。ただし最終年次に限り44単位
- ・長期履修学生:27単位(年間)。ただし最終年次に限り33単位

【令和2年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任									
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手										
法律基本科目群	憲法I-A[人権]	1前	2			1														
	憲法I-B[人権]	1前	2			1														
	憲法II[統治]	1前	2																	1
	行政法I	2前	2				1													
	行政法II	2後	2				1													
	民法I[総則・物権総論]	1前	2				1													
	民法II[担保物権]	1後	2																	1
	民法III[債権総論]	1後	2				1													
	民法IV-1[契約法]	1前	2				1													
	民法IV-2[契約法]	1前	2				1													
	民法V[不法行為・不当利得法]	1後	2				1													
	民法VI[家族法]	1前	2																	1
	商法I[企業組織法]	2前	2				1													
	商法II[企業法総論・企業活動法]	2前	2				1													
	民事訴訟法I	1後	3				1													
	刑法I[総論]	1前	2				1													
	刑法II[各論]	1後	2				1													
	刑事訴訟法I	1後	3				1													1
	基礎ゼミ	1前			1															1
	基礎ゼミII	1前			1															2
基礎ゼミIII	1後			1															2	
実定法発展科目	憲法III[憲法訴訟]	2後	2			1														
	行政法III	3前	2				1													
	民法VII	2前	2				1													1
	商法III	2後	2				1													1
	民事訴訟法II	2後	2				1													
	刑法III	2後	2				1													1
	刑事訴訟法II	2前	1				1													1
	憲法総合演習	3前	1																	1
	行政法総合演習	3後	1																	1
	民法総合演習	3前	1				1													
	商法総合演習	3前	1				1													
	民事訴訟法総合演習	3前	1				1													
	民事法総合演習	3後	3				2													1
	刑法総合演習I	3前	1				1													
	刑法総合演習II	3前	1																	1
刑事訴訟法総合演習	3前	1				1														
小計(37科目)			62	0	3	5	6	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	14	

【令和3年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任									
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手										
法律基本科目群	憲法I-A[人権]	1前	2			1														
	憲法I-B[人権]	1前	2			1														
	憲法II[統治]	1前	2																	1
	行政法I	2前	2				1													
	行政法II	2後	2				1													
	民法I[総則・物権総論]	1前	2				1	0												
	民法II[担保物権]	1後	2																	1
	民法III[債権総論]	1後	2				1													
	民法IV-1[契約法]	1前	2				1													
	民法IV-2[契約法]	1前	2				1													
	民法V[不法行為・不当利得法]	1後	2				1	0												
	民法VI[家族法]	1前	2																	1
	商法I[企業組織法]	2前	2				1													
	商法II[企業法総論・企業活動法]	2前	2				1													
	民事訴訟法I	1後	3				1													
	刑法I[総論]	1前	2				1													
	刑法II[各論]	1後	2				1													
	刑事訴訟法I	1後	3				1	0												1
	基礎ゼミ	1前			1															1
	基礎ゼミII	1前			1															2
基礎ゼミIII(未開講)	1後			1															2	
実定法発展科目	憲法III[憲法訴訟]	2後	2			1														
	行政法III	3前	2				1													
	民法VII	2前	2				1	0												1
	商法III	2後	2				1													1
	民事訴訟法II	2後	2				1													
	刑法III	2後	2				1													1
	刑事訴訟法II	2前	1				1	0												1
	憲法総合演習	3前	1																	1
	行政法総合演習	3後	1																	1
	民法総合演習	3前	1				1	0												
	商法総合演習	3前	1				1													
	民事訴訟法総合演習	3前	1				1													
	民事法総合演習	3後	3				2	1												1
	刑法総合演習I	3前	1				1													
	刑法総合演習II	3前	1																	1
刑事訴訟法総合演習	3前	1				1														
小計(37科目)			62	0	3	6	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	15	

法律実務基礎科目群	法務基礎科目	法曹実務基礎	1前	1			1												2	
		法曹倫理I	2前	1			1													
		法曹倫理II	2後	1																2
	法務展開科目	民事訴訟実務の基礎I	2前	2			1													
		刑事訴訟実務の基礎I	2前	2			1													
		要件事実論I	2前	1			1													
		要件事実論II	2後	1			1													
		民事訴訟実務の基礎II	3前	1			0	1												
		刑事訴訟実務の基礎II	3前	1																1
	法務臨床科目	民事模擬裁判	3前	1			1	1												1
		刑事模擬裁判	3休	1			1													2
		ロイヤリングI	3前	1			1													
		ロイヤリングII	3前	1			1													1
		リーガルクリニック	2・3通	1			0	1												5
小計(14科目)				9	7	0	3	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	11	
基礎法学・隣接科目群	基礎法学・隣接科目	法哲学	1・2前	1																1
		英米法	1・2後	1																1
		EU法	2後	1																1
		法史学	1・2前	1																1
		公共政策	1・2前	1																1
		立法学	1・2後	1																1
小計(6科目)				0	6	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	6	
展開・先端科目群	展開・先端科目	知的財産法	2前	2																1
		倒産法	2・3前	2																1
		国際取引法	2・3前	2			1													1
		国際私法	2前	2																1
		経済法	2前	2																1
		租税法	2前	2																1
		労働法	2前	2																1
		環境法	2・3前	2																1
		金融法〔金融監督法・金融取引法〕	3後	1																2
		国際公法	2後	2																1
		地方自治	3後	1																1
		金融商品取引法	3後	1			1													1
		消費者法	2前	1																1
		倒産法演習	3後	1																1
		経済法演習	3前	1																1

法律実務基礎科目群	法務基礎科目	法曹実務基礎	1前	1			1													2	
		法曹倫理I	2前	1			1														
		法曹倫理II	2後	1																	2
	法務展開科目	民事訴訟実務の基礎I	2前	2			1														
		刑事訴訟実務の基礎I	2前	2			1														
		要件事実論I	2前	1			0	1													
		要件事実論II	2後	1			2														
		民事訴訟実務の基礎II	3前	1			0	1													
		刑事訴訟実務の基礎II	3前	1																1	
	法務臨床科目	民事模擬裁判	3前	1			2	1			1									1	
		刑事模擬裁判	3休	1			1													2	
		ロイヤリングI	3前	1			1														
		ロイヤリングII	3前	1			2	1												0	
		リーガルクリニック	2・3通	1			1	1			1									5	
小計(14科目)				9	7	0	3	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	11		
基礎法学・隣接科目群	基礎法学・隣接科目	法哲学	1・2前	1																1	
		英米法	1・2後	1																1	
		EU法	2後	1																1	
		法史学	1・2前	1																1	
		公共政策	1・2前	1																1	
		立法学	1・2後	1																1	
小計(6科目)				0	6	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	6		
展開・先端科目群	展開・先端科目	知的財産法	2前	2																1	
		倒産法	2・3前	2																1	
		国際取引法	2・3前	2			1													1	
		国際私法	2前	2																1	
		経済法	2前	2																0	
		租税法	2前	2																1	
		労働法	2前	2																1	
		環境法	2・3前	2																1	
		金融法〔金融監督法・金融取引法〕	3後	1																2	
		国際公法	2後	2																1	
		地方自治	3後	1																1	
		金融商品取引法	3後	1			1													1	
		消費者法	2前	1																1	
		倒産法演習	3後	1																1	
		経済法演習	3前	1																1	

労働法演習	3前	1								1
知的財産法演習	3前	1								1
英文法律文書作成	2後	1	1							
企業法務	3後	1								1
刑事政策	2後	1		1						
少年法	2前	1		1						
自治体法務	3前	1								1
民事執行・保全法	3前	1	1							
国際私法演習	3前	1								1
小計(24科目)		0	33	0	2	2	0	0	0	18
合計(81科目)		71	46	3	6	7	0	0	0	49
卒業要件及び履修方法										
<p>法学未修者にあつては3年以上、法学既修者にあつては2年以上在学し、下記の所要単位数を修得した上、最終年次のGPAが1.50以上であること。</p> <p>(1)-1 法律基本科目群の実定法基礎科目の38単位(なお法学既修者は、このうち1年次配当科目の30単位を修得したものとみなされる。)及び実定法発展科目にある必修科目24単位はすべて履修</p> <p>(2)-1 法律実務基礎科目群の法務基礎科目にある必修科目3単位はすべて履修 -2 法律実務基礎科目群の法務展開科目にある必修科目6単位はすべて履修 -3 法律実務基礎科目群の法務展開科目にある選択必修科目のうちから1単位以上を履修 -4 法律実務基礎科目群の法務臨床科目にある選択必修科目のうちから4単位以上を履修</p> <p>(3) 基礎法学・隣接科目群にある選択必修科目のうちから4単位以上を履修 (4) 展開・先端科目群にある選択必修科目のうちから13単位以上を履修</p> <p>(履修科目の登録の上限) ・下記以外の学生:36単位(年間)。ただし最終年次に限り44単位 ・長期履修学生:27単位(年間)。ただし最終年次に限り33単位</p>										

労働法演習	3前	1								1
知的財産法演習	3前	1								1
英文法律文書作成	2後	1	1							
企業法務	3後	1								1
刑事政策	2後	1			0					1
少年法	2前	1			0					1
自治体法務	3前	1								1
民事執行・保全法	3前	1	1							
国際私法演習	3前	1								1
小計(24科目)		0	33	0	2	1	0	0	0	18
合計(81科目)		71	46	3	7	5	0	1	0	49
卒業要件及び履修方法										
<p>法学未修者にあつては3年以上、法学既修者にあつては2年以上在学し、下記の所要単位数を修得した上、最終年次のGPAが1.50以上であること。</p> <p>(1)-1 法律基本科目群の実定法基礎科目の38単位(なお法学既修者は、このうち1年次配当科目の30単位を修得したものとみなされる。)及び実定法発展科目にある必修科目24単位はすべて履修</p> <p>(2)-1 法律実務基礎科目群の法務基礎科目にある必修科目3単位はすべて履修 -2 法律実務基礎科目群の法務展開科目にある必修科目6単位はすべて履修 -3 法律実務基礎科目群の法務展開科目にある選択必修科目のうちから1単位以上を履修 -4 法律実務基礎科目群の法務臨床科目にある選択必修科目のうちから4単位以上を履修</p> <p>(3) 基礎法学・隣接科目群にある選択必修科目のうちから4単位以上を履修 (4) 展開・先端科目群にある選択必修科目のうちから13単位以上を履修</p> <p>(履修科目の登録の上限) ・下記以外の学生:36単位(年間)。ただし最終年次に限り44単位 ・長期履修学生:27単位(年間)。ただし最終年次に限り33単位</p>										

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ 認可申請書又は設置届出書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
 - ・ 各欄の作成方法は「大学の設置等に係る提出書類作成の手引き」の「教育課程等の概要」を確認してください。
 - ・ 「認可時又は届出時」には 設置認可時又は届出時の授業科目全て(兼任、兼担教員が担当する科目を含む。)を黒字で記入してください。その上で、各年度については、認可時又は届出時から変更となっている箇所は**太字の赤字**としてください。
 - ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても科目名の後ろに「(未開講)」として記入してください。
 - ・ 1ページ目には認可時又は届出時と報告年度2つの表を記入してください。
 - ・ 不要な年度(令和2年度開設であれば令和元年度)の表は適宜削除してください。(2つの表が1ページに表示されるようにしてください。)
 - ・ 専門職大学等の場合、「実験、実習又は実技による授業科目」には「【※】」、「臨地実務実習」による授業科目には「【臨】」、「連携実務演習」による授業科目には「【連】」を授業科目の名称の右側に記入してください。

(1) ②授業科目表に関する変更内容

【令和2年度】

- ・担当教員(兼任)就任辞退に伴う再配置により、「基礎ゼミⅠ」の兼任・兼担教員の配置を「1」から「2」に変更。
- ・担当教員交代により、「商法Ⅲ」の担当教員の配置を「兼任・兼担2」から「准教授1、兼任・兼担1」に変更。
- ・非常勤講師の事情により、「刑法Ⅲ」の配当年次を「2前」から「2後」に変更。
- ・担当教員退職及び就任により、「民事訴訟実務の基礎Ⅰ」の専任教員等の配置を「教授1」から「准教授1」に変更。
- ・担当教員退職及び就任により、「民事模擬裁判」の専任教員等の配置を「教授2」から「教授1、准教授1」に変更。
- ・授業内容充実のため、「ロイヤルⅠ」の担当教員の配置に「兼任・兼担1」を追加。
- ・担当教員退職及び就任並びに指導体制充実のため、「リガルニック」の専任教員等の配置を「教授1」から「准教授1」に、兼任・兼担教員の配置を「4」から「5」に変更。
- ・授業内容を踏まえ、「刑事政策」を「基礎法学・隣接科目群」から「展開・先端科目群」に変更。
- ・令和5年度司法試験に際して、在学中受験が認められ、2年次までに司法試験選択科目を4単位分履修することが求められることが現実となったため、「倒産法」「国際取引法」「環境法」の配当年次を「3前」から「2・3前」に変更。またこれに伴い、「ロイヤルⅠ」の配当年次を「3後」から「3前」に変更。
- ・非常勤講師の事情により、「国際公法」の配当年次を「2前」から「2後」に変更。
- ・非常勤講師の事情により、「地方自治」の配当年次を「3前」から「3後」に変更。

【令和3年度】

- ・担当教員昇任により、「民法Ⅰ〔総則・物権総論〕」の専任教員等の配置を「准教授1」から「教授1」に変更。
- ・担当教員昇任により、「民法Ⅴ〔不法行為・不当利得法〕」の専任教員等の配置を「准教授1」から「教授1」に変更。
- ・担当教員退職により、「刑事訴訟法Ⅰ」の担当教員の配置を「准教授1」から「兼任・兼担1」に変更。
- ・担当教員昇任により、「民法Ⅶ」の専任教員等の配置を「准教授1」から「教授1」に変更。
- ・担当教員退職により、「刑事訴訟法Ⅱ」の担当教員の配置を「准教授1」から「兼任・兼担1」に変更。
- ・担当教員昇任により、「民法総合演習」の専任教員等の配置を「准教授1」から「教授1」に変更。
- ・授業内容充実のため、「民事法総合演習」の専任教員等の配置に「准教授1」「助教1」を追加。
- ・担当教員交代により、「要件事実論Ⅰ」の専任教員等の配置を「教授1」から「准教授1」に変更。
- ・授業内容充実のため、「要件事実論Ⅱ」の専任教員等の配置を「教授1」から「教授2」に変更。
- ・授業内容充実のため、「民事模擬裁判」の専任教員等の配置の「教授1」を「教授2」に変更、「助教1」を追加。
- ・授業内容充実及び担当教員見直しのため、「ロイヤルⅠ」の担当教員の配置を「教授1」「兼任・兼担1」から「教授2、准教授1」に変更。
- ・授業内容充実のため、「リガルニック」の専任教員等の配置を「准教授1」から「教授1、准教授1」に変更。
- ・担当教員退職により、「刑事政策」の担当教員の配置を「准教授1」から「兼任・兼担1」に変更。
- ・担当教員退職により、「少年法」の担当教員の配置を「准教授1」から「兼任・兼担1」に変更。

【令和4年度】

- ・司法試験在学中受験への対応のため、次の授業科目の配当年次を変更：「行政法Ⅱ」（2後→2前）、「憲法Ⅲ〔憲法訴訟〕」（2後→2前）、「行政法Ⅲ」（3前→2・3後）、「民事訴訟法Ⅰ」（2後→2前）、「憲法総合演習」（3前→2・3前）、「行政法総合演習」（3後→2・3後）、「民法総合演習」（3前→2・3前）、「民事訴訟法総合演習」（3前→2・3前）、「民事法総合演習」（3後→2・3後）、「刑法総合演習Ⅰ」（3前→2・3前）、「刑法総合演習Ⅱ」（3前→2・3前）、「刑事訴訟法総合演習」（3前→2・3前）、「民事訴訟実務の基礎Ⅰ」（2前→2後）、「刑事訴訟実務の基礎Ⅱ」（2前→2後）、「ロイヤルⅡ」（3前→3後）、「法史学」（1・2前→1・2後）、「金融法〔金融監督法・金融取引法〕」（3後→3前）、「地方自治」（3後→3前）、「金融商品取引法」（3後→3前）、「倒産法演習」（3後→2・3後）、「経済法演習」（3前→2・3前）、「労働法演習」（3前→2・3後）、「知的財産法演習」（3前→2・3前）、「少年法」（2前→2後）、「国際私法演習」（3前→2・3後）
- ・司法試験在学中受験への対応のため、次の授業科目を選択科目に追加：「国際私法(続)」「労働法(続)」「倒産法演習(続)」「労働法演習(続)」「知的財産法演習(続)」「国際私法演習(続)」「環境法演習」。
- ・担当教員退職及び新規配置により、「民法Ⅲ〔債権総論〕」の専任教員等の配置を「准教授1」から「教授1」に変更。
- ・担当教員退職及び新規配置により、「民法Ⅳ-1〔契約法〕」の専任教員等の配置を「准教授1」から「教授1」に変更。
- ・担当教員退職及び新規配置により、「民法Ⅳ-2〔契約法〕」の専任教員等の配置を「准教授1」から「教授1」に変更。
- ・担当教員急逝に伴い、「商法総合演習」の専任教員等の配置を「教授1」から「助教1」に変更。
- ・担当教員急逝により、「民事法総合演習」の専任教員等の配置の「教授2」を「教授1」に変更。
- ・担当教員交代により、「法曹実務基礎」の専任教員等の配置を「教授1」から「准教授1」に変更。
- ・担当教員見直しにより、「要件事実論Ⅱ」の専任教員等の配置を「教授2」から「教授1」に変更。
- ・担当教員見直しにより、「ロイヤルⅡ」の担当教員の配置を「教授2、准教授1」から「教授1、助教1」に変更。
- ・担当教員見直しにより、「リガルニック」の兼任・兼担教員の配置を「5」から「4」に変更。
- ・担当教員急逝に伴い、「国際取引法」の担当教員の配置を「教授1」から「兼任・兼担1」に変更。
- ・担当教員急逝に伴い、「英文法律文書作成」の担当教員の配置を「教授1」から「兼任・兼担2」に変更。

- (注) ・ 2(1)①授業科目表に記入された各年度における変更内容(配当年次の変更、専任教員等の配置の変更、授業科目名の変更、新規科目の追加など)を箇条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
- ・ 変更内容には、授業科目の未開講や廃止については記入しないでください。
 - ・ 不要な年度(令和2年度開設であれば令和元年度)の表は適宜削除してください。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計 (A)	必修	選択	自由	計	
41 科目	37 科目	3 科目	81 科目	41 科目 [0]	44 科目 [7]	3 科目 [0]	88 科目 [7]	

(注) ・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、[] 内に、設置時の計画からの増減を記入してください。(記入例：1科目減の場合：△1)

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由、代替措置の有無
1	基礎ゼミIII	1	1後	専門	自由	下記(5)のとおり
2						
3						

- (注) ・ 配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については記入しないでください。
 - ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。
 - ・ 専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎、展開、職業専門、総合」と修正して記入してください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由、代替措置の有無
1						該当無し
2						
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」として記入してください。
 - ・ 専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎、展開、職業専門、総合」と修正して記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

「基礎ゼミIII」は、法学純粋未修者向けの、民事訴訟法と刑事訴訟法の初歩や勉強方法、起案の仕方を学ぶ自由科目である。民事訴訟法科目と刑事訴訟法科目では、いずれも初学者向けの内容から始まり法律すべてを網羅する教育を行っており、令和4年度は「基礎ゼミIII」を開講する必要性がないことから不開講とした。「基礎ゼミIII」は自由科目であり、学生の進級や修了に必要な科目ではなく、学生の履修等への影響はない。学生には開設授業科目一覧等で周知している。

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能な限り具体的に記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目(3)と廃止科目(4)の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計(A)}} = \frac{1}{81} = \boxed{1.23}\%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。
・ 「未開講科目と廃止科目の計」が、「(3)未開講科目」と「(4)廃止科目」の合計数となるように留意してください。

3 施設・設備の整備状況、経費

区 分		内 容				備 考		
(1) 校 地 等	区 分	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計			
	校舎敷地	1,373,254 m ²	0 m ²	0 m ²	1,373,254 m ²			
	運動場用地	344,887 m ²	0 m ²	0 m ²	344,887 m ²			
	小 計	1,718,141 m ²	0 m ²	0 m ²	1,718,141 m ²			
	そ の 他	797,247 m ² 796,323 m ² 798,532 m² 798,027 m ²	0 m ²	0 m ²	797,247 m ² 796,323 m ² 798,532 m² 798,027 m ²	建物の新築、改築による (2) 建物の新築、改築による (3) 建物の新築等による (4)		
	合 計	2,515,388 m ² 2,514,464 m ² 2,516,673 m² 2,516,168 m ²	0 m ²	0 m ²	2,515,388 m ² 2,514,464 m ² 2,516,673 m² 2,516,168 m ²			
(2) 校 舎	専 用	478,742 m ² 479,158 m ² 479,537 m² 479,420 m ²	0 m ²	0 m ²	478,742 m ² 479,158 m ² 479,537 m² 479,420 m ²	建物の新築による (2) 建物の新築等による (3) 建物の新築、既存建物面積の修正等による (4)		
		(478,742 m²) (479,158 m²) (479,537 m²) (479,420 m ²)	(0 m ²)	(0 m ²)	(478,742 m²) (479,158 m²) (479,537 m²) (479,420 m ²)			
(3) 教 室 等	講 義 室	332室 336室	演 習 室 300室 293室 294室	実験実習室 2,031室 2,030室 2,032室 2,029室	情報処理学習施設 30室 29室 30室 (補助職員12人) 10人 12人 13人	語学学習施設 7室 0室 1室 (補助職員14人) 15人 16人 14人	申請大学全体 改修工事による用途見直し、語学学習施設の耐震改修（一般教室で代替中）、人事異動等のため (2) 改修工事による用途見直し、語学学習システムのオンライン化、人事異動等のため (3) 改修工事による用途見直しのため (4)	
(4) 専任教員研究室	新設学部等の名称		室 数			改修工事による用途見直しのため (3)		
	申請大学全体		1,831 1,830 室					
(5) 図 書 ・ 設 備	新設学部等の名称	図 書 〔うち外国書〕 冊	学術雑誌 〔うち外国書〕 種	電子ジャーナル 〔うち外国書〕	視聴覚資料 点	機械・器具 点	標 本 点	専攻単位での特定不能なため、申請大学全体の資料購入により図書・雑誌数増加、資料除籍のため視聴覚資料数減少 (3) 資料購入により図書・雑誌・視聴覚資料数増加 (4)
	申請大学全体	2,681,796 [1,044,194] (2,698,129 [1,046,608]) (2,712,400 [1,048,271]) (2,727,143 [1,050,669])	30,364 [12,874] (30,447 [12,889]) (30,597 [12,914]) (30,749 [12,969])	31,466 [31,404] (32,769 [32,693]) (32,018 [31,965]) (37,024 [36,961])	17,262 (17,345) (17,219) (17,537)	24,989 (24,989)	551 (551)	
	計	2,681,796 [1,044,194] (2,698,129 [1,046,608]) (2,712,400 [1,048,271]) (2,727,143 [1,050,669])	30,364 [12,874] (30,447 [12,889]) (30,597 [12,914]) (30,749 [12,969])	31,466 [31,404] (32,769 [32,693]) (32,018 [31,965]) (37,024 [36,961])	17,262 (17,345) (17,219) (17,537)	24,989 (24,989)	551 (551)	
(6) 図 書 館	面 積		閲 覧 座 席 数		収 納 可 能 冊 数		新制大学全体 閲覧室レイアウト変更により閲覧座席数増加、書架棚数増加により収容可能冊数増加 (2) 医学図書館ラーニングコモンズ設置に伴い閲覧座席数増加、書架棚数増加により収容可能冊数増加 (3) 閲覧室レイアウト変更により閲覧座席数減少、書架棚数増加により収容可能冊数増加 (4)	
	30,041 m ²		2,230 2,233 2,238 2,236		2,606,501 2,607,028 2,613,611 2,615,500			

(7) 体 育 館	面 積		体育館以外のスポーツ施設の概要						新制大学全体
	22,713 m ² 22,765 m ²		テニスコート、ハンドボール場、ラグビー場、サッカー場、陸上競技場、屋内プール						屋内プールは体育館面積に含まれているため(2)増築等による(4)
(8) 経費の見積り及び維持方法の概要	経費の見積り	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度	国費による
		教員1人当り研究費等	千円	千円	図書購入費	千円	千円	千円	
	共同研究費等	千円	千円	設備購入費	千円	千円	千円		
	学生1人当り納付金	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次		
		千円	千円	千円	千円	千円	千円		
学生納付金以外の維持方法の概要									

- (注) ・ 設置時の計画を、申請書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はAC対象学部等の数値を記入してください。)
- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨(所要時間・距離等)を「備考」に記入してください。
 - ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には令和4年5月1日現在の数値を記入してください。
 - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(4)」を「備考」に赤字で記入してください。
 なお、昨年度の報告において赤字で見え消しした部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
 - ・ 校舎等建物の計画の変更(校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延)がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。
 - ・ 国立大学については「(8)経費の見積り及び維持方法の概要」は記載不要です。

4. 既設大学等の状況

大学の名称	筑波大学						学生募集停止学科数	0	平均入学定員超過率1.3倍以上の学科等数	0	備考
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	令和4年度入学定員超過率	定員変更年度(AC期間の学科のみ)	開設年度	所在地	
	年	人	年次人	人		倍	倍	年度	年度		
人文・文化学群	4	240	-	960	-	1.03	1.02	-	平成19	-	
人文学類	4	120	-	480	学士 (人文学)	1.04	1.04	-	平成19	茨城県つくば市 天王台1-1-1	
比較文化学類	4	80	-	320	学士 (比較文化)	1.02	1.05	-	平成19	同上	
日本語・日本文化学類	4	40	-	160	学士 (文学) (日本語教育)	1.02	0.95	-	平成19	同上	
社会・国際学群	4	160	3年次 10	660	-	1.02	0.96	-	平成19	-	
社会学類	4	80	3年次 10	340	学士 (社会学) (法学) (政治学) (経済学) (国際社会科学)	1.01	0.96	-	平成19	茨城県つくば市 天王台1-1-1	
国際総合学類	4	80	-	320	学士 (国際関係学) (国際開発学) (国際社会科学)	1.02	0.97	-	平成19	同上	
人間学群	4	120	-	480	-	1.06	1.08	-	平成19	-	
教育学類	4	35	-	140	学士 (教育学)	1.03	1.05	-	平成19	茨城県つくば市 天王台1-1-1	
心理学類	4	50	-	200	学士 (心理学)	1.08	1.10	-	平成19	同上	
障害科学類	4	35	-	140	学士 (障害科学) (特別支援教育学) (社会福祉学)	1.05	1.08	-	平成19	同上	
生命環境学群	4	250	3年次 10	1,020	-	1.02	0.96	-	平成19	-	
生物学類	4	80	-	320	学士 (理学)	1.02	0.95	-	平成19	茨城県つくば市 天王台1-1-1	
生物資源学類	4	120	3年次 10	500	学士 (生物資源学) (農学)	1.01	0.95	-	平成19	同上	
地球学類	4	50	-	200	学士 (理学)	1.05	1.02	-	平成19	同上	
理工学群	4	520	3年次 10	2,100	-	1.02	1.02	-	平成19	-	
数学類	4	40	-	160	学士 (理学)	1.00	1.00	-	平成19	茨城県つくば市 天王台1-1-1	
物理学類	4	60	-	240	学士 (理学)	1.03	1.10	-	平成19	同上	
化学類	4	50	-	200	学士 (理学)	1.02	1.04	-	平成19	同上	
応用理工学類	4	120	3年次 10	500	学士 (工学)	1.03	1.00	-	平成19	同上	
工学システム学類	4	130	-	520	学士 (工学)	1.02	1.00	-	平成19	同上	
社会工学類	4	120	-	480	学士 (社会工学)	1.03	1.03	-	平成19	同上	
情報学群	4	230	3年次 30	980	-	1.05	1.05	-	平成19	-	
情報科学類	4	80	3年次 10	340	学士 (情報科学) (情報工学)	1.06	1.05	-	平成19	茨城県つくば市 天王台1-1-1	
情報メディア創成学類	4	50	3年次 10	220	学士 (情報メディア科学)	1.06	1.04	-	平成19	茨城県つくば市 春日1-2	
知識情報・図書館学類	4	100	3年次 10	420	学士 (図書館情報学)	1.04	1.06	-	平成19	同上	

医学群(修業年限6年)	-	134	2年次 ₅	833		0.98	0.94	令和4	平成19	-	
医学類	6	134	2年次 ₅	833	学士 (医学)	0.98	0.94	令和4	平成19	茨城県つくば市 天王台1-1-1	定員変更 (36)
医学群(修業年限4年)	4	107	3年次 ₁₃	454	-	1.02	1.00	-	平成19		
看護学類	4	70	3年次 ₁₀	300	学士 (看護学) (ヘルスケア)	1.03	1.00	-	平成19	茨城県つくば市 天王台1-1-1	
医療科学類	4	37	3年次 ₃	154	学士 (医療科学) (国際医療科学)	1.00	1.02	-	平成19	同上	
体育専門学群	4	240	-	960	学士 (体育学)	1.06	1.04	-	昭和49	茨城県つくば市 天王台1-1-1	
芸術専門学群	4	100	-	400	学士 (芸術学)	1.04	1.03	-	昭和50	茨城県つくば市 天王台1-1-1	
大学全体	4	1,967	3年次 ₇₃	8,014	-	1.03	1.02	-	-	-	-
	6	134	2年次 ₅	833		0.98	0.94				

大学の名称	筑波大学大学院					学生募集停止学科数	80	平均入学定員超過率1.3倍以上の学科等数	0	備考	
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	令和4年度入学定員超過率	定員変更年度(AC期間の学科のみ)	開設年度	所在地	
	年	人	年次人	人		倍	倍	年度	年度	年度	
人文社会ビジネス科学学術院	-	355	-	833	-			-	令和2		令和2年4月設置
(M)	2	202		404	-	0.89	0.82	-			
(D)	3	87		261	-	0.62	0.80	-			
(P)	2	30		60	-	1.11	1.06	-			
	3	36		108	-	1.07	0.97	-			
人文社会科学研究群	2	139	-	278	修士 (文学) (国際公共政策) (国際日本研究)	0.87	0.80	-	令和2	茨城県つくば市 天王台1-1-1	令和2年4月設置
(M)											
人文社会科学研究群	3	66	-	198	博士 (文学) (国際公共政策) (国際日本研究)	0.52	0.74	-	令和2	同上	令和2年4月設置
(D)											
ビジネス科学研究群	2	63	-	126	修士 (法学) (経営学)	0.91	0.87	-	令和2	東京都文京区 大塚3-29-1	令和2年4月設置
(M)											
ビジネス科学研究群	3	21	-	63	博士 (法学) (経営学)	0.94	1.00	-	令和2	同上	令和2年4月設置
(D)											
法曹専攻	3	36	-	108	法務博士 (専門職)	1.07	0.97	-	令和2	同上	令和2年4月設置
(P)											
国際経営プロフェッショナル専攻	2	30	-	60	国際経営修士 (専門職)	1.11	1.06	-	令和2	同上	令和2年4月設置
(P)											
理工情報生命学術院	-	1,332	-	2,988	-			-	令和2		令和2年4月設置
(M)	2	1,024		2,048	-	1.08	1.06	-			
(D)	3	300		900	-	0.96	0.90	-			
	5	8		40	-	1.08	1.50	-			
数理物質科学研究群	2	276	-	552	修士 (理学) (工学)	1.01	1.00	-	令和2	茨城県つくば市 天王台1-1-1	令和2年4月設置
(M)											
数理物質科学研究群	3	88	-	264	博士 (理学) (工学)	0.76	0.76	-	令和2	同上	令和2年4月設置
(D)											
システム情報工学研究群	2	431	-	862	修士 (社会工学) (工学) (サービス工学) (生物情報学)	1.19	1.21	-	令和2	同上	令和2年4月設置
(M)											
システム情報工学研究群	3	94	-	282	博士 (社会工学) (工学) (生物情報学)	1.21	1.07	-	令和2	同上	令和2年4月設置
(D)											
	5	8	-	40	修士 (人間情報学) 博士 (人間情報学)	1.08	1.50	-			

生命地球科学研究群 (M)	2	311	-	622	修士 (理学) (農学) (環境科学) (山岳科学) (食料革新学) (環境制御学) (生物工学)	0.99	0.91	-	令和2	同上	令和2年4月 設置
生命地球科学研究群 (D)	3	118	-	354	博士 (理学) (農学) (生命農学) (生物工学) (環境学) (食料革新学) (環境制御学)	0.92	0.86	-	令和2	同上	令和2年4月 設置
国際連携持続環境科学専攻 (M)	2	6	-	12	修士 (持続環境科学)	1.00	0.50	-	令和2	同上	令和2年4月 設置
人間総合科学学術院 (M)	-	821	-	1,970	-	-	-	-	令和2	-	令和2年4月 設置
(D)	2	589	-	1,178	-	0.97	0.91	-	-	-	-
	3	144	-	432	-	1.05	1.02	-	-	-	-
	4	80	-	320	-	1.12	1.13	-	-	-	-
	5	8	-	40	-	0.95	0.75	-	-	-	-
人間総合科学研究群 (M)	2	575	-	1,150	修士 (教育学) (心理学) (障害科学) (カウンセリング) (リハビリテーション科学) (神経科学) (看護科学) (医科学) (公衆衛生学) (体育学) (スポーツ・リハビリ科学) (スポーツ・ウェルネス学) (芸術学) (デザイン学) (世界遺産学) (情報学) (病態機構学)	0.97	0.97	-	令和2	茨城県つくば市 天王台1-1-1 東京都文京区 大塚3-29-1	令和2年4月 設置
人間総合科学研究群 (D)	3	141	-	423	博士 (教育学) (心理学) (障害科学) (カウンセリング科学) (リハビリテーション科学) (神経科学) (看護科学) (ヒューマン・ケア科学) (公衆衛生学) (スポーツ医学) (体育科学) (コーチング学) (スポーツ・ウェルネス学) (芸術学) (デザイン学) (世界遺産学) (情報学) (病態機構学) (医科学)	1.05	0.97	-	令和2	同上	令和2年4月 設置
	4	80	-	320	(医学)	1.12	1.16	-	令和2	同上	-
	5	8	-	40	(人間生物学)	0.95	1.00	-	令和2	同上	-
スポーツ国際開発学共同専攻 (M)	2	5	-	10	修士 (スポーツ国際開発学)	1.00	1.00	-	令和2	茨城県つくば市 天王台1-1-1	令和2年4月 設置
大学体育スポーツ高度化共同専攻 (D)	3	3	-	9	博士 (体育スポーツ学)	1.22	1.33	-	令和2	同上	令和2年4月 設置
国際連携食料健康科学専攻 (M)	2	9	-	18	修士 (食料健康科学)	0.83	0.00	-	令和2	同上	令和2年4月 設置
教育研究科 スキルアップ開発専攻 (修士課程)	2	-	-	-	修士 (教育学)	-	-	-	昭和53 平成18	茨城県つくば市 天王台1-1-1	令和2年学生募集停止 令和2年 学生募集停止
教科教育専攻 (修士課程)	2	-	-	-	修士 (教育学)	-	-	-	昭和53	同上	令和2年 学生募集停止
人文社会科学研究科 哲学・思想専攻 (一貫制修士課程)	5	-	-	-	博士 (文学)	-	-	-	平成13 平成13	茨城県つくば市 天王台1-1-1	令和2年 学生募集停止
歴史・人類学専攻 (一貫制修士課程)	5	-	-	-	博士 (文学)	-	-	-	平成13	同上	令和2年 学生募集停止
文芸・言語専攻 (一貫制修士課程)	5	-	-	-	博士 (文学) (言語学)	-	-	-	平成13	同上	令和2年 学生募集停止
現代語・現代文化専攻 (博士前期課程)	2	-	-	-	修士 (文学) (言語学) (学術)	-	-	-	平成20	同上	令和2年 学生募集停止

現代語・現代文化専攻 (博士後期課程)	3	-	-	-	博士 (文学) (言語学) (学術)	-	-	-	平成20	同上	令和2年 学生募集停止
国際公共政策専攻 (博士前期課程)	2	-	-	-	修士 (政治学) (社会学) (国際政治経済学) (国際公共政策) (学術)	-	-	-	平成20	同上	令和2年 学生募集停止
国際公共政策専攻 (博士後期課程)	3	-	-	-	博士 (政治学) (社会学) (国際政治経済学) (国際公共政策) (学術)	-	-	-	平成20	同上	令和2年 学生募集停止
国際地域研究専攻 (修士課程)	2	-	-	-	修士 (地域研究) (国際学) (公共政策) (経済学) (学術)	-	-	-	平成27	同上	令和2年 学生募集停止
国際日本研究専攻 (博士前期課程)	2	-	-	-	修士 (人文科学) (社会科学) (国際日本研究) (日本語教育学)	-	-	-	平成27	同上	令和2年 学生募集停止
国際日本研究専攻 (博士後期課程)	3	-	-	-	博士 (人文科学) (社会科学) (国際日本研究) (日本語教育学) (学術)	-	-	-	平成20	同上	令和2年 学生募集停止
ビジネス科学研究科	-	-	-	-	-	-	-	-	平成13		令和2年学生募集停止
経営システム科学専攻 (博士前期課程)	2	-	-	-	修士 (経営学) (経営システム科学)	-	-	-	平成13	東京都文京区 大塚3-29-1	令和2年 学生募集停止
企業法学専攻 (博士前期課程)	2	-	-	-	修士 (法学)	-	-	-	平成13	同上	令和2年 学生募集停止
企業科学専攻 (博士後期課程)	3	-	-	-	博士 (経営学) (システム・マネジメント) (法学)	-	-	-	平成13	同上	令和2年 学生募集停止
法曹専攻 (専門職学位課程)	3	-	-	-	法務博士 (専門職)	-	-	-	平成17	同上	令和2年 学生募集停止
国際経営プロフェッショナル専攻 (専門職学位課程)	2	-	-	-	国際経営修士 (専門職)	-	-	-	平成17	同上	令和2年 学生募集停止
数理物質科学研究科	-	-	-	-	-	-	-	-	平成12		令和2年学生募集停止
数学専攻 (博士前期課程)	2	-	-	-	修士 (理学)	-	-	-	平成12	茨城県つくば市 天王台1-1-1	令和2年 学生募集停止
数学専攻 (博士後期課程)	3	-	-	-	博士 (理学)	-	-	-	平成12	同上	令和2年 学生募集停止
物理学専攻 (博士前期課程)	2	-	-	-	修士 (理学)	-	-	-	平成12	同上	令和2年 学生募集停止
物理学専攻 (博士後期課程)	3	-	-	-	博士 (理学)	-	-	-	平成12	同上	令和2年 学生募集停止
化学専攻 (博士前期課程)	2	-	-	-	修士 (理学)	-	-	-	平成12	同上	令和2年 学生募集停止
化学専攻 (博士後期課程)	3	-	-	-	博士 (理学)	-	-	-	平成12	同上	令和2年 学生募集停止
ナノサイエンス・テクノロジー専攻 (博士後期課程)	3	-	-	-	博士 (理学) (工学)	-	-	-	平成24	同上	令和2年 学生募集停止
電子・物理工学専攻 (博士前期課程)	2	-	-	-	修士 (工学)	-	-	-	平成12	同上	令和2年 学生募集停止
電子・物理工学専攻 (博士後期課程)	3	-	-	-	博士 (工学)	-	-	-	平成12	同上	令和2年 学生募集停止
物性・分子工学専攻 (博士前期課程)	2	-	-	-	修士 (工学)	-	-	-	平成12	同上	令和2年 学生募集停止
物性・分子工学専攻 (博士後期課程)	3	-	-	-	博士 (工学)	-	-	-	平成12	同上	令和2年 学生募集停止
物質・材料工学専攻 (後期3年の課程のみの博士課程)	3	-	-	-	博士 (工学)	-	-	-	平成16	同上	令和2年 学生募集停止
システム情報工学研究科	-	-	-	-	-	-	-	-	平成12		令和2年学生募集停止
社会工学専攻 (博士前期課程)	2	-	-	-	修士 (社会工学) (サービス工学)	-	-	-	平成26	茨城県つくば市 天王台1-1-1	令和2年 学生募集停止
社会工学専攻 (博士後期課程)	3	-	-	-	博士 (社会工学)	-	-	-	平成26	同上	令和2年 学生募集停止
社会システム・マネジメント専攻 (博士後期課程)	3	-	-	-	博士 (社会経済) (社会工学) (マネジメント) (工学)	-	-	-	平成12	同上	平成26年 学生募集停止
リスク工学専攻 (博士前期課程)	2	-	-	-	修士 (工学) (社会工学)	-	-	-	平成13	同上	令和2年 学生募集停止
リスク工学専攻 (博士後期課程)	3	-	-	-	博士 (工学)	-	-	-	平成13	同上	令和2年 学生募集停止
コンピュータサイエンス専攻 (博士前期課程)	2	-	-	-	修士 (工学)	-	-	-	平成12	同上	令和2年 学生募集停止

コンピュータサイエンス専攻 (博士後期課程)	3	-	-	-	博士 (工学)	-	-	-	平成12	同上	令和2年 学生募集停止
知能機能システム専攻 (博士前期課程)	2	-	-	-	修士 (工学)	-	-	-	平成12	同上	令和2年 学生募集停止
知能機能システム専攻 (博士後期課程)	3	-	-	-	博士 (工学)	-	-	-	平成12	同上	令和2年 学生募集停止
構造エネルギー工学専攻 (博士前期課程)	2	-	-	-	修士 (工学)	-	-	-	平成12	同上	令和2年 学生募集停止
構造エネルギー工学専攻 (博士後期課程)	3	-	-	-	博士 (工学)	-	-	-	平成12	同上	令和2年 学生募集停止
生命環境科学研究科	-	-	-	-	-	-	-	-	平成12		令和2年学生募集停止
地球科学専攻 (博士前期課程)	2	-	-	-	修士 (理学) (地球科学)	-	-	-	平成19	茨城県つくば市 天王台1-1-1	令和2年 学生募集停止
生物科学専攻 (博士前期課程)	2	-	-	-	修士 (理学)	-	-	-	平成17	同上	令和2年 学生募集停止
生物資源科学専攻 (博士前期課程)	2	-	-	-	修士 (農学) (生物資源工学) (生物工学) (バイオテクノロジー) (学術)	-	-	-	平成17	同上	令和2年 学生募集停止
環境科学専攻 (博士前期課程)	2	-	-	-	修士 (環境科学)	-	-	-	平成19	同上	令和2年 学生募集停止
国際連携持続環境科学専攻 (博士前期課程)	2	-	-	-	修士 (持続環境科学)	-	-	-	平成29	同上	令和2年 学生募集停止
地球環境科学専攻 (博士後期課程)	3	-	-	-	博士 (理学) (地球環境科学)	-	-	-	平成19	同上	令和2年 学生募集停止
地球進化科学専攻 (博士後期課程)	3	-	-	-	博士 (理学) (地球科学)	-	-	-	平成19	同上	令和2年 学生募集停止
生物科学専攻 (博士後期課程)	3	-	-	-	博士 (理学) (生物科学) (学術)	-	-	-	平成23	同上	令和2年 学生募集停止
環境バイオマス共生学専攻 (一貫制博士課程)	5	-	-	-	博士 (学術)	-	-	-	平成24	同上	令和2年 学生募集停止
国際地縁技術開発科学専攻 (博士後期課程)	3	-	-	-	博士 (農学) (生物資源工学) (学術)	-	-	-	平成17	同上	令和2年 学生募集停止
生物圏資源科学専攻 (博士後期課程)	3	-	-	-	博士 (農学) (学術)	-	-	-	平成17	同上	令和2年 学生募集停止
生物機能科学専攻 (博士後期課程)	3	-	-	-	博士 (農学) (生物工学) (学術)	-	-	-	平成17	同上	令和2年 学生募集停止
生命産業科学専攻 (博士後期課程)	3	-	-	-	博士 (生物科学) (農学) (生物工学) (学術)	-	-	-	平成17	同上	令和2年 学生募集停止
持続環境学専攻 (博士後期課程)	3	-	-	-	博士 (環境学)	-	-	-	平成19	同上	令和2年 学生募集停止
先端農業技術科学専攻 (後期3年の課程のみの博士課程)	3	-	-	-	博士 (農学)	-	-	-	平成17	同上	令和2年 学生募集停止
人間総合科学研究科	-	-	-	-	-	-	-	-	平成13		令和2年学生募集停止
スポーツ健康システムマネジメント専攻 (修士課程)	2	-	-	-	修士 (体育学) (保健学)	-	-	-	平成20	東京都文京区 大塚3-29-1	令和2年 学生募集停止
フロンティア医科学専攻 (修士課程)	2	-	-	-	修士 (医科学) (公衆衛生学) (ヒューマンケア科学)	-	-	-	平成18	茨城県つくば市 天王台1-1-1	令和2年 学生募集停止
教育学専攻 (博士前期課程)	2	-	-	-	修士 (教育学)	-	-	-	平成20	同上	令和2年 学生募集停止
教育基礎学専攻 (博士後期課程)	3	-	-	-	博士 (教育学)	-	-	-	平成20	同上	令和2年 学生募集停止
学校教育学専攻 (博士後期課程)	3	-	-	-	博士 (教育学) (学術)	-	-	-	平成20	同上	令和2年 学生募集停止
心理専攻 (博士前期課程)	2	-	-	-	修士 (心理学)	-	-	-	平成20	同上	令和2年 学生募集停止
心理学専攻 (博士後期課程)	3	-	-	-	博士 (心理学) (学術)	-	-	-	平成20	同上	令和2年 学生募集停止
障害科学専攻 (博士前期課程)	2	-	-	-	修士 (障害科学) (特別支援教育学)	-	-	-	平成20	同上	令和2年 学生募集停止
障害科学専攻 (博士後期課程)	3	-	-	-	博士 (障害科学)	-	-	-	平成20	同上	令和2年 学生募集停止
生涯発達専攻 (博士前期課程)	2	-	-	-	修士 (カウンセリング) (リハビリテーション)	-	-	-	平成20	東京都文京区 大塚3-29-1	令和2年 学生募集停止
生涯発達科学専攻 (博士後期課程)	3	-	-	-	博士 (生涯発達科学) (カウンセリング科学) (リハビリテーション科学)	-	-	-	平成20	同上	令和2年 学生募集停止

ヒューマン・ケア科学専攻 (後期3年の課程のみの博士課程)	3	-	-	-	博士 (教育学) (心理学) (ヒューマン・ケア科学) (体育科学) (公衆衛生学) (学術)	-	-	-	平成20	茨城県つくば市 天王台1-1-1	令和2年 学生募集停止
感性認知脳科学専攻 (博士前期課程)	2	-	-	-	修士 (感性科学) (行動科学) (神経科学) (学術)	-	-	-	平成20	同上	令和2年 学生募集停止
感性認知脳科学専攻 (博士後期課程)	3	-	-	-	博士 (感性科学) (行動科学) (神経科学) (学術)	-	-	-	平成20	同上	令和2年 学生募集停止
スポーツ医学専攻 (後期3年の課程のみの博士課程)	3	-	-	-	博士 (スポーツ医学) (学術)	-	-	-	平成20	同上	令和2年 学生募集停止
生命システム医学専攻 (医学を履修する博士課程)	4	-	-	-	博士 (医学) (学術)	-	-	-	平成20	同上	令和2年 学生募集停止
疾患制御医学専攻 (医学を履修する博士課程)	4	-	-	-	博士 (医学) (学術)	-	-	-	平成20	同上	令和2年 学生募集停止
看護科学専攻 (博士前期課程)	2	-	-	-	修士 (看護科学)	-	-	-	平成19	同上	令和2年 学生募集停止
看護科学専攻 (博士後期課程)	3	-	-	-	博士 (看護科学)	-	-	-	平成21	同上	令和2年 学生募集停止
体育学専攻 (博士前期課程)	2	-	-	-	修士 (体育学) (コーチング学) (スポーツリハビリ学)	-	-	-	平成20	同上	令和2年 学生募集停止
体育科学専攻 (博士後期課程)	3	-	-	-	博士 (体育科学) (健康スポーツ科学) (学術)	-	-	-	平成20	同上	令和2年 学生募集停止
コーチング学専攻 (後期3年の課程のみの博士課程)	3	-	-	-	博士 (コーチング学) (学術)	-	-	-	平成18	同上	令和2年 学生募集停止
芸術専攻 (博士前期課程)	2	-	-	-	修士 (芸術学) (デザイン学)	-	-	-	平成19	同上	令和2年 学生募集停止
芸術専攻 (博士後期課程)	3	-	-	-	博士 (芸術学) (デザイン学)	-	-	-	平成19	同上	令和2年 学生募集停止
世界遺産専攻 (博士前期課程)	2	-	-	-	修士 (世界遺産学) (学術)	-	-	-	平成19	同上	令和2年 学生募集停止
世界文化遺産学専攻 (博士後期課程)	3	-	-	-	博士 (世界遺産学) (学術)	-	-	-	平成18	同上	令和2年 学生募集停止
ｽﾎｰﾝ国際開発学共同専攻 (修士課程)	2	-	-	-	修士 (ｽﾎｰﾝ国際開発学)	-	-	-	平成28	同上	令和2年 学生募集停止
大学体育ｽﾎｰﾝ高度化共同専攻 (後期3年の課程のみの博士課程)	3	-	-	-	博士 (体育スポーツ学)	-	-	-	平成28	同上	令和2年 学生募集停止
国際連携食料健康科学専攻 (修士課程)	2	-	-	-	修士 (食料健康科学)	-	-	-	平成29	同上	令和2年 学生募集停止
図書館情報メディア研究科	-	-	-	-	修士	-	-	-	平成15		令和2年学生募集停止
図書館情報メディア専攻 (博士前期課程)	2	-	-	-	(図書館情報学) (情報学)	-	-	-	平成15	茨城県つくば市 春日1-2	令和2年 学生募集停止
図書館情報メディア専攻 (博士後期課程)	3	-	-	-	博士 (図書館情報学) (情報学) (学術)	-	-	-	平成15	同上	令和2年 学生募集停止
大学院全体	-	2,499	-	5,773	-	-	-	-	-	-	-
(M)	2	1,806	-	3,612		1.02	1.00				
(D)	3	531	-	1,593		0.93	0.90				
	4	80	-	320		1.12	1.16				
	5	16	-	80		1.02	1.25				
(P)	2	30	-	60		1.11	1.06				
	3	36	-	108		1.07	0.97				

- (注) ・本調査の対象となっている大学等の設置者が既に設置している全ての大学、大学院、短期大学及び高等専門学校についてそれぞれの学校ごとに、報告年度の5月1日現在の状況を記入してください(専攻科及び別科を除く)。
・学部、学科または研究科の専攻等、「入学定員を定めている組織」ごとに全ての組織を記入してください。
※「入学定員を定めている組織」ごとには、課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めず、履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。
・本年度AC対象となる学部等については、必ず下線を引いてください。
・「平均入学定員超過率」には、報告年度(令和4年度)から起算した修業年限に相当する期間の入学定員超過率の平均を記載してください。
・「備考」の欄については、学年進行中の入学定員の増減や学生募集停止など、収容定員に影響のある情報を記入してください。

5 教員組織の状況

<人文社会ビジネス科学学術院 法曹専攻 専門職学位課程>

(1) -① 担当教員表
掲載省略

(1) -② 担当教員表に関する変更内容
掲載省略

(2) 専任教員数等

(2) - ① 設置基準上の必要専任教員数

完成年度時における設置基準上の必要専任教員数	専任教員数のうち、完成年度時における設置基準上の必要教授数	専任教員数のうち、完成年度時における設置基準上の必要実務家教員数
12 名	6 名	3 名

(注) ・ 専門職大学院に関し必要な事項について定める件（平成十五年三月三十一日文科省告示第五十三号）及び大学院に専攻ごとに置くものとする教員の数について定める件（平成十一年九月十四日文科省告示第七十五号）により算出される教員数を記入してください。

(2) - ② 専任教員等数【専門職大学院】

設置時の計画						現在（報告時）の状況									
教授	准教授	講師	助教	計（A）	助手（A'）	教授	准教授	講師	助教	計（B）	助手（B'）				
6	6	0	0	12	0	7	4	0	1	12	0				
(6)	(6)	(0)	(0)	(12)	(0)										
研究者教員数		実務家教員数		みなし専任教員数		講義のみ担当の教員数		研究者教員数		実務家教員数		みなし専任教員数		講義のみ担当の教員数	
8		4		0		0		7		5		1		0	
(8)		(4)		(0)		(0)		(7)		(5)		(1)		(0)	
現在（報告時）の完成年度時の状況						現在（報告時）の完成年度時の計画									
教授	准教授	講師	助教	計（C）	助手（C'）	教授	准教授	講師	助教	計（D）	助手（D'）				
7	4	0	1	12	0	7	4	0	1	12	0				
[1]	[Δ2]	[0]	[1]	[0]	[0]	[1]	[Δ2]	[0]	[1]	[0]	[0]				
研究者教員数		実務家教員数		みなし専任教員数		講義のみ担当の教員数		研究者教員数		実務家教員数		みなし専任教員数		講義のみ担当の教員数	
7		5		1		0		7		5		1		0	
[Δ1]		[1]		[1]		[0]		[Δ1]		[1]		[1]		[0]	

(注) ・ 「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、() 内に開設時の状況を記入してください。
 ・ 「現在（報告時）の状況」には、報告年度の5月1日の教員数（実人数）を記入してください。
 ・ 「現在（報告時）の完成年度時の状況」には、既に設置された学部等の場合は、「現在（報告時）の状況」に記入した数字に、教員審査を要済みであり、完成年度までに就任する教員数を加えた数を、届出で設置された学部等の場合は、「現在（報告時）の状況」に記入した数字に、完成年度までに就任することが決定している教員数を加えた数を記入するとともに、
 [] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：Δ1）
 ・ 「現在（報告時）の完成年度時の計画」には、予定されている完成年度時の人数を記入するとともに、
 [] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：Δ1）
 ・ 「みなし専任教員数」には、「実務家教員数」に計上している実務家教員数のうち、みなし専任教員の教員数を計上してください。

(2) - ③ 年齢構成

年齢構成		
定年規定の定める定年年齢（歳）	報告時（上記（B））の教員のうち、定年を延長して採用している教員数	完成年度時（上記（C））の教員のうち、定年を延長して採用する教員数
65 歳	0 名	0 名

(注) ・ 「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢（特例等による定年年齢ではありません）、及び、報告年度の5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数及び完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数を記入してください。
 ・ なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二段書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。

(2) - ④ 設置時の計画に対する教員充足率

$$\frac{\text{現在（報告時）の完成年度時の状況（C）}}{\text{設置時の計画（A）}} = \frac{12}{12} = \boxed{100} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2) - ⑤ 現在（報告時）の状況における定年を延長している教員構成率

$$\frac{\text{報告時の教員のうち、定年を延長して採用している教員数}}{\text{現在（報告時）の状況（B）}} = \frac{0}{12} = \boxed{0} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2) - ⑥ 設置時の計画に対する助手充足率

$$\frac{\text{現在（報告時）の完成年度時の状況（C'）}}{\text{設置時の計画（A'）}} = \frac{0}{0} = \boxed{\#DIV/0!} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) 専任教員辞任等の理由

(3) -① 専任教員の就任辞退（未就任）の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由別	担当予定科目	後任補充状況	就任辞退（未就任）の理由			
		該当無し								
合計（D）					後任補充状況の集計（E）					
就任を辞退した教員数		担当科目数の合計（a）+（b）+（c）			①の合計数（a）		②の合計数（b）		③の合計数（c）	
0	人	必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	0	科目	計	0	科目	計	0	科目

- (注) ・ 認可時又は届出時以降、就任を辞退した全ての専任教員の就任辞退の理由を具体的に記入してください。
- ・ 「就任辞退（未就任）」とは、認可又は届出時に就任予定としながら、実際には就任しなかった教員のことです。就任した後に辞任した教員は、以下「(3) -②専任教員辞任の理由及び後任補充状況」に記入してください。
 - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに専任教員が新たに就任を辞退した場合、赤字にて記入するとともに、「就任辞退（未就任）の理由」に就任辞退の理由等及び（ ）書きで報告年度を記入してください。
 - ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- | |
|---|
| <ul style="list-style-type: none"> ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」 ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」 |
|---|

(3) -② 専任教員辞任の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由			
		掲載省略								
合計（F）					後任補充状況の集計（G）					
辞任した教員数		担当科目数の合計（a）+（b）+（c）			①の合計数（a）		②の合計数（b）		③の合計数（c）	
4	人	必修	10	科目	必修	8	科目	必修	2	科目
		選択	7	科目	選択	3	科目	選択	4	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	17	科目	計	11	科目	計	6	科目

- (注) ・ 一度就任した後に、定年による退職以外の理由で辞任した全ての専任教員について記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等及び（ ）書きで報告年度を記入してください。
 - ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- | |
|---|
| <ul style="list-style-type: none"> ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」 ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」 |
|---|

(3) -③ 上記 (3) -① ・ (3) -② の合計

合計 (D) + (F)			後任補充状況の集計 (E) + (G)					
辞任等した教員数	担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		①の合計数 (a)		②の合計数 (b)		③の合計数 (c)	
4 人	必修	10 科目	必修	8 科目	必修	2 科目	必修	0 科目
	選択	7 科目	選択	3 科目	選択	4 科目	選択	0 科目
	自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目
	計	17 科目	計	11 科目	計	6 科目	計	0 科目

(3) -④ 設置時の計画に対する教員辞任率

$$\frac{(3)-③合計(D)+(F)}{(2)-②設置時の計画(A)} = \frac{4}{12} = \boxed{33.33} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) -⑤ 令和3年度報告書から、新たに辞任等した専任教員等の状況

人

(注) ・ (3) -①、(3) -②で赤字で記載した専任教員数の合計数を記載してください。

(3) -⑥ 定年により退職した専任教員に対する後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由		
		該当無し						
合計			後任補充状況の集計					
辞任した教員数	担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		①の合計数 (a)		②の合計数 (b)		③の合計数 (c)	
0 人	必修	0 科目	必修	0 科目	必修	0 科目	必修	0 科目
	選択	0 科目	選択	0 科目	選択	0 科目	選択	0 科目
	自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目
	計	0 科目	計	0 科目	計	0 科目	計	0 科目

(注) ・ 定年により退職した全ての専任教員について記入してください。

- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等及び () 書きで報告年度を記入してください。
- ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」
- ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
- ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

(R2) 該当なし

(R3) 2名が辞任となったが、新規教員として客員教授1名（実務家みなし専任）及び准教授1名を配置するとともに、当該教員の担当科目10科目のうち6科目は専任教員が担当、4科目は本人が兼任として担当しており、学生の履修等への影響はない。学生には開設授業科目一覧等により変更内容を周知している。

(R4) 1名が急逝し、1名が辞任となった。新規教員として教授1名及び特任助教1名を配置するとともに、当該教員の担当科目7科目のうち必修科目5科目はすべて専任教員が担当、選択科目2科目は当該科目の内容に適任の講師（兼任）が担当しており、学生の履修等への影響はない。学生には開設授業科目一覧等により変更内容を周知している。

(注) ・ 上記 (3) の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能な限り具体的に記入してください。

6 附帯事項等に対する履行状況等

区 分	附 帯 事 項 等	履 行 状 況	今後の の実施計画
事前伺い時 (令和元年)	該当無し		
設置計画履行状況 調査結果 (令和2年)	該当無し		
設置計画履行状況 調査結果 (令和3年)	該当無し		

- (注) ・ 「認可時」には、認可時または届出時に付された附帯事項（学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る附帯事項を除く。）と、それに対する履行状況等について、具体的に記入してください。
- ・ 「設置計画履行状況調査結果」には、当該年度の調査の結果、**当該大学に付された指摘を**全て記入するとともに、付された指摘に対する履行状況等について、具体的に記入してください。その履行状況等の参考となる資料があれば、添付してください。
 - ・ 「履行状況」では、履行中であれば「履行中」、履行が完了していれば「履行済」を選択してください。
 - ・ 該当がない場合には、「附帯事項等」の部分に「該当なし」と記入してください。
 - ・ 「設置計画履行状況調査結果」には、当該調査の実施年度の年を記入してください。

7 その他全般的事項

<人文社会ビジネス科学学術院 法曹専攻（専門職学位課程）>

（1）設置計画変更事項等

設置時の計画	変更内容・状況、今後の見通しなど
	該当無し

（注）・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの（未実施を含む。）及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。

（2）教員の資質の維持向上の方策（FD・SD活動含む）

① 実施体制

a 委員会の設置状況

- ・全学的な教員の資質の維持向上のため、全学組織である教学マネジメント室に教育力向上部門を設置するとともに「筑波大学ファカルティ・ディベロップメント活動の実施に関する要項」を制定し、全学的なFD活動の推進を行っている。（別紙1,2を参照）
- ・部局FDについては、「筑波大学大学院学則に基づく人文社会ビジネス科学学術院細則（別紙3）」第11条に基づく法曹専攻の全体FD委員会のほか、教学上の便宜から、民事法／刑事法／公法の3分野での分科会FD委員会を設置している。

b 委員会の開催状況（教員の参加状況含む）

- ・教学マネジメント室運営会議を月1回開催し、全学FDの企画及び運営を行っている。
- ・法曹専攻の全体FD委員会については、改組前から全教員で教育会議後の時間に1, 2か月に1回（分科会は半年に1回程度）を開催しており、改組後もこれを継続している。

c 委員会の審議事項等

- ・教学マネジメント室教育力向上部門は、全学的なファカルティ・ディベロップメントの企画及び実施並びに部局におけるファカルティ・ディベロップメント活動の支援に関することを業務としている。
- ・法曹専攻の全体FD委員会及び分科会では、授業レジュメや授業内容の改善、教育カリキュラムの再編成などを審議している。

② 実施状況

a 実施内容

- ・全学FD研修会の企画及び運営（教学マネジメント室教育力向上部門）
- ・科目の改善、授業方法に関する研究会、教員相互の授業参観、新任教員のための研修会等（法曹専攻）

b 実施方法

- ・全学FD研修会の開催（教学マネジメント室教育力向上部門）
- ・FD委員会での議論、半年に1回の教員相互の授業参観（法曹専攻）

c 開催状況（教員の参加状況含む）

- ・全学FD研修会：全学的に実施している学位プログラムのモニタリング及びプログラムレビューの結果等も踏まえて全学FD研修会を企画・実施している。令和3年度は全18回の全学FD研修会を実施した。
- ・全体FD委員会：原則全員参加（法曹専攻）

d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況

各教員が相互に議論した結果および学生からのアンケートでのコメントに基づいて改善を図ることとしている。

③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況

a 実施の有無及び実施時期

すべての科目で、各科目の授業の最終週に実施している。

b 教員や学生への公開状況、方法等

- ・本専攻では、改組前から教員には各自の結果を伝えコメントをもらった上で、アンケート結果と併せて専攻事務室にて公開しており、改組後もこれを継続することとしている。

(注) ・「①a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。
「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。(記入例参照)

(3) 教育課程連携協議会に関する事項

※専門職大学、専門職短期大学、専門職大学院以外は「該当なし」と記入ください。

① 体制

a 委員会の設置状況

外部委員を4名入れて設置している。

b 委員会の開催状況(回数や開催日など)

本専攻では令和2年4月に設置したものであるが、改組前の専攻においては年度末に1回程度、外部委員を交えて行っており、本専攻でもこれを継続している。令和3年度は、令和4年3月16日に開催した。

c 委員会の審議事項等

入試状況、教学状況、履修状況、司法試験合格率など

d その他

夜間社会人の特質に関するご意見をもらっている。

② 審議状況

a 審議した内容

下記事項等について審議を行っている。なお、本専攻は令和2年4月に設置したものであるが、改組前の専攻においても同内容の審議を行ってきたものであり、本専攻でも同様に継続している。

- ・夜間の社会人大学院という特質に応じた入試実施方法等における留意事項
- ・社会人が夜間に勉強し、無事に修了し、司法試験合格に至るまでの諸処の場面での注意事項
- ・夜間の社会人大学院の特質についての対外的宣伝方法のご提案

b 教育課程連携協議会が審議した内容を踏まえた大学での教育課程への見直し状況

本専攻は令和2年4月に設置したものであるが、改組前の専攻においては下記の事項について教育課程の見直しを行っており、本専攻においても同様に継続する。

- ・入試で問うべき法曹資質についての見直し
- ・修了生への継続的学習の提供の機会の見直し

c 教育課程連携協議会が審議した内容を踏まえた大学での教育課程への反映状況

本専攻は令和2年4月に設置したものであるが、改組前の専攻においては下記の事項について教育課程への反映を行っており、本専攻においても同様に継続する。

- ・入試で問うべき法曹資質について改定
- ・修了生への継続的学習の提供の機会を増加

(4) 自己点検・評価等に関する事項

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

設置の趣旨に沿い、令和2年4月に法曹専攻(専門職学位課程)を設置し、必要な教員配置及び授業科目の開設等を行い、令和2年は42名、令和3年は39名、令和4年は35名の入学者を迎えることができた。設置申請時に作成した「設置の趣旨等を記載した書類」は全学的に配付・周知されており、また、当該書類に記載した改革の要点をまとめた大学院改革パンフレットも制作・公表している。

さらに、令和2年度からは、教学マネジメントの確立のため、学位プログラムごとに入から出口にわたる教育の実施状況と改善の取組に関する点検・評価を行うモニタリング及びプログラムレビューを全学的に開始した(大学院

については令和2年度に試行、令和3年度から正式導入)。今後も、新たな教育システムの下、本専攻が大学院の担うべき重要な使命を果たし、設置の趣旨に違わぬ効果をあげるため、より一層の努力をしていきたい。

② 自己点検・評価報告書

a 公表(予定)時期

- ・令和3年度中 筑波大学年次報告書の公表

※前年度の各教育組織の状況の評価した結果を基に作成するため、令和3年度から公表開始

- ・法曹専攻では認証評価に向けた自己点検・評価報告書を5年ごとに公表

b 公表方法

- ・筑波大学年次報告書は、大学ウェブサイトにおいて毎年公表している。

- ・法曹専攻の自己点検・評価報告書は、法曹専攻のウェブサイトにおいて令和4年6月頃公表予定。

③ 認証評価を受ける計画

〔機関別認証評価〕

- ・平成29年度に大学改革支援・学位授与機構による機関別認証評価を受け、「大学設置基準をはじめ関係法令に適合し、大学改革支援・学位授与機構が定める大学評価基準を満たしている」との結果を得た。

- ・次回は令和6年度までに受審する予定である。

〔分野別認証評価〕

- ・改組前の専攻に係る分野別認証評価については、令和元年度に大学改革支援・学位授与機構による認証評価を受け、「大学改革支援・学位授与機構が定める法科大学院評価基準に適合している」との結果を得た。

- ・令和2年4月に設置された新専攻に係る分野別認証評価は、令和6年度までに受審する予定である。

(注) ・ 設置時の計画の変更(又は未実施)の有無に関わらず記入してください。

また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。

なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

(5) 情報公表に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書(令和4年度)

- a 公表予定の有無 [有 ・ 無]

《aで「有」の場合》

- b 公表(予定)時期 [調査結果公表後1ヶ月以内]

- c 公表方法 [ウェブサイトへの掲載]

《aで公表「無」の場合》

- d 公表しない理由 []

※設置計画が各大学等が社会に対して着実に実現していく構想を表したものであることに鑑み、

設置計画履行状況報告書については、各大学等のウェブサイトに公表するなど、積極的な情報提供をお願いします。